

刈谷駅周辺地区 市街地総合再生基本計画

【令和3（2021）年度～令和12（2030）年度】

【資料編】

<目次>

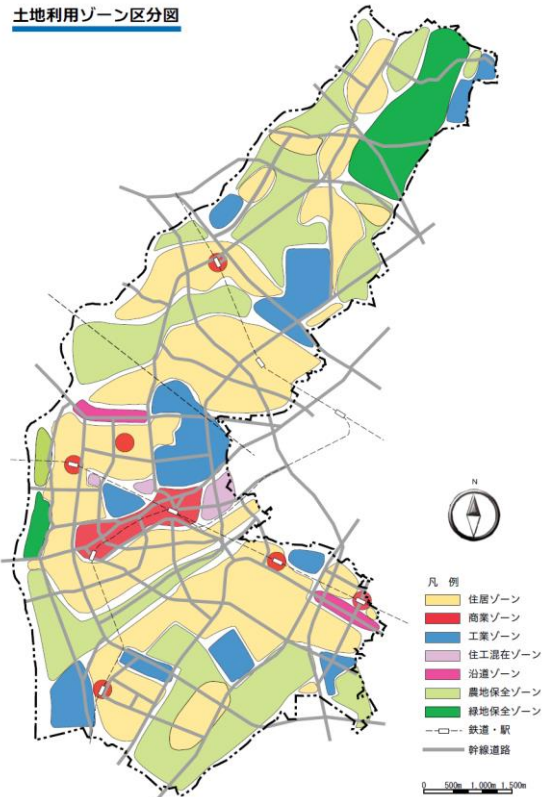
1. 上位・関連計画.....	1
2. 現況データ	17
2-1. 人口.....	17
2-2. 産業.....	26
2-3. 市街地整備.....	41
2-4. 土地利用	43
2-5. 地価.....	48
2-6. 交通.....	49
2-7. 公共施設	53
3. まちづくり意向調査	54
3-1. 調査概要	54
3-2. 調査結果	56
3-3. その他意見・自由回答	77
4. 施設需要調査.....	79
4-1. 調査概要	79
4-2. 用途別需要.....	79
5. 巻末資料（調査票）	89
5-1. まちづくり意向調査票	90
5-2. 施設需要調査票	102

1. 上位・関連計画

上位・関連計画において、整理されている現状や課題、また各計画の全市的なまちづくりの方向性と刈谷駅周辺に該当する計画内容を抽出し、整理します。

1) 第7次刈谷市総合計画

計画名	第7次刈谷市総合計画
策定年月	平成23(2011)年3月
計画期間	基本構想…平成23(2011)年～令和12(2030)年 基本計画…平成23(2011)年～令和2(2020)年※
将来都市像	「人が輝く 安心快適な産業文化都市」
まちづくりの基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ①都市と自然が織りなす住みよいまちづくり ②生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり ③人と技術でにぎわいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり ④支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり ⑤市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり
土地利用計画	<p><都市的土地利用></p> <p>◆機能集約型都市構造への再編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>刈谷駅周辺地区</u>は、鉄道をはじめとする本市の中心的な交通結節点であると同時に、居住・商業・業務・医療・福祉施設などの市民生活に必要な施設などが多く集積された地域であることから、<u>都市の中心的な拠点として土地の高度利用を誘導し、引き続き都市機能の集約を進める都市拠点</u>とします。 <p>◆既成市街地の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地…本市の玄関口である<u>刈谷駅周辺地区</u>は、<u>民間投資を含む市街地再開発事業</u>などによる都市基盤の再生により、<u>土地の高度利用を誘導</u>することで、<u>中心市街地としての魅力や活力を創出</u>します。



<p>施策の内容</p>	<p>< 1 - 1 市街地・住環境 ></p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅周辺は、再開発事業により都市機能の一定の集約化を実現し、それに呼応した商店街の活動によって、中心市街地としてのにぎわいも創出され始めました。 <p>【施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画的な土地利用 <ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅周辺は、にぎわいあふれる都市の中心拠点として、<u>土地の高度・有効利用を誘導</u>します。 ○市街地の整備・改善 <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地は、民間活力も活用し、<u>環境と防災安全性に優れた活力と魅力あふれるまちとして整備</u>を進めます。 ○住環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・防災安全上問題のある既成市街地では、<u>民間活力の活用により宅地建物の共同化を促進</u>し、防災性に優れた良好な住環境の整備を進めます。 <p>< 1 - 2 道路交通 ></p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内への通勤者の増加、日常生活における移動距離の増加など、依然として自動車の交通量は増加しており、今後もピーク時を中心に渋滞の発生が予想されます。 ・市中心部には自動車関連の事業所が集中しており、刈谷駅南北の駅前広場周辺の利便性も向上したため、中心部への交通の集中は今後も続くことが予想されます。 <p>【施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共交通の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・市内鉄道駅の利便性や安全性の向上を図るため、<u>バリアフリー化や安全対策、駅周辺の整備</u>を推進します。
--------------	--

※基本計画の計画期間は令和4（2022）年まで延長

2) 第3次刈谷市都市計画マスタープラン

計画名	第3次刈谷市都市計画マスタープラン
策定年月	平成23(2011)年3月
目標年次	令和2(2020)年※
都市づくりの課題	<p><人口>①都市の質的向上、②都市活力の維持</p> <p><都市構造>①持続可能な集約型都市構造の構築、②適正な都市機能配置</p> <p><環境>①低炭素型の都市構造の構築、②自然との共生</p> <p><安全・安心>①災害につよい都市づくりの推進、②市民が安全・安心に暮らせる環境の確保</p>
将来都市像	<p>「都市活力と都市環境が共生する持続可能なまち 刈谷」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の特性であるものづくり地域の維持発展に努め(=都市活力の創造)、生活の安心や快適、環境との調和を図り(=都市環境の更新)、ふるさとの歴史や文化を継承し、市民が主体(=共生する)となって、環境や自然と共生した低炭素・循環型社会の形成を考慮したメリハリのある持続可能な都市づくり(=持続可能)を実現させる。
都市づくりの目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 活力あふれるものづくりのまち <ul style="list-style-type: none"> ・工業都市としての特長を活かした活力あふれる都市づくり ・環境との共生をめざした工業都市づくり ・効率的な集約型の都市づくり 2. 快適に暮らせるまち <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが快適に暮らせる都市づくり ・魅力ある都市づくり 3. 環境にやさしいまち <ul style="list-style-type: none"> ・都市機能が集積した便利で魅力ある低炭素・循環型の都市づくり ・豊かな自然、歴史・文化的資源と市民が触れ合う潤いある都市づくり 4. 安全で安心に暮らせるまち <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い安全・安心な都市づくり ・市民参加・協働による都市づくり
将来の都市構造	<p><都市拠点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅及び刈谷市駅周辺を「<u>都市拠点</u>」と位置づけるとともに、<u>定住自立圏構想</u>の中心市としての拠点となるように、人、モノ、情報を集め様々な<u>出会いと交流</u>を促進させる多様な都市機能を集積させます。 ・刈谷駅周辺は、商業・業務施設や住宅のほか公益施設や医療・福祉施設等の様々な都市機能が集積する本市の顔であり、<u>市街地の再開発</u>などによる<u>土地の有効・高度利用</u>と魅力ある複合的な駅前空間の創出をめざします。 <p><文化・教育拠点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅の南側は総合文化センター、美術館、中央図書館等が集積しており、「<u>文化拠点</u>」として位置づけます。<u>市民の芸術・文化活動を積極的に支援し</u>、

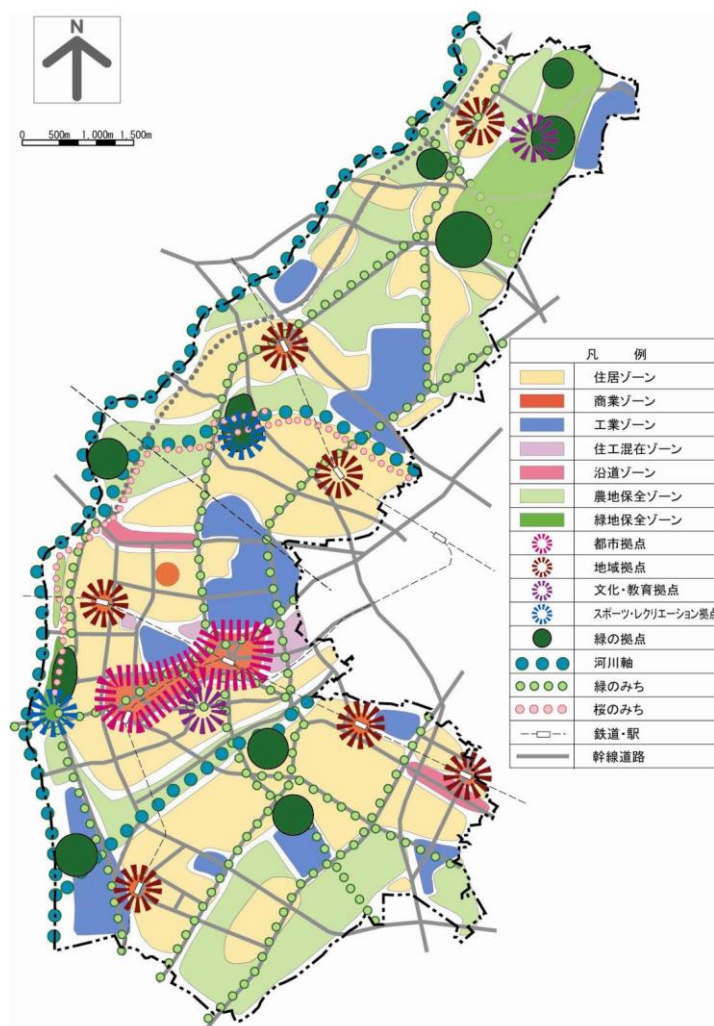
刈谷駅北口の産業振興センター周辺と連携を図り、幅広い市民交流の場としての機能を充実し、文化性の高い魅力とゆとりある都市環境の形成をめざします。

<商業ゾーン>

- ・刈谷駅から刈谷市駅周辺の中心市街地及びその他の鉄道駅周辺を商業ゾーンと位置づけ、商業・業務機能の集積を図ると共に、日常生活の利便性の向上をめざします。
- ・刈谷駅を中心とした中心市街地は、商業機能だけではなく複合的な機能集積をめざし、都心居住の推進などによる有効・高度利用を図ります。

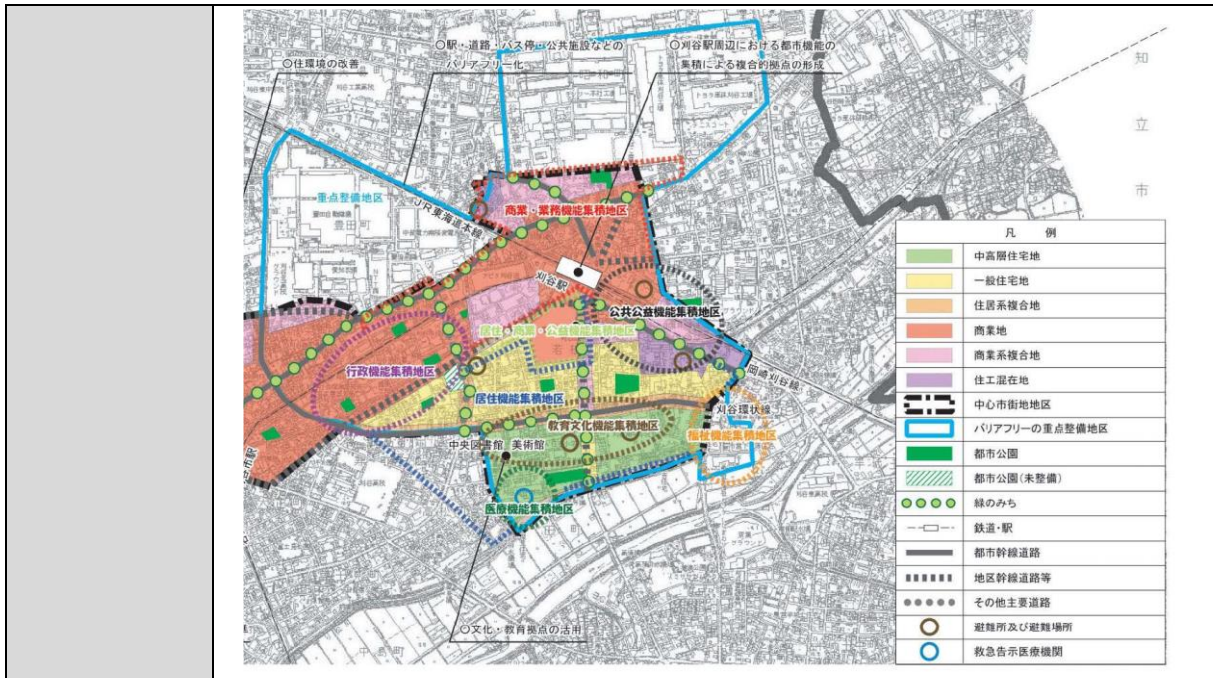
<拠点の形成と市街地の拡大>

- ・刈谷駅から刈谷市駅周辺の中心市街地を都市拠点と位置づけ、まちなか居住を推進します。さらに、郊外における商業施設等の立地を抑制するとともに、行政機関や病院・学校・文化施設・高齢者向け福祉施設などの公共公益施設や商業の充実・集積、土地の有効・高度利用等により、中心市街地への来訪者を増やし、にぎわいの創出を図ります。



■将来都市構造図

都市整備の方針	<p><中心市街地></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の玄関口である刈谷駅周辺地区は、鉄道及び路線バスなどの公共交通結節点として、市内外へのアクセス利便性が高く、人・モノ・情報が集まります。そのため、<u>民間活力の活用を含む市街地再開発などによる都市基盤の再生と、景観にも配慮した快適な都市空間の形成をめざし、土地の高度有効利用の推進</u>を図ります。また、公共交通の利用者や、地域住民の暮らしを支える商業、文化、医療・福祉、教育・行政等の<u>都市機能が充実</u>する中心市街地として、<u>魅力とにぎわいのある土地利用を誘導</u>します。 <p><商業地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅から刈谷市駅周辺の市街地中心部を、都市機能の集積した都市拠点と位置づけ、<u>既存のストックを活用した、集約型の市街地形成に向けた土地の有効・高度利用</u>を図ります。また、<u>まちなか居住の推進</u>とともに、<u>魅力ある商業環境の形成を促進</u>し、中心市街地の再生、活性化を図ります。
交通施設の方針	<p><駅前広場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅は、各交通手段の機能が充分に生かされる総合交通体系の確立を前提として、<u>交通結節機能の強化</u>にも配慮します。 <p><自転車駐車場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅周辺では収容能力が限界に達しているところも出てきていることから、今後も増加すると想定される自転車利用に対処するため、<u>鉄道駅の駅前等での駐輪場の整備・拡充</u>を図るなど、新たな施設整備を推進し、自転車利用者の利便性の向上を図ります。
市街地整備の方針	<p><既成市街地の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市拠点となる刈谷駅周辺は、本市の顔としてふさわしく、<u>交通結節点の機能強化や南北の連携強化</u>を図り、人のにぎわいや活気が感じられるよう、<u>商業施設、住宅施設及び公益施設などのバランスのとれた都市機能を有する市街地の整備</u>を促進します。
地域別構想 (中心市街地地区)	<p>○活力と魅力のある中心市街地の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>民間活力も活用した市街地再開発等による都市基盤の再生・整備</u>（道路・駐車場等）と<u>景観にも配慮した快適な都市空間の形成、商店街の活性化や銀座センター跡地利用など既存ストックの最大限の活用</u>を図り、<u>土地の有効・高度利用を誘導</u>することで、活力と魅力ある中心市街地の創出をめざします。 <p>○刈谷駅周辺の都市機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅周辺は、駅を中心として、商業業務、居住、教育文化、行政、公共公益等の<u>機能をバランス良く配置</u>し、複合的な都市機能が集積した、本市の顔づくりを進めます。



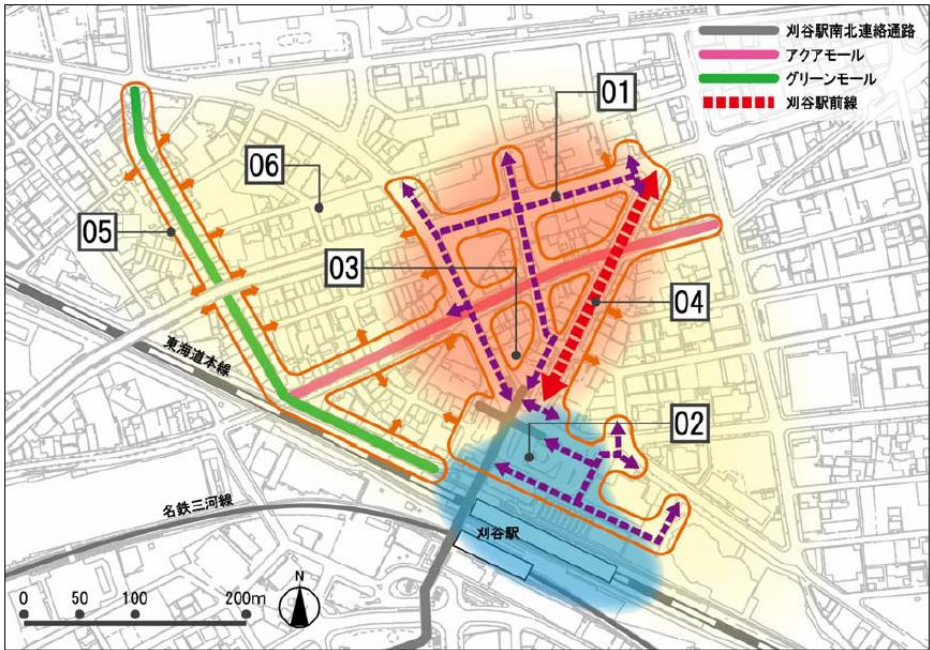
※目標年次は令和4（2022）年まで延長

3) 刈谷市立地適正化計画

計画名	刈谷市立地適正化計画
策定年月	平成 30 (2018) 年 6 月
計画期間	平成 30 (2018) 年度～令和 32 (2040) 年度
本市の 特徴と課題	<p><居住の視点></p> <p>①郊外部における住宅用地の創出…増加する人口を受け止める住宅用地</p> <p>②中心市街地における人口集積…人口減少に歯止めをかけ、人口密度を高める</p> <p>③高齢者が安全安心に暮らせるまちづくり…中心市街地で高齢化が顕著になっていることから、地域コミュニティ維持のため世代間バランスを確保。郊外部からの都市機能が集積し、便利に暮らせる地区への居住地選択の取組。</p> <p><都市機能の視点></p> <p>①都市機能の集積と機能の向上…中心市街地において広域的な都市機能は充実しつつありますが、市民の生活利便性を向上させ、にぎわいや交流を創出するためには、現在の集積を活かしつつ、さらなる都市機能の向上が必要。</p> <p>②高い人口密度を見据えた生活機能の配置…中心市街地においては今後居住の誘導を図るため、高い人口密度を見据えた生活機能の配置が必要。</p> <p>③公共交通の維持及び交通結節点の強化…今後さらに高齢化が進行することを見据えて、自動車に頼らずに必要な生活サービスを享受できるよう、公共交通の維持や交通結節点の強化が必要。</p>
目標とする 都市構造	「機能集約型都市構造」の構築 (都市計画マスタープランで掲げた将来都市像や将来都市構造と同一の方向)
まちづくりの 方針	<p>「選べるから、選ばれ続ける」まちづくり</p> <p>～機能集約型都市構造の実現に向けて～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○<u>中心市街地の魅力向上</u> ○子育て世代の「かり家から刈谷住まい」への誘導 ○高齢者の安心・安全な生活の確保
誘導区域	

都市機能誘導施設・誘導施策	○都市機能誘導施設									
	<table border="1"> <tr> <td>ターゲット</td> <td>誘導施設の設定</td> </tr> <tr> <td>子育て世代</td> <td>子育て支援施設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">多世代</td> <td>文化施設</td> </tr> <tr> <td>生鮮食品を扱うスーパーをはじめとして商業施設</td> </tr> <tr> <td>高齢者世代</td> <td>デイサービス等の通所系の高齢者福祉施設</td> </tr> </table>	ターゲット	誘導施設の設定	子育て世代	子育て支援施設	多世代	文化施設	生鮮食品を扱うスーパーをはじめとして商業施設	高齢者世代	デイサービス等の通所系の高齢者福祉施設
	ターゲット	誘導施設の設定								
	子育て世代	子育て支援施設								
	多世代	文化施設								
生鮮食品を扱うスーパーをはじめとして商業施設										
高齢者世代	デイサービス等の通所系の高齢者福祉施設									
【市が独自に講じる施策】										
<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設の誘導など公的不動産を活用した都市機能誘導を検討します。 ・誘導施設を計画する際は、くつろぎ、やすらぎが得られる交流スペースを併設するなど多様な機能を複合させることで施設の効果を最大限高める。 ・誘導施設の立地ポテンシャルを高めるため、まちなかマネジメント構想や中心市街地の活性化とまちなか居住の促進をはじめとする<u>中心市街地の活性化事業の推進により、中心市街地の魅力向上を図ります。</u> ・様々な世代の人たちが<u>誘導施設に容易にアクセスできるよう、鉄道駅等の交通結節機能の拡充やアクセス性の向上を図るとともに移動の円滑化に向けた道路や歩行空間等を確保</u>します。 										
居住誘導施策	【市が独自に講じる施策】									
	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>新たな住宅や住宅用地を創出するため、土地の高度利用や空き家等の有効活用の方策について検討</u>します。 ・<u>商業や福祉施設等の生活に必要な施設と住まいが一体となった利便性の高い複合施設の立地を促進する取組を検討</u>します。 ・<u>住工混在地区の用途純化を図り、良好な居住環境を創出するとともに、不足する住宅用地の供給を促進</u>します。 ・<u>狭あい道路の拡幅等の道路整備や緑地やオープンスペースの確保を目的とした公園整備等の都市基盤の整備を進め</u>ます。 ・公園の再整備や電線類地中化をはじめとした既存ストックの機能強化等、都市基盤のさらなる充実を図ります。 ・<u>歴史や文化を感じることができるまちなみを整備する等、中心市街地のにぎわいと魅力を創出し、住みたくなるようなまちづくりを計画的に推進</u>します。 ・子育てと仕事を両立できる環境の整備を推進します。 									

4) 刈谷市まちなかマネジメント構想～刈谷駅北口周辺エリア編～

計画名	刈谷市まちなかマネジメント構想 ～刈谷駅北口周辺エリア編～
策定年月	平成 28 (2016) 年 12 月
まちづくりの方向性	「人を引き寄せる、回遊とにぎわいのあるまちづくり」
まちの将来イメージ	<ol style="list-style-type: none"> 1 歩行者が安全で快適に通行できるまち 2 都市機能が充実した人を引き寄せるまち 3 歩いて回遊できる、にぎわいのあるまち
想定される取組み	 <p>01 安全で快適な歩行空間づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅北口周辺の道路において、通勤・帰宅時の交通需要による通行支障、歩行者の乱横断、歩道における自転車と歩行者の錯綜が発生し、安全で円滑な移動環境の確保が求められている。 ・刈谷駅北口周辺の活力あるまちづくりと連携し、公共交通結節点である刈谷駅へのアクセスの利便性向上のため、<u>歩行者と自動車の分離及び歩行導線のネットワーク化</u>を図り、安全で快適な歩行空間づくりを推進する。 <p>02 安全で快適なにぎわいの拠点機能づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅は通勤・帰宅時の駅の混雑が顕著に見受けられ、安全性の確保が求められている。 ・刈谷駅北口駅前広場において、バスや一般車、自転車などの増大する需要に追いついていない。また、多くの人が集まる駅前空間としての拠点機能の確保に対する声が高まりつつある。 ・刈谷駅において、ホーム上や改札周辺の安全を確保 ・駅前広場において、バスの乗降場及び待機場の増設、一般車両との導線分離や駅前空間の有効利用。また、<u>ペDESTリアンデッキとの機能的な接続</u>によ

る立体的な空間利用を進める。

03 魅力ある複合的な駅前空間の創出による“ヒト”が集うにぎわいづくり

- ・刈谷駅北口周辺エリアは、人・モノ・情報が集まる本市の拠点として土地の高度利用、にぎわいの創出に向けた仕組みの構築など、まちのポテンシャルを活かしたまちづくりが求められている。
- ・市街地再開発などの手法による、土地の有効・高度利用を図る中で、カフェなどをはじめとしたこれまでにない新たな人が滞留できる機能をそなえる多彩な駅前機能の充実を図る。

04 にぎわいの溢れる駅前のシンボルロードづくり

- ・刈谷駅前線は、交通量が少ないうえに幅員が広いことから、長時間の路上駐車が見受けられる。道路形態を改善するなどの対策を講じ、道路としてのポテンシャルを活かすことが求められている。
- ・道路の形態を全面的に見直すことで、路上駐車を削減し、自動車交通の円滑化、安全で安心な歩行空間を確保
- ・官民が連携し、オープンカフェの設置や広告マネジメントの導入

05 歩いて回遊でき、限界性を感じることができにぎわいづくり

- ・刈谷駅北口周辺エリアでは面的な広がりのあるまちづくりを進めていくことが求められている。

①にぎわいの軸となる通りから路地への誘導

②にぎわいの創出のための環境づくり

③にぎわいの創出を支える住民・商業店主などの意識づくり

06 地域住民、行政などによる魅力的なまちの形成

①主体間の連携

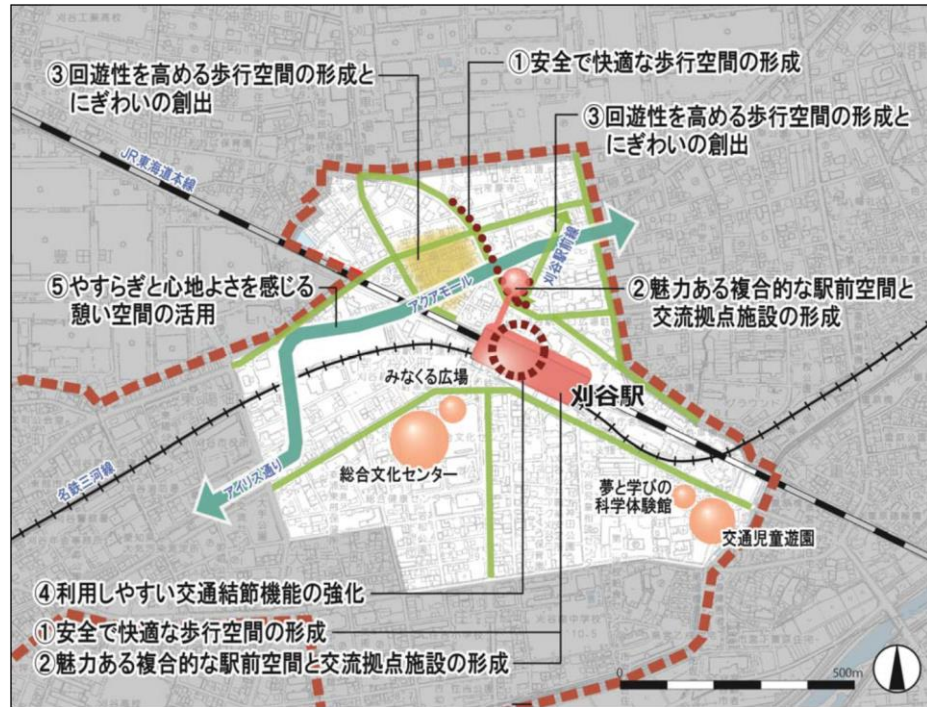
②人材の育成

③情報の発信

5) 刈谷市中心市街地まちづくり基本計画

計画名	刈谷市中心市街地まちづくり基本計画
策定年月	平成 30 (2018) 年 6 月
計画期間	平成 30 (2018) 年度～令和 9 (2027) 年度
中心市街地の特性	<p>① 2つの鉄道駅を核に発展してきた中心市街地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅は市の玄関口として重要な役割を有し、駅南口周辺の再開発などの整備により一層の魅力が増えています。 <p>② 商業、公共公益施設が集積する刈谷駅周辺</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前周辺では、朝夕の通勤通学時において歩行者と自転車の輻輳や、自動車の混雑が発生していることから、<u>誰もが安心安全、快適に利用できる駅前空間を創出する施策に取り組む必要があります。</u>また、<u>今後は駅北口周辺においても、さらなる活気とにぎわいを創出する施策に取り組む必要があります。</u> <p>③ 多彩な歴史的・文化的資源が集まる刈谷市駅と亀城公園周辺</p> <p>④ 商業地から住宅地への変化してきた地域</p>
めざす姿	<p>「歴史と未来が輝く 刈谷まちなかオアシス」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 <u>引き寄せられるまち…魅力的な活気とにぎわいがあり、市の「顔」にふさわしい洗練された都市施設を形成し、歩いて楽しい多くの人々が集うまち</u> 2 <u>便利さを享受できるまち…ゆとりと安らぎを感じられる住環境の形成と快適な暮らしを支える都市機能・生活機能が充実した、安心して暮らし続けられるまち</u> 3 <u>愛着を感じられるまち…貴重な歴史的資源に光をあて、それらを後世に受け継ぎ活用することにより、一層の魅力と親しみがあふれたまち</u>
ゾーニング	<p>○刈谷駅を中心に、北口と南口の一带を捉えた地域を「都心交流ゾーン」と設定し、「<u>人を引き寄せる、回遊とにぎわいのあるまちづくり</u>」を目指します。このゾーンには「刈谷駅北口周辺エリア」を包含</p>

<都心交流ゾーン>



基本的な
整備方針

①安全で快適な歩行空間の形成

- ・【刈谷駅南北連絡通路基本構想】 刈谷駅北口周辺への歩行者デッキの整備
- ・【JR刈谷駅ホーム等改修事業】 駅ホームの拡幅、ホームドアの設置等

②魅力ある複合的な駅前空間と交流拠点施設の形成

- ・【刈谷駅北地区整備事業】 商業、観光案内所、ビジネス、住宅などが複合した施設を整備
- ・【刈谷駅と一体となった交流拠点施設の充実】 刈谷駅北口における新たなランドマークとして、商業・業務・文化・居住・宿泊など、様々な都市の拠点機能が複合した施設の立地を、JR刈谷駅の駅施設改修と合わせて誘導するとともに、展示場、ホール及び駐輪場など公共施設の配置計画について検討

③回遊性を高める歩行空間の形成とにぎわいの創出

- ・【刈谷駅前線道路新設改良事業、歩道等活用の検討】 刈谷駅北口のシンボルロードづくり
- ・【道路再整備の検討】 境界性・回遊性を高める歩きやすいみちづくりを推進

④利用しやすい交通結節機能の強化

- ・【刈谷駅北口駅前広場の交通結節機能の強化】 北口駅前広場のバス乗降場と待機場の増設や一般車両との動線分離、新たな駅前広場の確保の検討
- ・【公共バスの広域利用の推進、歩道整備事業】

⑤やすらぎと心地よさを感じる憩い空間の活用

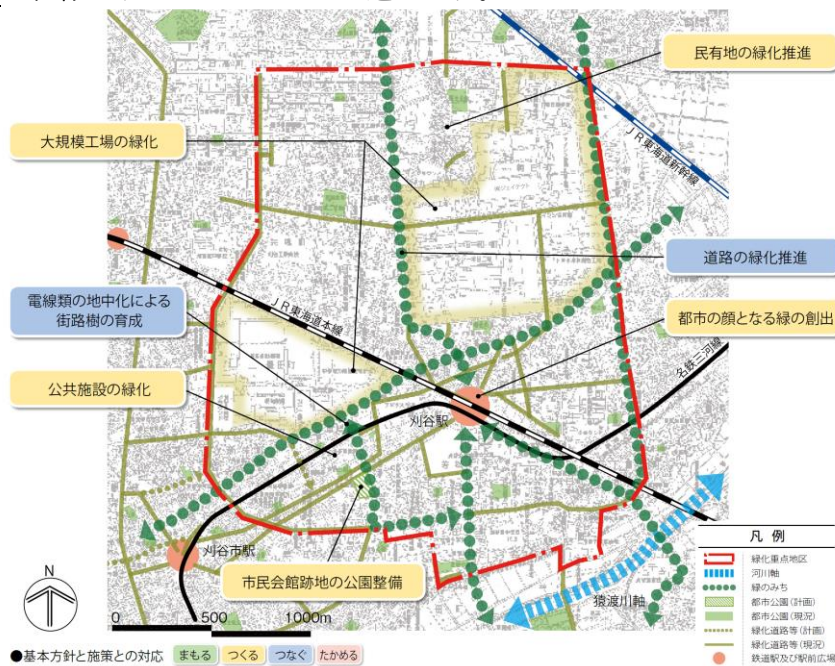
- ・【アクアモール活用の検討】 やすらぎと心地よさを感じる憩いの空間として活用

6) 刈谷市都市交通戦略

計画名	刈谷市都市交通戦略
策定年月	平成 24 (2012) 年 6 月
計画期間 目標年次	計画期間：平成 24 (2012) 年～令和 12 (2030) 年 目標年次：令和 12 (2030) 年
課題	<p>①交通渋滞の解消に向けた自動車交通の円滑な処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模事業所が集積する刈谷駅以北のエリアに企業関連駐車場が集中。刈谷駅以南については、一時預りもしくは月極の平面駐車場が広く分布。 <p>②増大する交通需要への対応と環境負荷の軽減</p> <p>③まちづくりと連携した交通施策の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地に大規模事業所が立地する本市においては、交通混雑により中心市街地へのアクセス利便性が低下するなどの問題が発生。 →中心市街地周辺の交通混雑の解消 中心市街地周辺における安全な移動空間の確保 <p>④高齢化の進展に対応した都市交通体系の構築</p>
基本理念	「“ひと”と“環境”にやさしく、持続可能な都市交通体系」の構築を目指します。
目標像	<p>1 自動車交通が円滑に処理されることにより力強い産業活動が維持され、市民も快適に移動できるモビリティの高いまち</p> <p>2 だれもが、いつでも、どこからでもまちなかに行きやすく、安全かつ快適にまちなかを巡ることができる、にぎわいのあるまち</p> <p>3 産業活動の支援と環境負荷軽減の両立を可能とする先進的な都市交通体系が実現された、地球環境にやさしいまち</p>
基本施策	<p>【産業】 産業交通を円滑に処理することができる都市交通体系の構築</p> <p>【交流】 まちの一体化とにぎわいづくりに資する都市交通体系の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅周辺地区においては、<u>道路形態の見直し等</u>により、まちづくりと一体となった新たなにぎわい空間を創出し、<u>刈谷駅と駅周辺地区の一体化</u>を促進するとともに、<u>住宅を主体とする刈谷市駅周辺の地区と刈谷駅を結ぶ安全で快適な移動環境の整備</u>を図ります。 <p>【生活】 交通手段が適切に組み合わせられた安心・安全な都市交通体系の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>企業送迎バスの円滑な処理</u>に資する交通広場機能の確保、<u>刈谷駅等における交通結節機能の強化</u>（乗り継ぎ情報提供、駐車場・駐輪場整備等） <p>【環境】 企業と地域社会が一体となったエコモビリティライフの実現</p>

7) 第2次刈谷市緑の基本計画

計画名	第2次刈谷市緑の基本計画
策定年月	平成23(2011)年3月
計画期間 目標年次	計画期間：平成23(2011)年～令和2(2020)年※ 目標年次：令和2(2020)年※
現状と課題	①環境面…市域全体の水と緑のネットワークの形成、緑被減少の歯止めなど ②安全面…都市公園などの防災機能の強化、安全・安心な都市公園の整備など ③活力面…健康づくりのできる環境づくりなど ④生活面…道路の緑化による緑のネットワーク形成など
将来像	「みんなで育む 緑にみちた美しいまち 刈谷」 ・中心市街地一帯を「都市の顔をなる緑の拠点」に位置づけ
基本方針と 施策の方向性	①緑を「まもる」…市域を代表する緑の保全、生物多様性の保全など ②緑を「つくる」…身近な緑の充実、防災機能の強化、緑被率の向上など ③緑を「つなぐ」…水と緑のネットワークの形成、緑地・緑道の整備 ④緑を「高める」…市民協働による緑のまちづくりなど
緑化重点地区	<p>刈谷駅周辺を、緑に関する施策を重点的かつ先導的に展開する「<u>緑化重点地区</u>」のひとつに位置づけ（全市内6地区）</p> <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場としての土地利用が多いため、他の地域に比べて<u>緑被率が低い</u>。 ・高度利用の用途地域となっているため、<u>緑とオープンスペースが減少</u>。 <p>【緑づくりの方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の顔となる緑の拠点とするため、<u>公共施設や大規模工場などの緑化を推進し、緑にみちたまちづくりを進めます</u>。



※計画期間、目標年次は令和4(2022)年まで延長

8) 刈谷市住生活基本計画

計画名	刈谷市住生活基本計画
策定年月	平成 30 (2018) 年 3 月
計画期間	計画期間：平成 30 (2018) 年度～令和 9 (2027) 年度
基本方針	『住むなら刈谷!』住みやすさを感じる安心快適な住まい・まちづくり
3つの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・人口動態は、自動車関連企業の就業者を中心として、若年・子育て世帯の転入・転出の増減により大きく影響される。高齢者の単身・夫婦世帯の増加が予測され、今後の社会経済情勢の変化を見据えた対応が求められる。 ・良好な状態で長期にわたり使用できる良質な住宅ストックの形成が必要。住宅のバリアフリー化や地球環境に配慮した設備を備えるなど、住宅の質の向上を図ることが求められる。 ・公共交通、子育て支援、医療・福祉、教育などの施設が充実しており、住みやすい『まち』として高い評価を得ている。
基本目標	<p>【目標 1】 若年・子育て世帯が住み続けられる住生活の実現</p> <p>【目標 2】 高齢者・障害者などが安心して暮らせる住生活の実現</p> <p>【目標 3】 世代をつなぐ良質な住まいの供給の促進</p> <p>【目標 4】 空き家の活用など住宅ストックの流通の促進</p> <p>【目標 5】 地震などの災害に備える住まい・まちづくり</p> <p>【目標 6】 刈谷の強みを生かした住まい・まちづくり</p>
基本的な施策	<p>【目標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画に基づく居住誘導の考え方を踏まえ、住宅関連団体等との連携により、若年・子育て世帯のライフステージやライフスタイルに応じて選択できる住まいの情報提供や普及啓発に取り組む。 <p>【目標 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間活力を活用した市街地再開発事業などによる都市基盤の再生、土地の有効・高度利用を図り、<u>まちなか居住を促進する。</u> <p>【目標 6】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市中心部や中部国際空港などへの交通アクセスの良さを生かし、<u>中心市街地における土地の有効・高度利用を促進する。</u>

9) 刈谷市バリアフリー基本構想

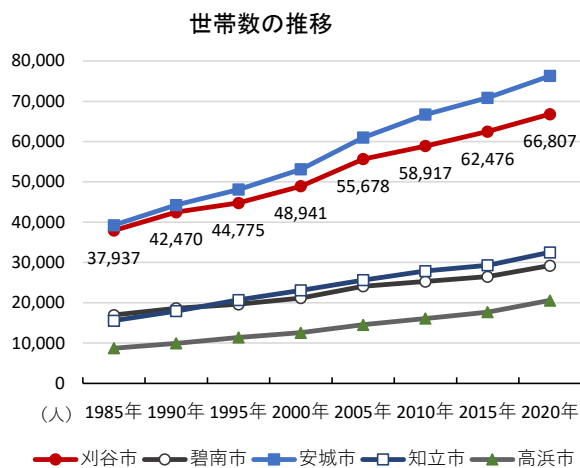
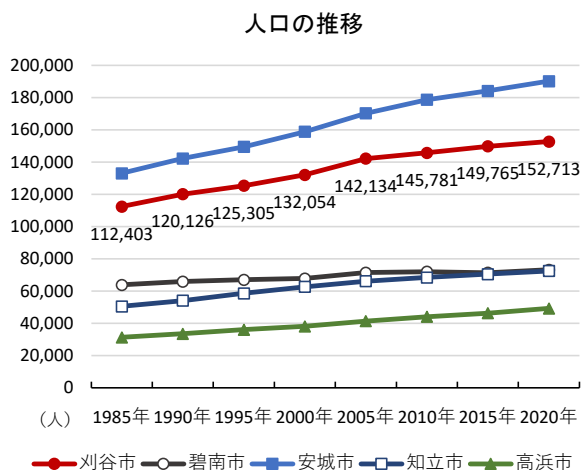
計画名	刈谷市バリアフリー基本構想
策定年月	令和2(2020)年3月
計画期間	計画期間：令和2(2020)年度～令和9(2027)年度
主な問題点・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅においては、安心・安全に移動できる経路の確保とわかりやすい情報案内が必要である。 ・刈谷駅北口周辺においては、まちづくりに関する事業にあわせて、円滑に移動できる歩行空間ネットワークを構築することが必要である。
目標	だれもが安心、安全かつ快適に活動できるまちづくり
基本理念	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての人を対象としたバリアフリー化 ・継続的なバリアフリー整備 ・多様な関係者の連携によるバリアフリー化
基本方針	<p>①交通結節点としての充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な利用手段に対応した乗換機能の充実・強化により、刈谷駅利用者の利便性及び安全性の向上を図ります。 <p>②誰でもわかりやすく安心して移動できる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな人が刈谷駅周辺を利用するため、誰にでもわかりやすい案内サインを適切な位置に設置するなど、誰もが安心して移動できる環境づくりを推進します。 <p>③市街地の活性化につながるバリアフリー整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅北口においては刈谷市中心市街地まちづくり基本計画との整合を図りながら円滑な垂直・水平移動ができるような施設整備を行います。 <p>④心のバリアフリーの推進</p>
重点整備地区・生活関連施設・生活関連経路	<p>図 15 重点整備地区・生活関連施設・生活関連経路</p>

2. 現況データ

2-1. 人口

(1) 全市人口・世帯数

本市の人口・世帯数は、令和2（2020）年にかけて一貫して増加しています。

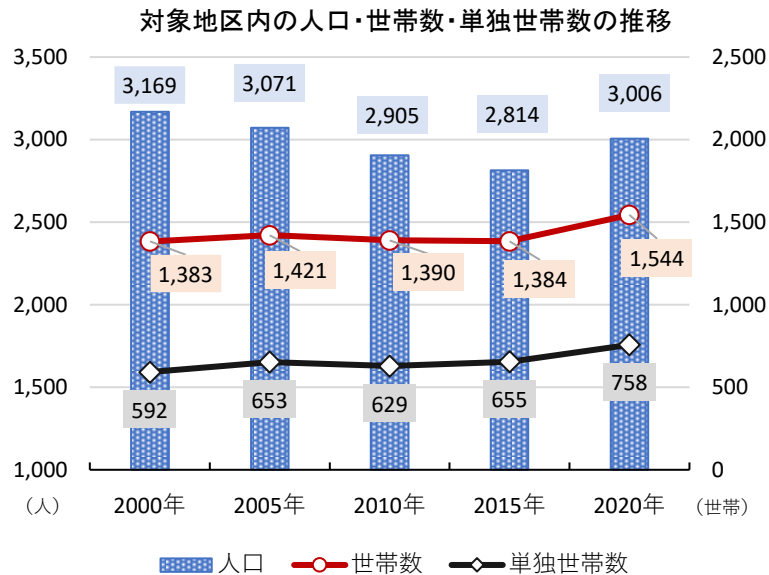


		1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	(人・世帯) 2010~20年の 増加率
人口	刈谷市	112,403	120,126	125,305	132,054	142,134	145,781	149,765	152,713	104.8%
	碧南市	63,778	65,899	66,956	67,814	71,408	72,018	71,346	73,222	101.7%
	安城市	133,059	142,251	149,464	158,824	170,250	178,691	184,140	190,230	106.5%
	知立市	50,506	54,059	58,578	62,587	66,085	68,398	70,501	72,479	106.0%
	高浜市	31,270	33,478	36,029	38,127	41,351	44,027	46,236	49,173	111.7%
世帯	刈谷市	37,937	42,470	44,775	48,941	55,678	58,917	62,476	66,807	113.4%
	碧南市	16,938	18,629	19,631	21,176	24,083	25,265	26,477	29,199	115.6%
	安城市	39,243	44,253	48,101	53,127	60,993	66,707	70,862	76,313	114.4%
	知立市	15,542	17,923	20,699	23,084	25,619	27,882	29,312	32,527	116.7%
	高浜市	8,728	9,947	11,394	12,563	14,547	16,090	17,684	20,573	127.9%

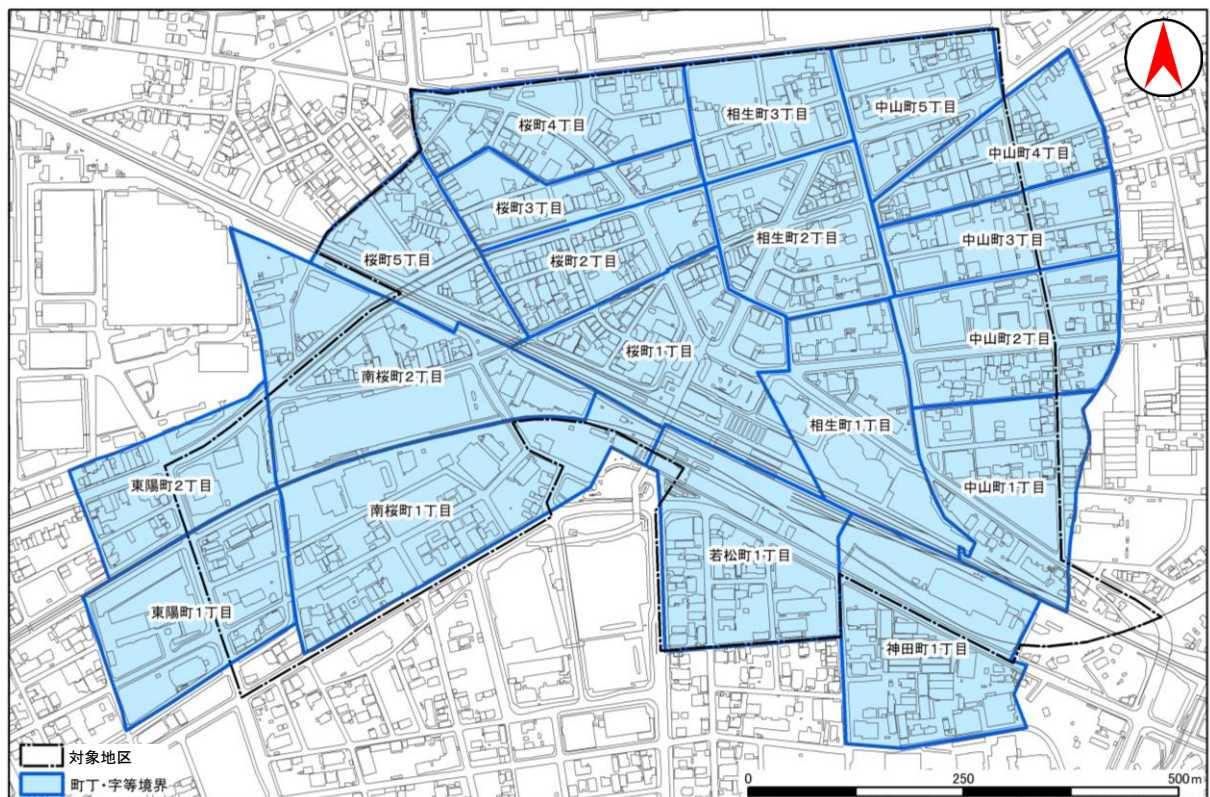
出典：国勢調査 ※2020年のみ住民基本台帳(2020年2月1日時点)

(2) 対象地区内人口・世帯数・単独世帯数

対象地区内の人口・世帯数・単独世帯数は、平成 27 (2015) 年までは逡減傾向でしたが、以降は増加に転じています。南桜町と中山町、若松町の人口・世帯数・単独世帯数が増加していることが要因として考えられます。特に、再開発に伴い、南桜町 1 丁目は人口・世帯数・単独世帯数が平成 27 (2015) 年から大きく増加しています。



対象地区と集計町丁目



		2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
人口	計	3,169	3,071	2,905	2,814	3,006
	東陽町1丁目	77	69	67	64	66
	東陽町2丁目	67	54	50	48	38
	南桜町1丁目	250	266	229	264	523
	南桜町2丁目	241	226	245	228	205
	桜町1丁目	125	113	96	100	81
	桜町2丁目	134	121	102	98	85
	桜町3丁目	65	62	67	65	51
	桜町4丁目	105	104	90	86	84
	桜町5丁目	243	206	187	163	136
	若松町1丁目	172	153	147	150	196
	神田町1丁目	29	41	38	33	31
	中山町1丁目	241	239	198	203	208
	中山町2丁目	261	197	299	273	293
	中山町3丁目	81	83	83	81	83
	中山町4丁目	98	98	93	92	93
	中山町5丁目	90	90	91	83	85
	相生町1丁目	571	583	533	517	509
	相生町2丁目	295	339	271	253	229
相生町3丁目	24	27	19	13	10	
世帯	計	1,383	1,421	1,390	1,384	1,544
	東陽町1丁目	28	29	29	30	29
	東陽町2丁目	26	25	24	22	22
	南桜町1丁目	114	127	111	132	250
	南桜町2丁目	100	100	135	127	125
	桜町1丁目	51	58	49	59	48
	桜町2丁目	61	56	50	60	54
	桜町3丁目	20	21	23	23	19
	桜町4丁目	39	43	43	41	45
	桜町5丁目	117	102	94	80	67
	若松町1丁目	93	79	73	83	103
	神田町1丁目	20	28	26	23	21
	中山町1丁目	103	101	91	94	111
	中山町2丁目	116	86	135	118	132
	中山町3丁目	37	43	43	38	45
	中山町4丁目	43	43	42	43	51
	中山町5丁目	58	56	54	50	57
	相生町1丁目	225	245	237	238	246
	相生町2丁目	123	167	122	115	113
相生町3丁目	9	12	9	8	6	
単 独 世 帯	計	592	653	629	655	758
	東陽町1丁目	5	8	6	8	10
	東陽町2丁目	14	13	12	9	13
	南桜町1丁目	50	55	46	61	106
	南桜町2丁目	39	43	78	76	80
	桜町1丁目	22	33	27	37	29
	桜町2丁目	28	25	26	38	35
	桜町3丁目	3	4	4	7	5
	桜町4丁目	16	22	24	21	25
	桜町5丁目	72	58	56	44	34
	若松町1丁目	47	41	31	44	48
	神田町1丁目	17	22	21	19	17
	中山町1丁目	43	37	38	41	61
	中山町2丁目	48	33	51	44	53
	中山町3丁目	22	27	22	19	24
	中山町4丁目	23	22	21	21	31
	中山町5丁目	42	38	36	34	39
	相生町1丁目	53	79	81	88	100
	相生町2丁目	46	89	46	38	44
相生町3丁目	2	4	3	6	4	

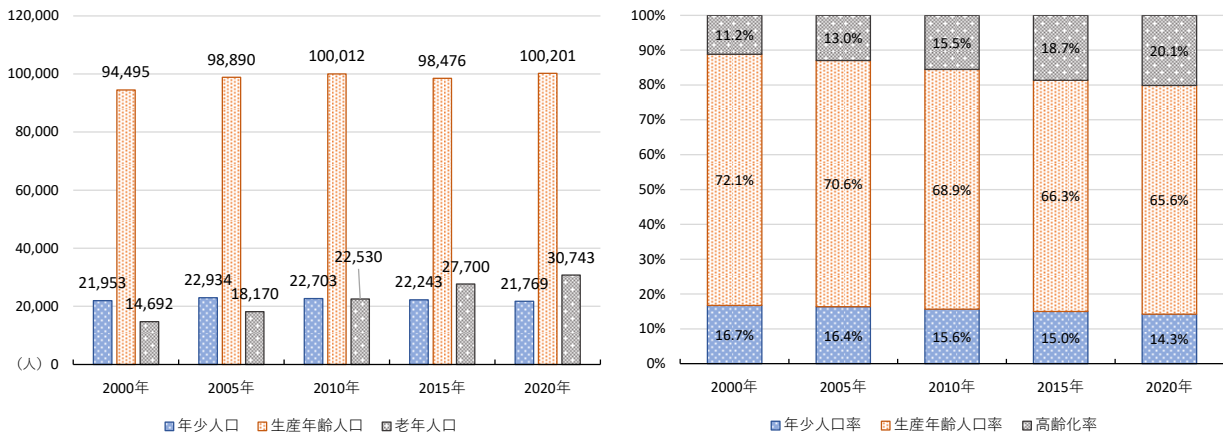
出典：住民基本台帳(各年4月1日時点 ※2020年のみ2月1日時点)

(3) 年齢別人口構成 (3区分)

本市の年齢別人口構成は、生産年齢人口、老年人口が平成12(2000)年以降微増傾向にあります。高齢化率を見ると、平成12(2000)年から現在にかけて徐々に増加しており、全市的に高齢化が進んでいます。

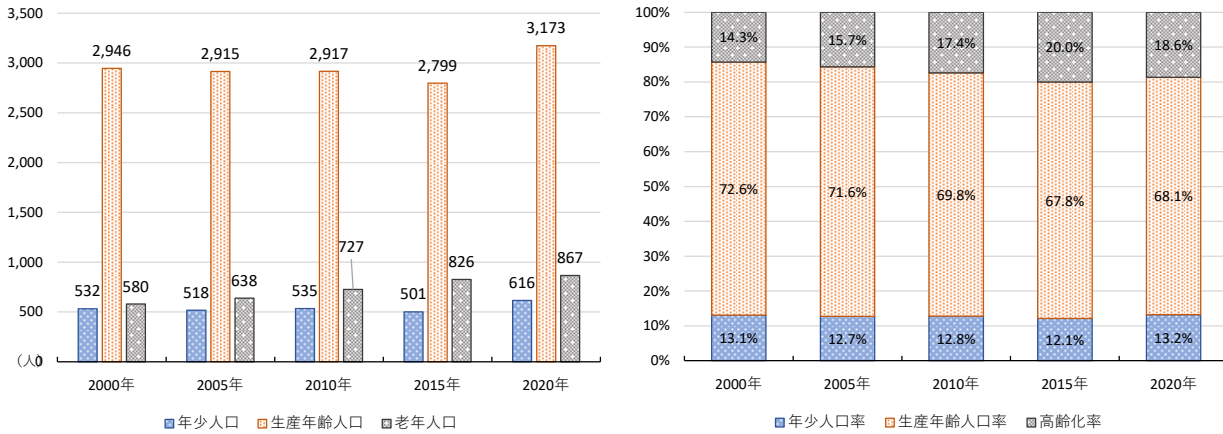
対象地区内については、生産年齢人口比率は全市よりも高く、人口も令和2(2020)年には増加しています。高齢化率、年少人口率は市全体と比較すると低くなっていますが、高齢者人口、年少人口はともに増加しています。

刈谷市年齢別人口構成(左:人口 右:構成比)



出典:住民基本台帳(各年4月1日時点 ※2020年のみ2月1日時点)

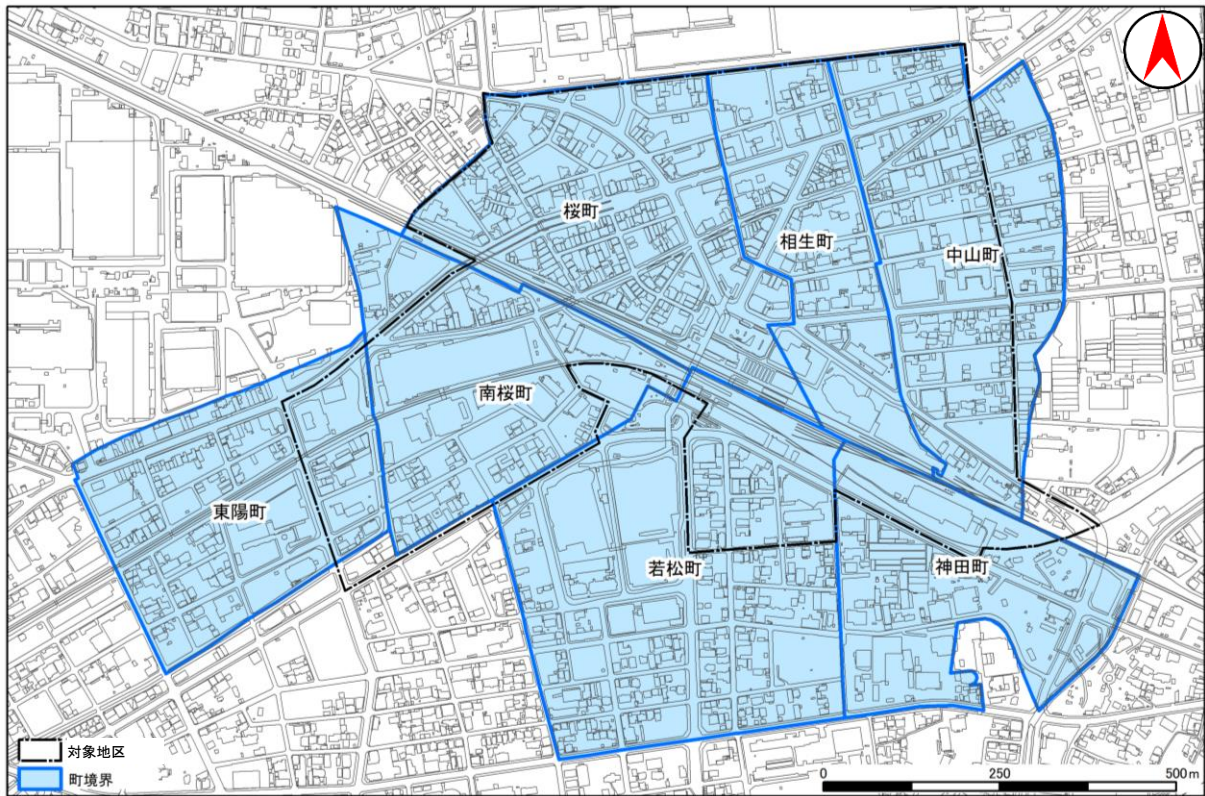
対象地区年齢別人口構成(左:人口 右:構成比)



出典:住民基本台帳(各年4月1日時点 ※2020年のみ2月1日時点)

※対象地区に係る町(東陽町、南桜町、桜町、若松町、神田町、中山町、相生町)で集計しているため、前項の対象地区の町丁目人口より、集計範囲が広く、人口の合計も大きくなっている。

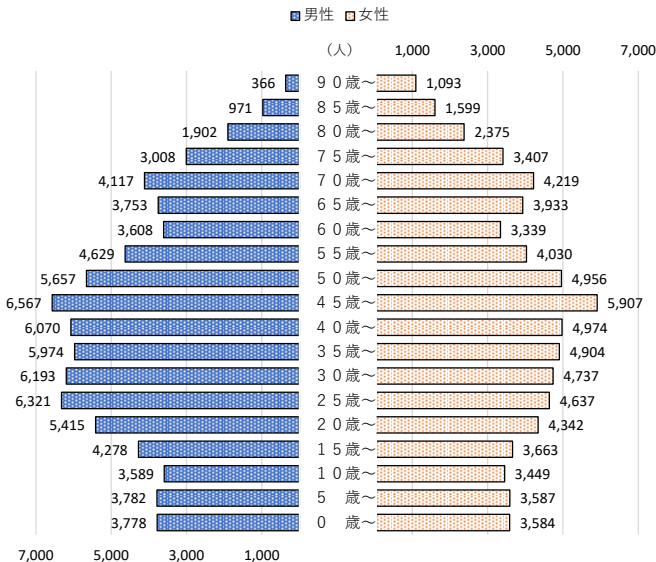
対象地区と集計町



(4) 年齢別人口構成 (5歳階級別)

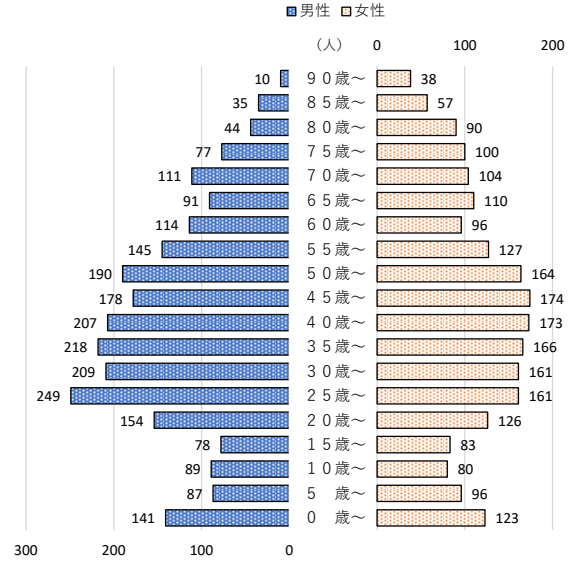
本市の5歳階級別人口構成は、男女ともに45～49歳が最も多く、一方で、対象地区については、男性は25～29歳、女性は45～49歳が最も多く、全市と比較すると比較的若い世代が多くなっています。また、20歳代で急激に人口が増え、かつ男性の方が女性より多い特徴があります。これは就職期の転入や製造業を中心とする産業構造が影響しているものと考えられます。

刈谷市 5歳階級別人口構成(2020年)



出典:住民基本台帳(2020年2月1日時点)

対象地区 5歳階級別人口構成(2020年)

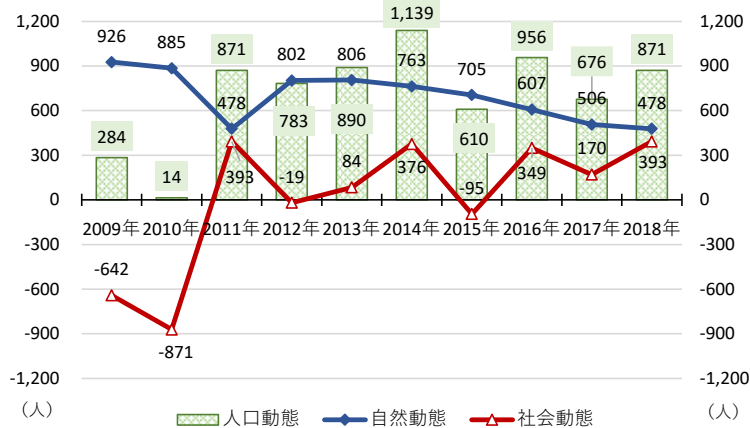


出典:住民基本台帳(2020年2月1日時点)

(5) 人口動態

本市の自然動態は自然増だが増加数は減少傾向にあります。一方、社会動態は、平成23(2011)年以降は社会増である年が多くなっています。人口動態の合計では、平成21(2009)年からプラスが続いており、人口増となっています。

人口動態の推移

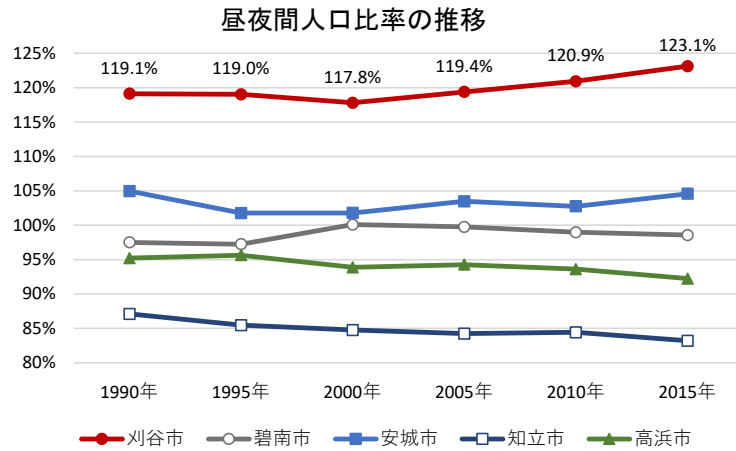


	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
人口動態	284	14	871	783	890	1139	610	956	676	871
自然動態	926	885	478	802	806	763	705	607	506	478
出生	1,772	1,790	1,635	1,743	1,756	1,747	1,721	1,684	1,581	1,635
死亡	846	905	1,157	941	950	984	1,016	1,077	1,075	1,157
社会動態	-642	-871	393	-19	84	376	-95	349	170	393
転入	9,321	7,707	9,357	8,465	8,322	8,274	8,441	8,791	8,710	9,357
転出	10,005	8,613	8,753	8,449	8,024	7,749	8,455	8,380	8,481	8,753
その他増	67	69	129	149	135	145	190	189	210	129
その他減	25	34	340	184	349	294	271	251	269	340

出典:刈谷の統計

(6) 昼夜間人口比率

昼夜間人口比率は、本市は周辺市と比較すると最も高く、かつ増加傾向にあり、吸引力が高いといえます。一方で、碧南市、高浜市、知立市は、昼夜間人口比率が減少傾向にあります。



	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
刈谷市	119.1%	119.0%	117.8%	119.4%	120.9%	123.1%
碧南市	97.5%	97.2%	100.1%	99.7%	99.0%	98.6%
安城市	105.0%	101.8%	101.8%	103.5%	102.7%	104.6%
知立市	87.1%	85.5%	84.8%	84.2%	84.4%	83.2%
高浜市	95.2%	95.7%	93.9%	94.3%	93.6%	92.2%

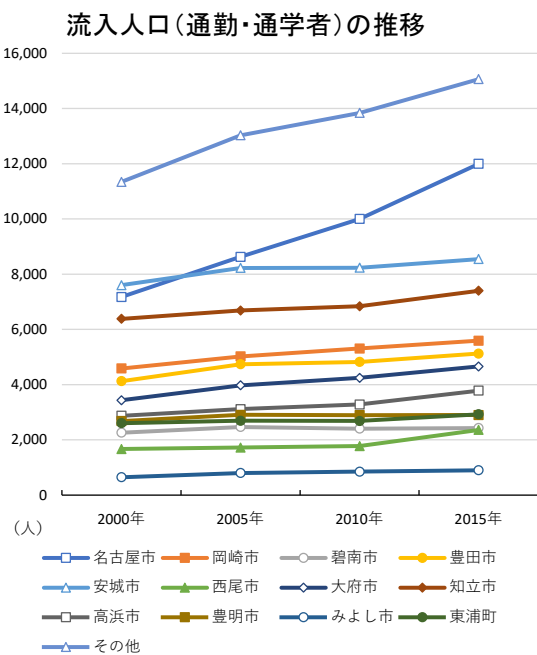
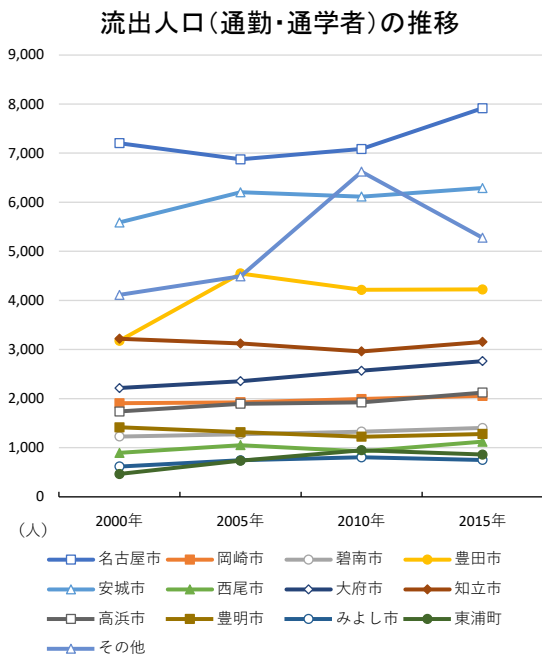
【参考】名古屋市の昼夜間人口比率の高い区

区	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
中区	512.2%	558.3%	557.5%	494.6%	379.1%	364.0%
中村区	172.7%	176.9%	177.8%	176.3%	166.2%	172.1%
東区	182.5%	188.8%	181.3%	170.9%	162.0%	158.1%
熱田区	152.4%	152.2%	144.1%	138.3%	135.2%	134.5%

出典：国勢調査

(7) 流出入人口

流出人口（通勤・通学者）については、名古屋市、安城市、豊田市への流出が多い傾向にあり、流入人口については、名古屋市、安城市、知立市からの流入が多い傾向にあります。いずれの市町からも流入超過であり、名古屋市、知立市、岡崎市が多くなっています。また名古屋市からは流入・流出ともに増加傾向にあり、かつ流出入差が拡大傾向にあります。

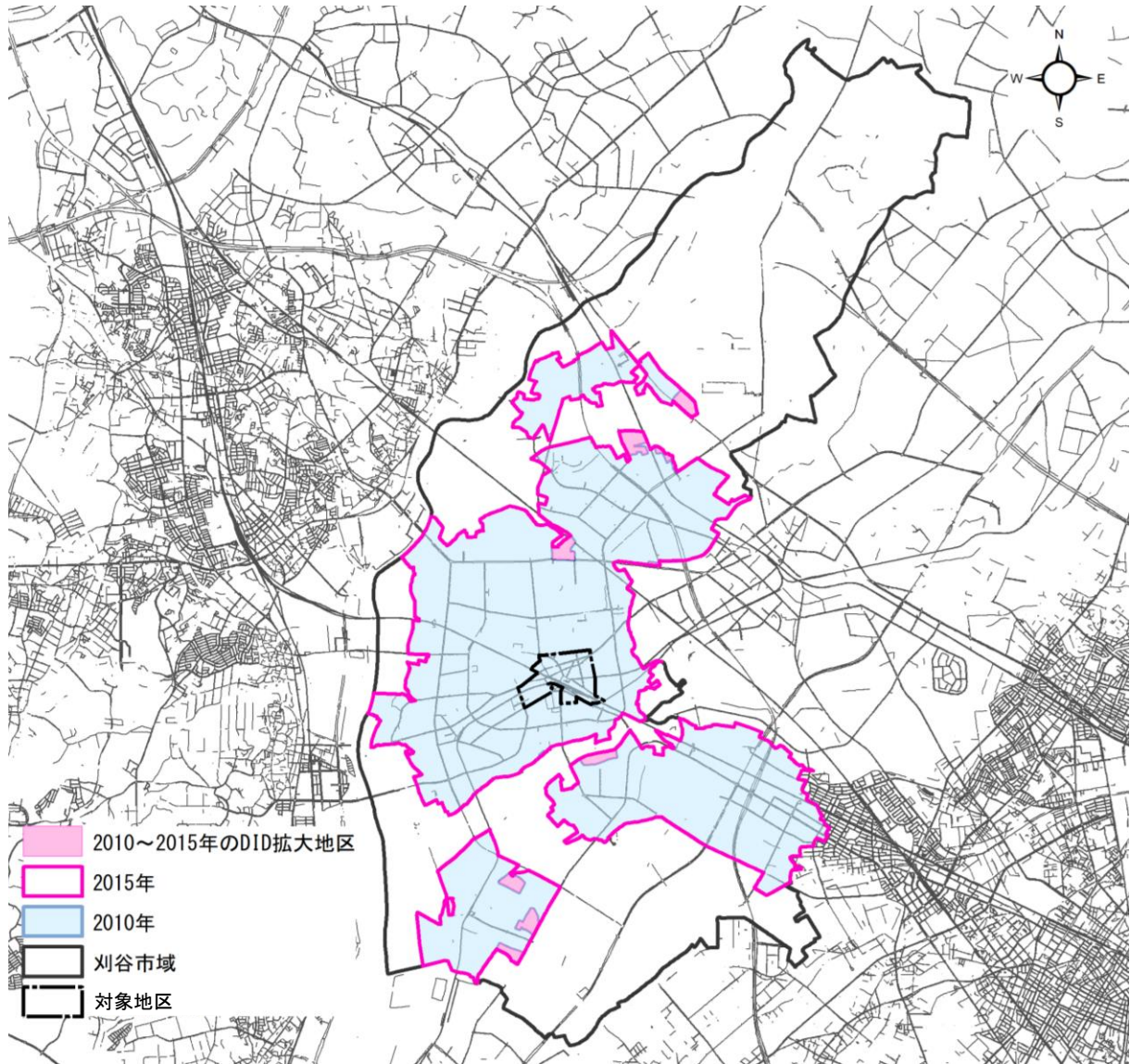


流出人口	2000年		2005年		2010年		2015年	
	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)
総数	33,784	100.0%	36,545	100.0%	38,715	100.0%	39,222	100.0%
名古屋市	7,203	21.3%	6,875	18.8%	7,085	18.3%	7,915	20.2%
岡崎市	1,907	5.6%	1,925	5.3%	1,993	5.1%	2,057	5.2%
碧南市	1,229	3.6%	1,276	3.5%	1,328	3.4%	1,403	3.6%
豊田市	3,180	9.4%	4,550	12.5%	4,215	10.9%	4,224	10.8%
安城市	5,587	16.5%	6,204	17.0%	6,114	15.8%	6,290	16.0%
西尾市	895	2.6%	1,052	2.9%	927	2.4%	1,123	2.9%
大府市	2,215	6.6%	2,356	6.4%	2,569	6.6%	2,764	7.0%
知立市	3,220	9.5%	3,123	8.5%	2,961	7.6%	3,155	8.0%
高浜市	1,739	5.1%	1,895	5.2%	1,923	5.0%	2,123	5.4%
豊明市	1,415	4.2%	1,316	3.6%	1,224	3.2%	1,281	3.3%
みよし市	617	1.8%	745	2.0%	805	2.1%	751	1.9%
東浦町	464	1.4%	737	2.0%	949	2.5%	860	2.2%
その他	4,113	12.2%	4,491	12.3%	6,622	17.1%	5,276	13.5%
流入人口	2000年		2005年		2010年		2015年	
	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)
総数	57,383	100.0%	64,003	100.0%	67,175	100.0%	73,669	100.0%
名古屋市	7,175	12.5%	8,627	13.5%	10,000	14.9%	11,994	16.3%
岡崎市	4,586	8.0%	5,022	7.8%	5,308	7.9%	5,590	7.6%
碧南市	2,260	3.9%	2,467	3.9%	2,407	3.6%	2,430	3.3%
豊田市	4,127	7.2%	4,737	7.4%	4,822	7.2%	5,123	7.0%
安城市	7,602	13.2%	8,226	12.9%	8,231	12.3%	8,548	11.6%
西尾市	1,669	2.9%	1,723	2.7%	1,776	2.6%	2,359	3.2%
大府市	3,433	6.0%	3,974	6.2%	4,243	6.3%	4,656	6.3%
知立市	6,384	11.1%	6,683	10.4%	6,839	10.2%	7,398	10.0%
高浜市	2,872	5.0%	3,115	4.9%	3,283	4.9%	3,784	5.1%
豊明市	2,680	4.7%	2,906	4.5%	2,895	4.3%	2,898	3.9%
みよし市	648	1.1%	800	1.2%	848	1.3%	900	1.2%
東浦町	2,605	4.5%	2,694	4.2%	2,685	4.0%	2,926	4.0%
その他	11,342	19.8%	13,029	20.4%	13,838	20.6%	15,063	20.4%
流出入差 (流入-流出)	2000年		2005年		2010年		2015年	
	実数(人)		実数(人)		実数(人)		実数(人)	
総数	23,599		27,458		28,460		34,447	
名古屋市	-28		1,752		2,915		4,079	
岡崎市	2,679		3,097		3,315		3,533	
碧南市	1,031		1,191		1,079		1,027	
豊田市	947		187		607		899	
安城市	2,015		2,022		2,117		2,258	
西尾市	774		671		849		1,236	
大府市	1,218		1,618		1,674		1,892	
知立市	3,164		3,560		3,878		4,243	
高浜市	1,133		1,220		1,360		1,661	
豊明市	1,265		1,590		1,671		1,617	
みよし市	31		55		43		149	
東浦町	2,141		1,957		1,736		2,066	
その他	7,229		8,538		7,216		9,787	

出典：国勢調査 ※2005年以前のみよし市については三好町の値
※その他は表内市町村を除く市区町村の合計

(8) DID地区

DID (人口集中) 地区について、平成 22 (2010) 年から平成 27 (2015) 年にかけて面積が拡大し、かつ人口・人口密度ともに増加しています。市街地の成長が続いているといえます。



	2010年	2015年
人口(人)	115,421	120,449
面積(km ²)	20.8	21.2
人口密度(人/km ²)	5,557.1	5,689.6

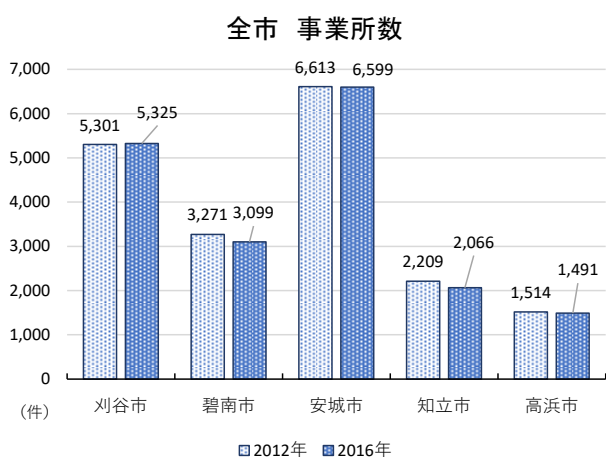
出典: 国勢調査

2-2. 産業

(1) 事業所数・従業者数

本市の事業所数は、平成 24 (2012) 年から平成 28 (2016) 年にかけて横ばいであるが、従業者数については増加傾向にある。各事業所の規模の拡大に伴い、従業者数が増加したと考えられます。

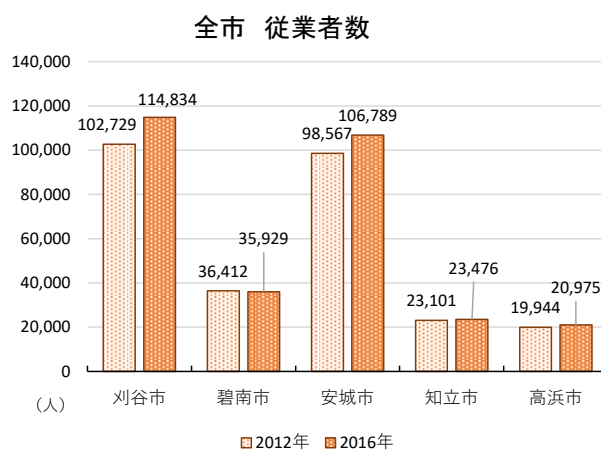
対象地区内の事業所数・従業者数は、平成 24 (2012) から平成 28 (2016) 年にかけて、ともに増加し、増加率は全市よりも高くなっています。小地域別でみると、刈谷駅直近に事業所と従業者が集中していることがわかります。



	2012年	2016年
刈谷市	5,301	5,325
碧南市	3,271	3,099
安城市	6,613	6,599
知立市	2,209	2,066
高浜市	1,514	1,491

出典：経済センサス活動調査

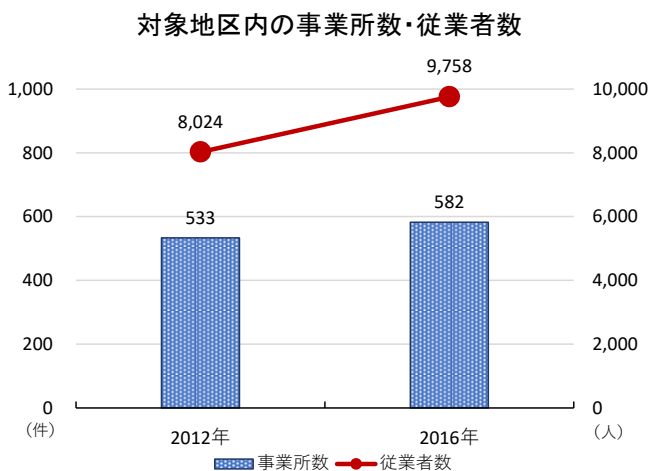
注) 集計対象は全産業(公務除く)事業所



	2012年	2016年
刈谷市	102,729	114,834
碧南市	36,412	35,929
安城市	98,567	106,789
知立市	23,101	23,476
高浜市	19,944	20,975

出典：経済センサス活動調査

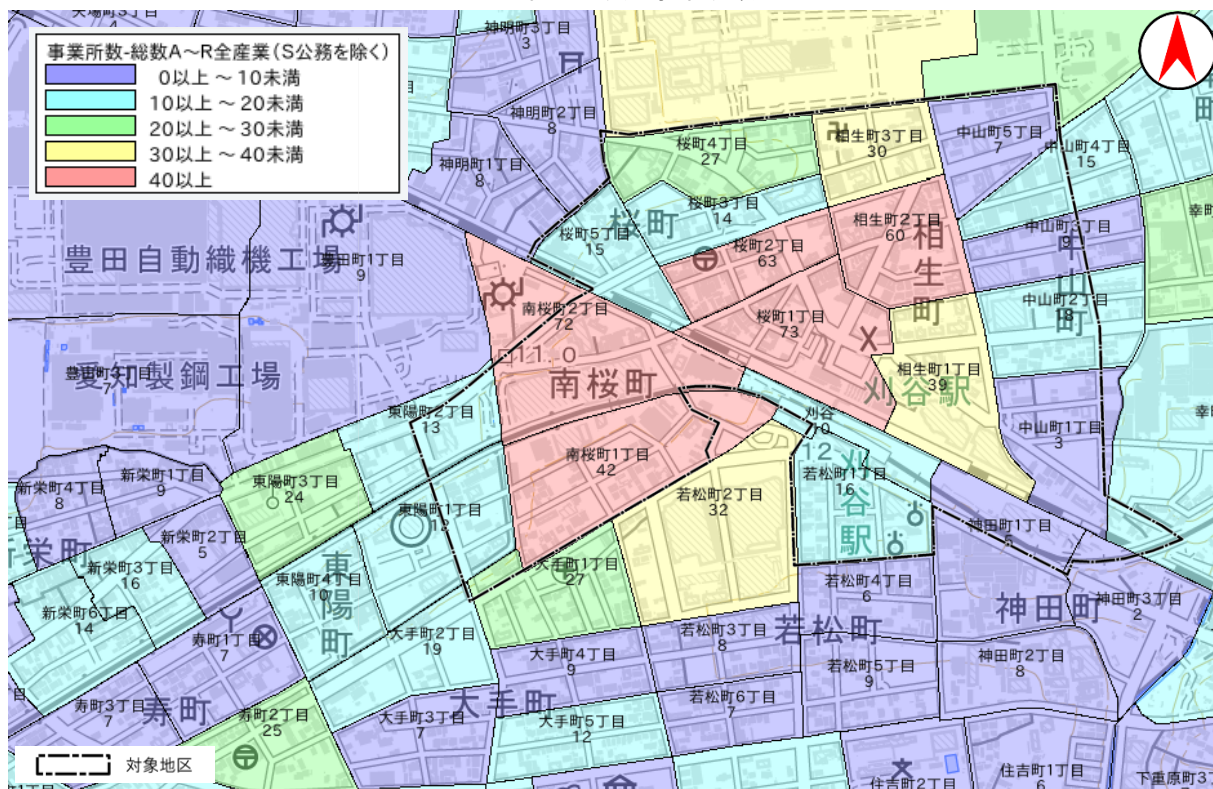
注) 集計対象は全産業(公務除く)事業所



	事業所数		従業者数	
	2012年	2016年	2012年	2016年
東陽町1丁目	12	13	206	295
東陽町2丁目	13	16	269	381
南桜町1丁目	42	40	330	853
南桜町2丁目	72	73	904	472
桜町1丁目	73	85	937	1,693
桜町2丁目	63	59	619	502
桜町3丁目	14	21	173	300
桜町4丁目	27	26	393	450
桜町5丁目	15	19	118	116
若松町1丁目	16	28	447	1,416
神田町1丁目	5	7	511	501
中山町1丁目	3	3	68	78
中山町2丁目	18	23	163	206
中山町3丁目	9	8	345	45
中山町4丁目	15	15	174	222
中山町5丁目	7	9	119	86
相生町1丁目	39	46	1,080	950
相生町2丁目	60	67	561	725
相生町3丁目	30	24	607	467
合計	533	582	8,024	9,758

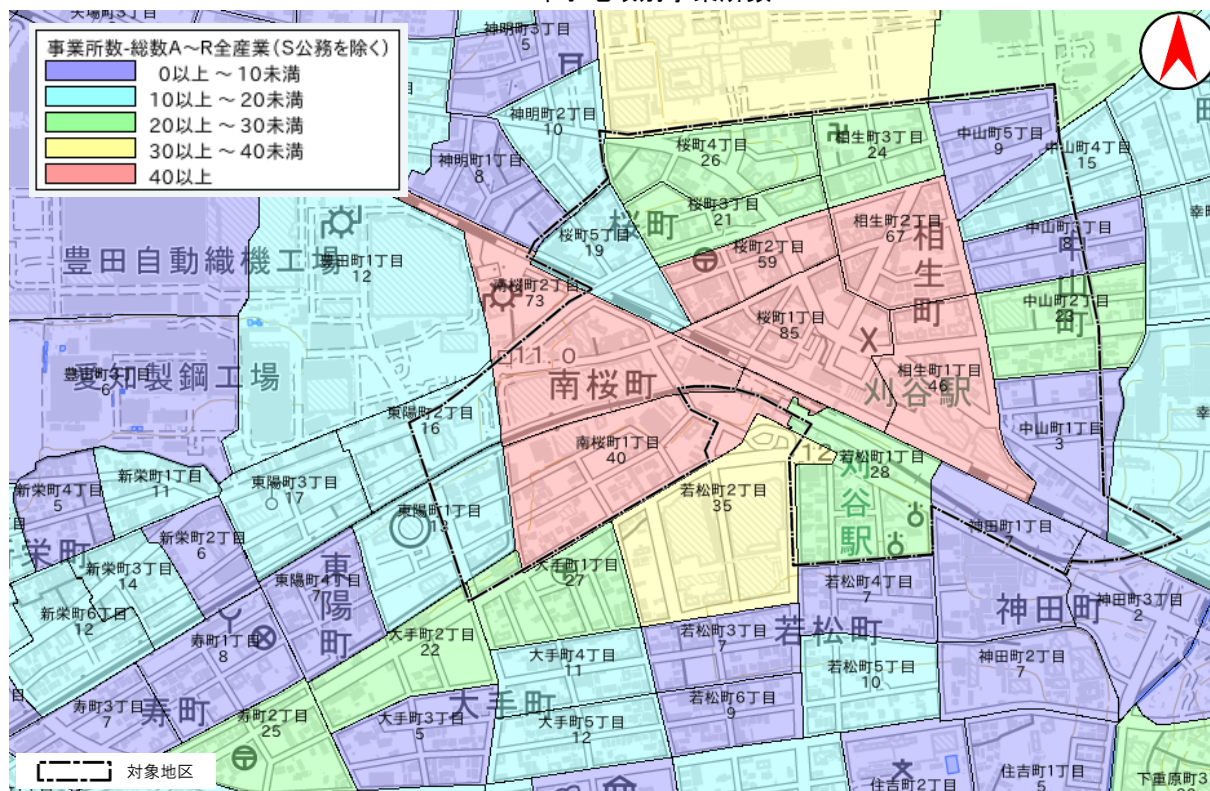
出典：経済センサス活動調査 注) 集計対象は全産業(公務除く)事業所

2012 年小地域別事業所数



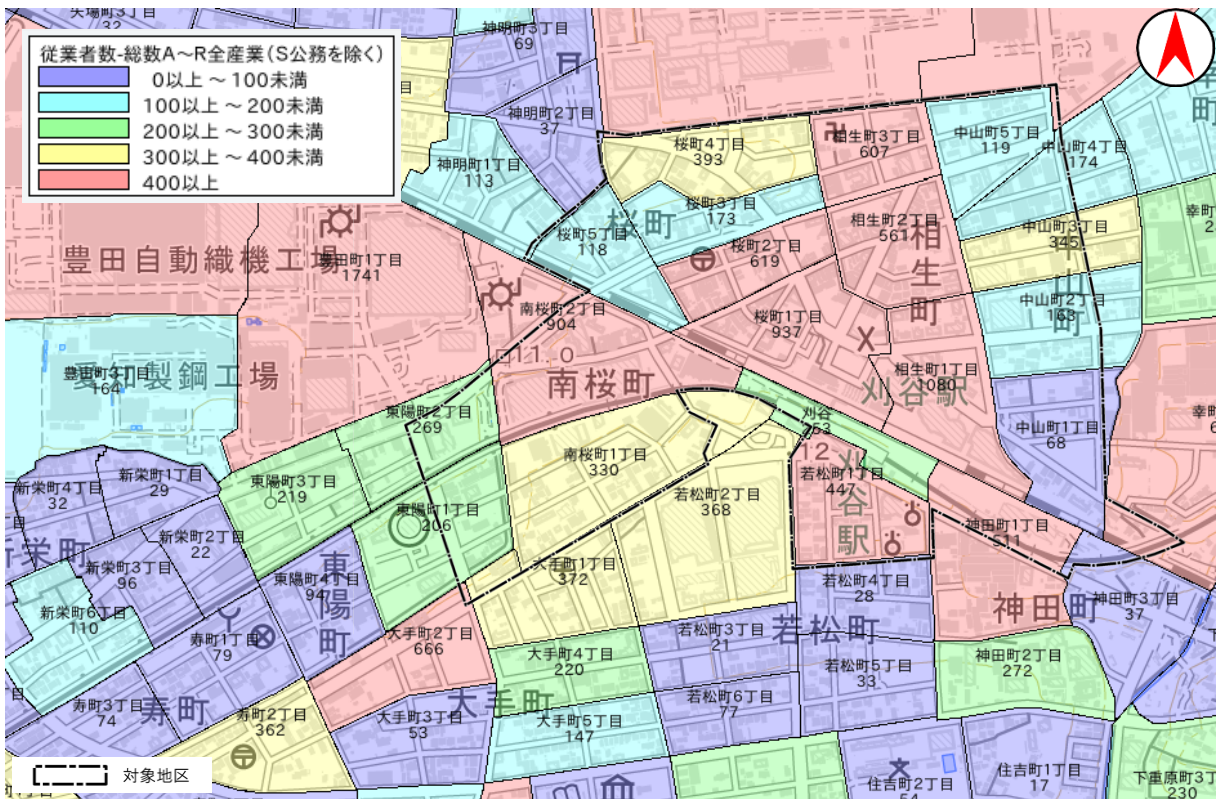
出典: 地図で見る統計より(2012年経済センサス活動調査) 注)集計対象は全産業(公務除く)事業所

2016 年小地域別事業所数



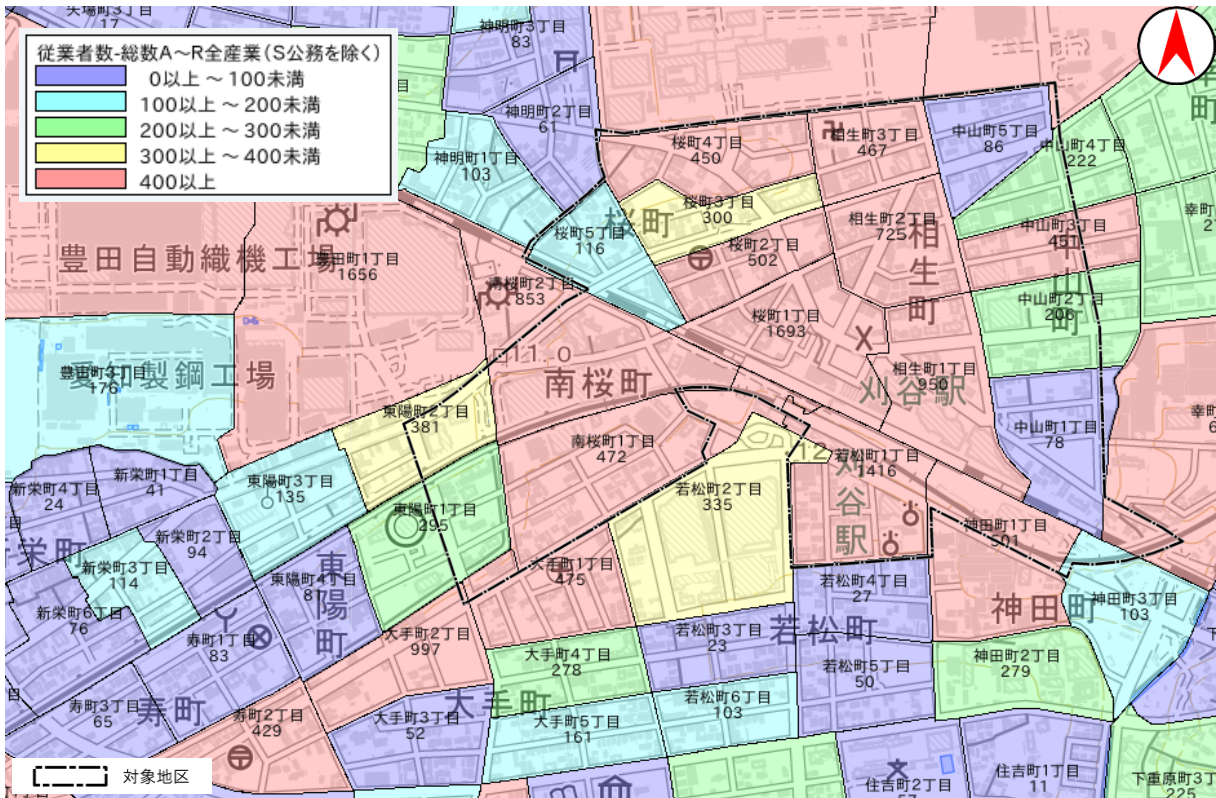
出典: 地図で見る統計より(2016年経済センサス活動調査) 注)集計対象は全産業(公務除く)事業所

2012年小地域別従業者数



出典：地図で見る統計より(2012年経済センサス活動調査) 注)集計対象は全産業(公務除く)事業所

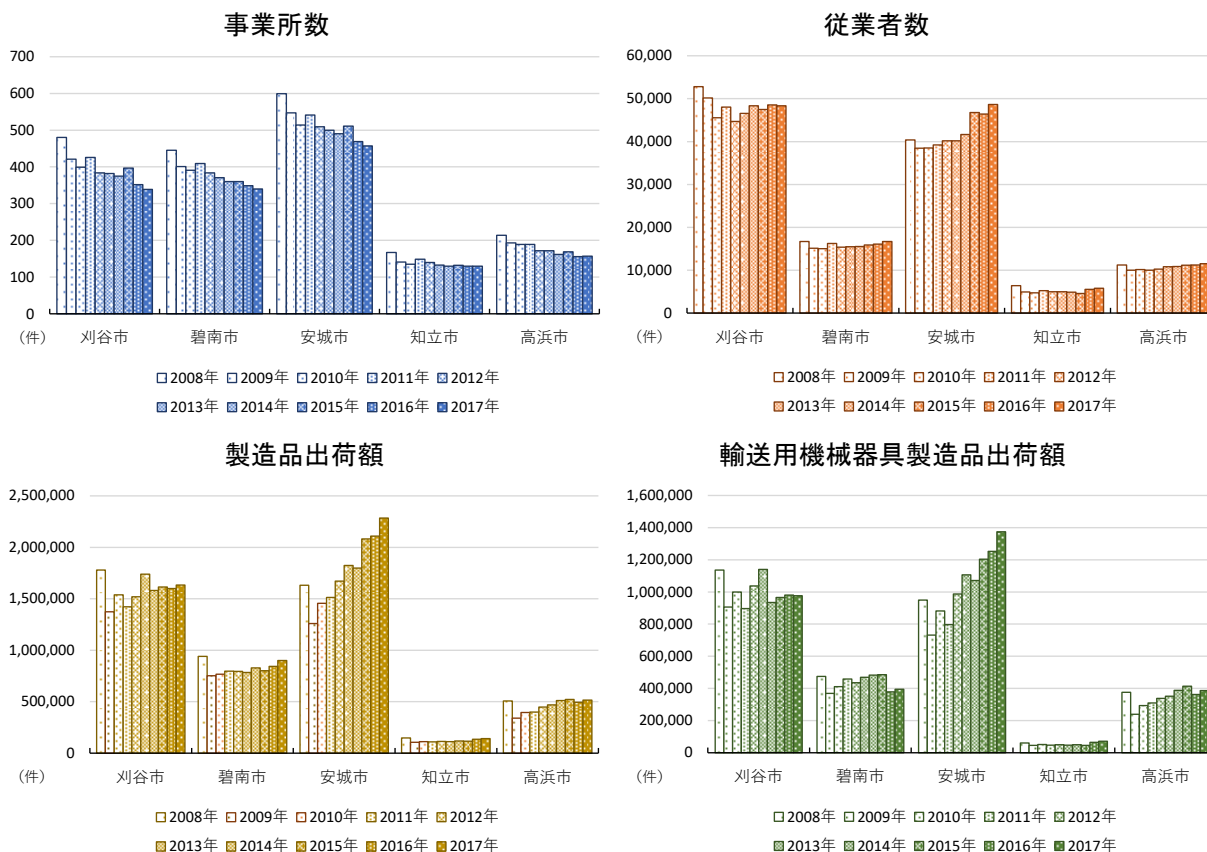
2016年小地域別従業者数



出典：地図で見る統計より(2016年経済センサス活動調査) 注)集計対象は全産業(公務除く)事業所

(2) 製造業の事業所数・従業者数・製造品出荷額

製造業の事業所数は減少傾向にある一方で、従業者数、製造品出荷額、輸送用機械器具製造業出荷額は平成20(2008)年から減少していましたが、近年徐々に回復傾向にあります。対象地区内の製造業事業所数、従業者数は平成24(2012)年から平成28(2016)年にかけて減少しています。



	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
刈谷市	480	421	399	426	384	382	375	397	352	339
碧南市	445	401	391	409	384	371	360	360	349	340
安城市	599	547	514	541	509	500	490	511	469	457
知立市	167	141	135	149	140	133	130	132	130	130
高浜市	214	193	189	189	172	172	162	169	156	157

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
刈谷市	52,821	50,183	45,562	48,065	44,692	46,559	48,349	47,482	48,578	48,345
碧南市	16,711	15,137	15,018	16,220	15,389	15,496	15,517	15,863	16,097	16,699
安城市	40,382	38,434	38,512	39,201	40,180	40,188	41,635	46,797	46,402	48,662
知立市	6,388	4,923	4,717	5,217	4,988	4,969	4,866	4,594	5,524	5,783
高浜市	11,218	9,993	10,140	10,010	10,277	10,811	10,872	11,169	11,244	11,524

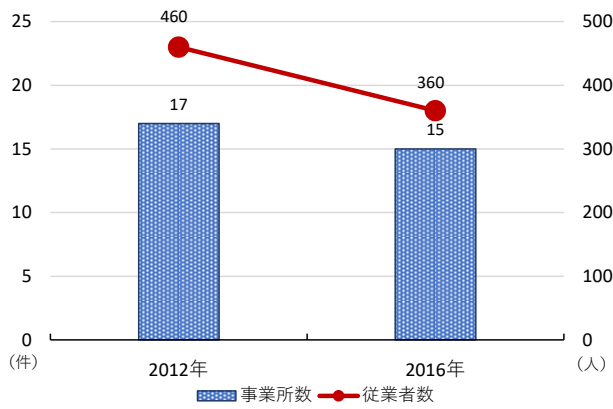
	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
刈谷市	1,778,663	1,373,066	1,537,769	1,422,035	1,518,945	1,738,852	1,580,061	1,613,897	1,600,564	1,634,286
碧南市	940,149	752,246	766,769	797,449	794,716	783,315	827,571	800,252	842,965	901,360
安城市	1,632,699	1,259,477	1,455,916	1,513,613	1,670,933	1,823,934	1,799,565	2,081,783	2,109,889	2,284,036
知立市	147,172	104,885	111,374	109,677	114,222	112,130	118,463	117,151	134,431	140,938
高浜市	506,575	340,548	395,270	400,318	447,920	469,928	512,353	521,146	494,113	515,974

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
刈谷市	1,136,241	906,514	999,385	897,172	1,037,077	1,139,711	934,816	966,023	980,279	975,927
碧南市	474,210	369,125	410,360	457,786	435,374	468,646	482,744	485,695	378,076	394,358
安城市	949,037	731,088	881,438	797,065	987,208	1,106,938	1,071,502	1,203,281	1,252,539	1,374,020
知立市	60,522	46,012	50,641	47,582	49,588	46,504	49,186	46,058	64,682	71,334
高浜市	376,134	238,641	293,482	309,519	338,508	352,129	388,037	413,203	361,734	387,028

出典：工業統計調査(2011年、2015年は経済センサス活動調査)

注)集計対象は4人以上の事業所(管理、補助的経済活動のみを行う事業所、製造品目別に出荷額が得られなかった事業所を除く)

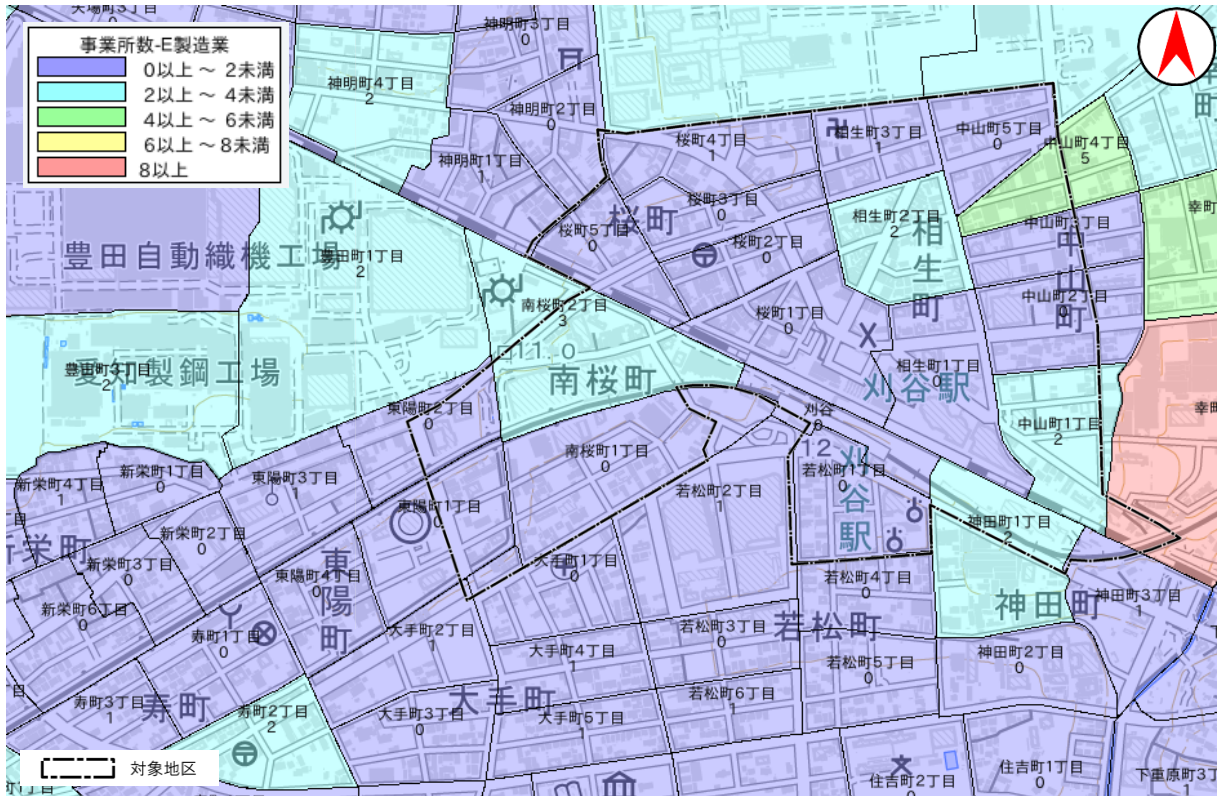
対象地区内の製造業事業所数・従業者数



	製造業事業所数		製造業従業者数	
	2012年	2016年	2012年	2016年
東陽町1丁目	0	0	0	0
東陽町2丁目	0	0	0	0
南桜町1丁目	0	0	0	0
南桜町2丁目	3	2	28	8
桜町1丁目	0	0	0	0
桜町2丁目	0	1	0	6
桜町3丁目	0	0	0	0
桜町4丁目	1	0	6	0
桜町5丁目	0	0	0	0
若松町1丁目	0	0	0	0
神田町1丁目	2	2	171	146
中山町1丁目	2	2	57	65
中山町2丁目	0	2	0	0
中山町3丁目	1	1	15	17
中山町4丁目	5	4	120	114
中山町5丁目	0	0	0	0
相生町1丁目	0	0	0	0
相生町2丁目	2	0	57	0
相生町3丁目	1	1	6	4
合計	17	15	460	360

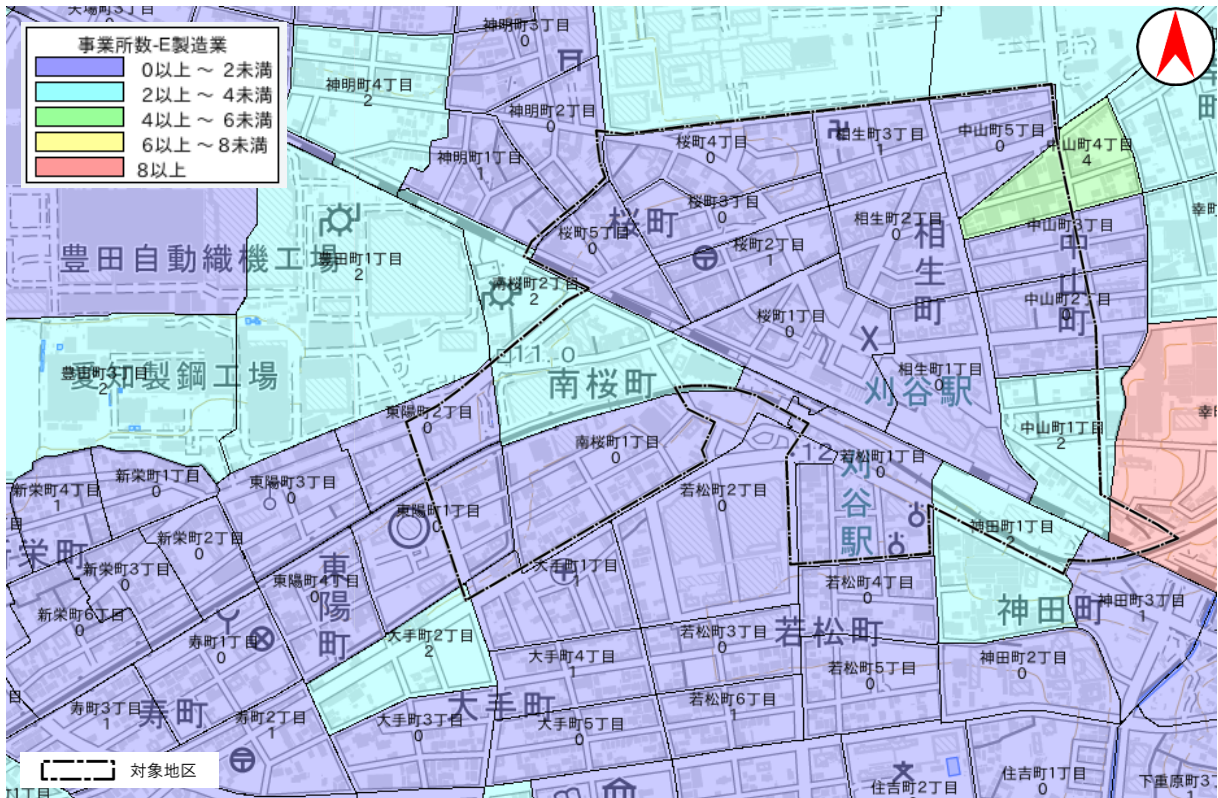
出典：経済センサス活動調査 注)集計対象は製造業全事業所

2012 年小地域別製造業事業所数



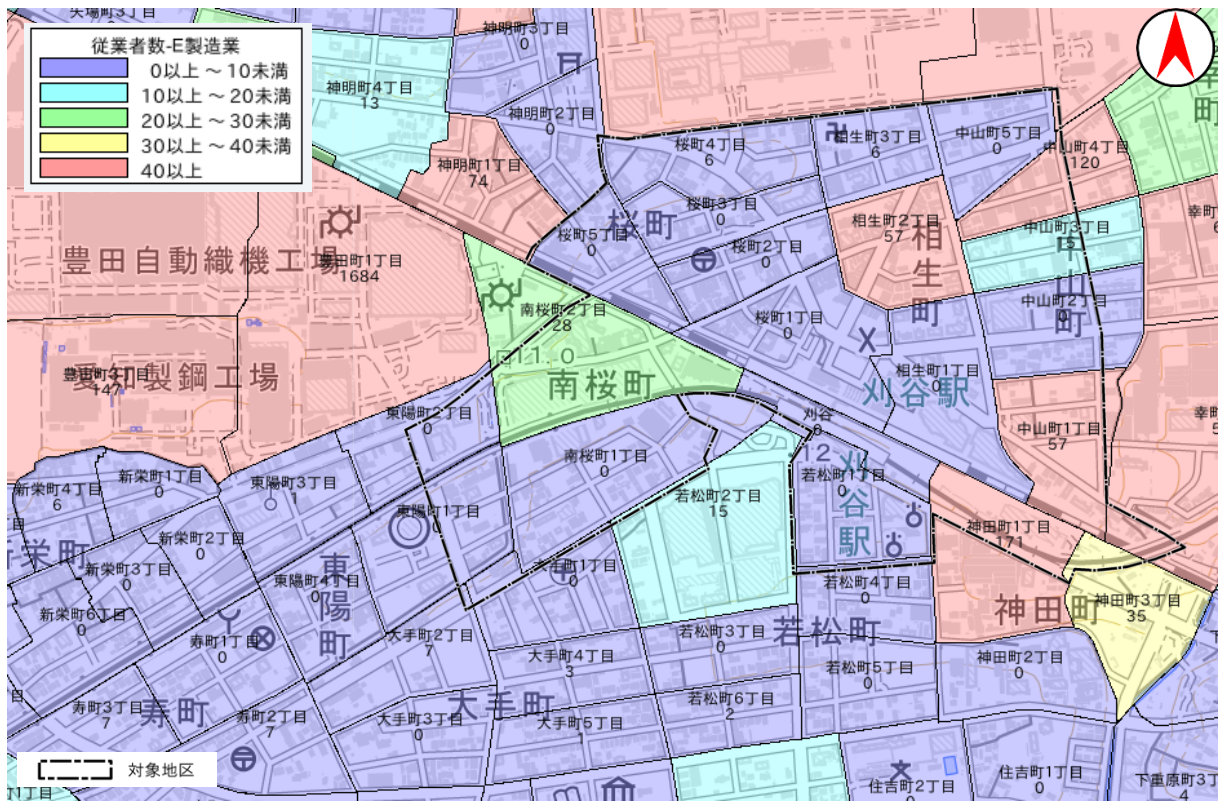
出典:地図で見る統計より(2012年経済センサス活動調査) 注)集計対象は製造業全事業所

2016 年小地域別製造業事業所数



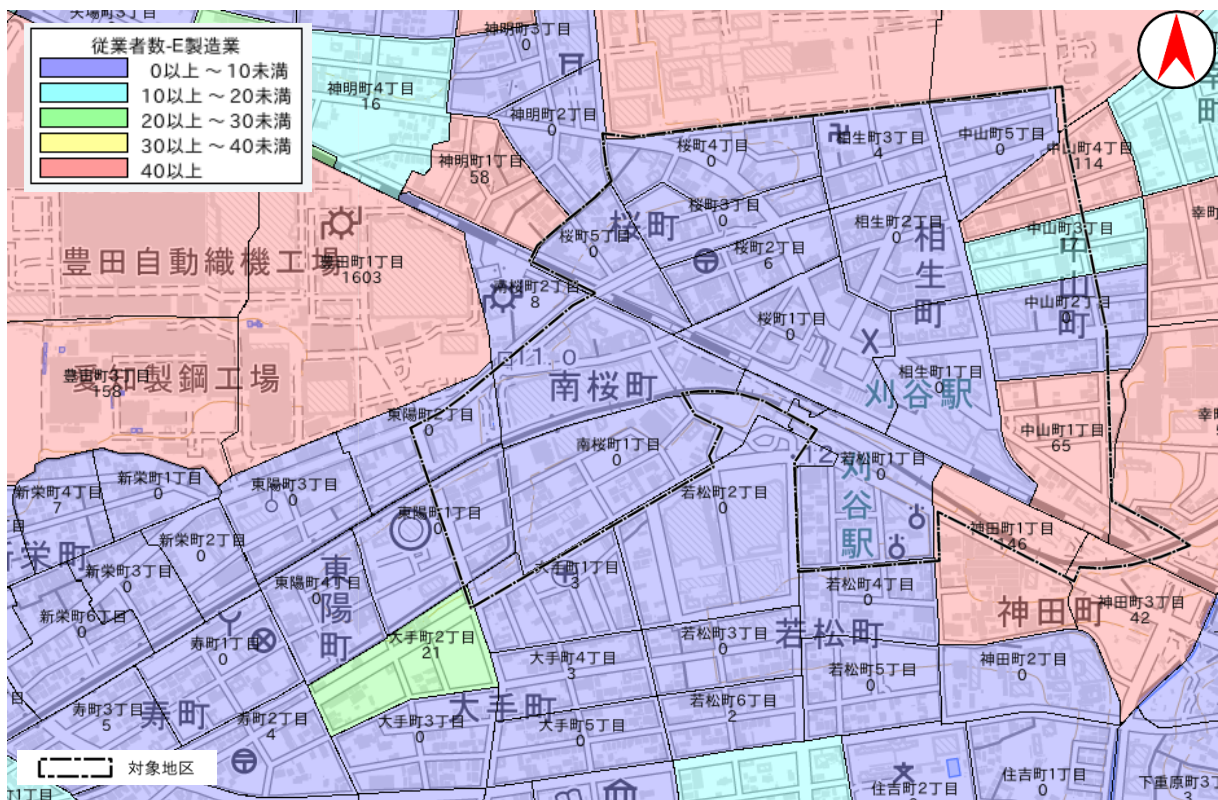
出典:地図で見る統計より(2016年経済センサス活動調査) 注)集計対象は製造業全事業所

2012 年小地域別製造業従業者数



出典：地図で見る統計より(2012年経済センサス活動調査) 注)集計対象は製造業全事業所

2016 年小地域別製造業従業者数



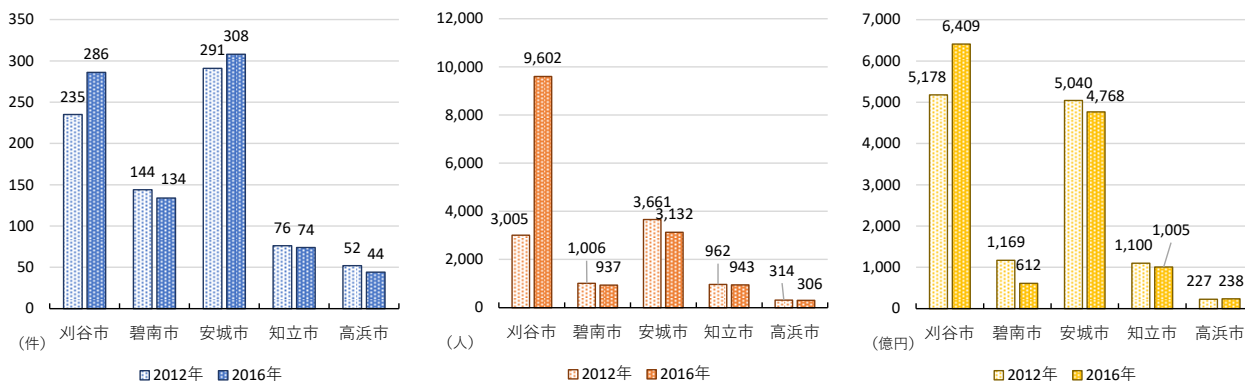
出典：地図で見る統計より(2016年経済センサス活動調査) 注)集計対象は製造業全事業所

(3) 卸売・小売業の事業所数・従業者数・年間商品販売額

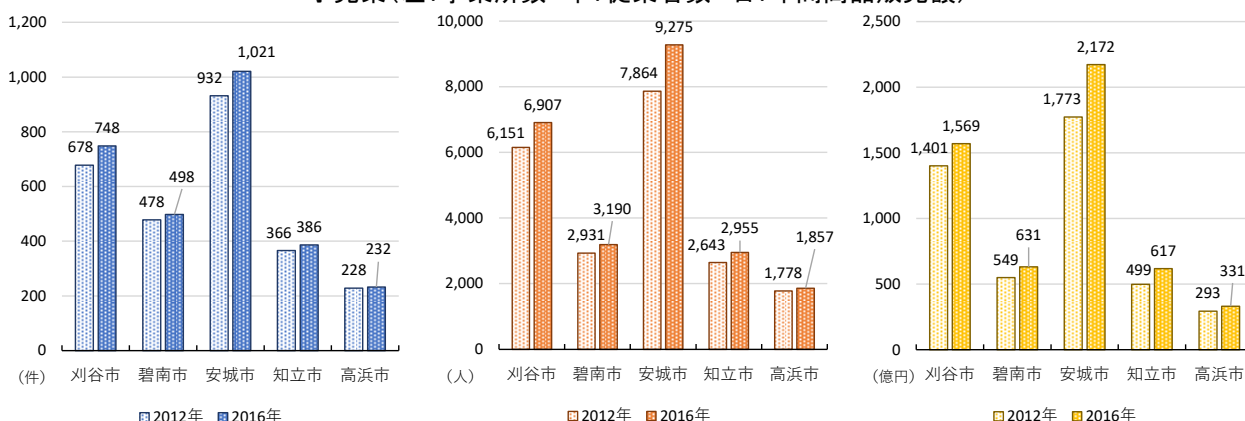
卸売・小売業の事業所数、従業者数、年間商品販売額は、増加傾向にあります。

一方、対象地区内の卸売・小売業は、事業所数・従業者数ともに微減となっています。町丁目別でみると、事業所数・従業者数ともに大規模小売店舗のある南桜町2丁目が最も多くなっています。

卸売業(左:事業所数 中:従業者数 右:年間商品販売額)



小売業(左:事業所数 中:従業者数 右:年間商品販売額)



	合計		卸売		小売	
	2012年	2016年	2012年	2016年	2012年	2016年
刈谷市	913	1,034	235	286	678	748
碧南市	622	632	144	134	478	498
安城市	1,223	1,329	291	308	932	1,021
知立市	442	460	76	74	366	386
高浜市	280	276	52	44	228	232

	合計		卸売		小売	
	2012年	2016年	2012年	2016年	2012年	2016年
刈谷市	9,156	16,509	3,005	9,602	6,151	6,907
碧南市	3,937	4,127	1,006	937	2,931	3,190
安城市	11,525	12,407	3,661	3,132	7,864	9,275
知立市	3,605	3,898	962	943	2,643	2,955
高浜市	2,092	2,163	314	306	1,778	1,857

	合計		卸売		小売	
	2012年	2016年	2012年	2016年	2012年	2016年
刈谷市	657,974	797,737	517,828	640,853	140,146	156,884
碧南市	171,815	124,216	116,904	61,161	54,911	63,055
安城市	681,319	693,923	503,999	476,753	177,320	217,170
知立市	159,916	162,207	110,011	100,523	49,905	61,684
高浜市	52,059	56,837	22,716	23,777	29,343	33,060

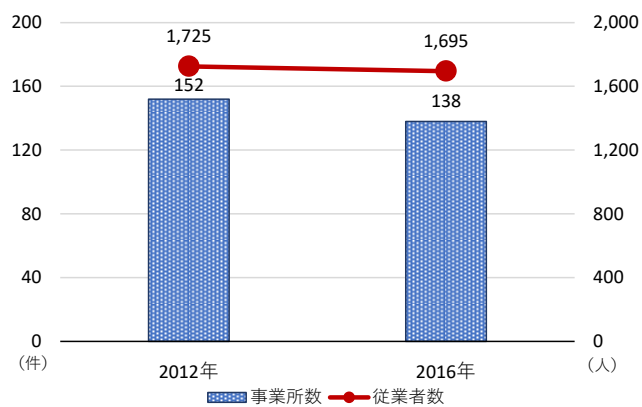
出典: 経済センサス活動調査

注) 集計対象には管理、補助的経済活動のみを行う事業所、産業細分類が格付不能の事業所、卸売の商品販売額(仲立手数料を除く)、小売の商品販売額及び仲立手数料のいずれの金額も無い事業所は含まない。

【参考】定義

卸売業	小売業者又は他の卸売業者に商品を販売する事業所ほか
小売業	個人(個人経営の農林漁家への販売を含む)又は家庭用消費者のために商品を販売する事業所ほか

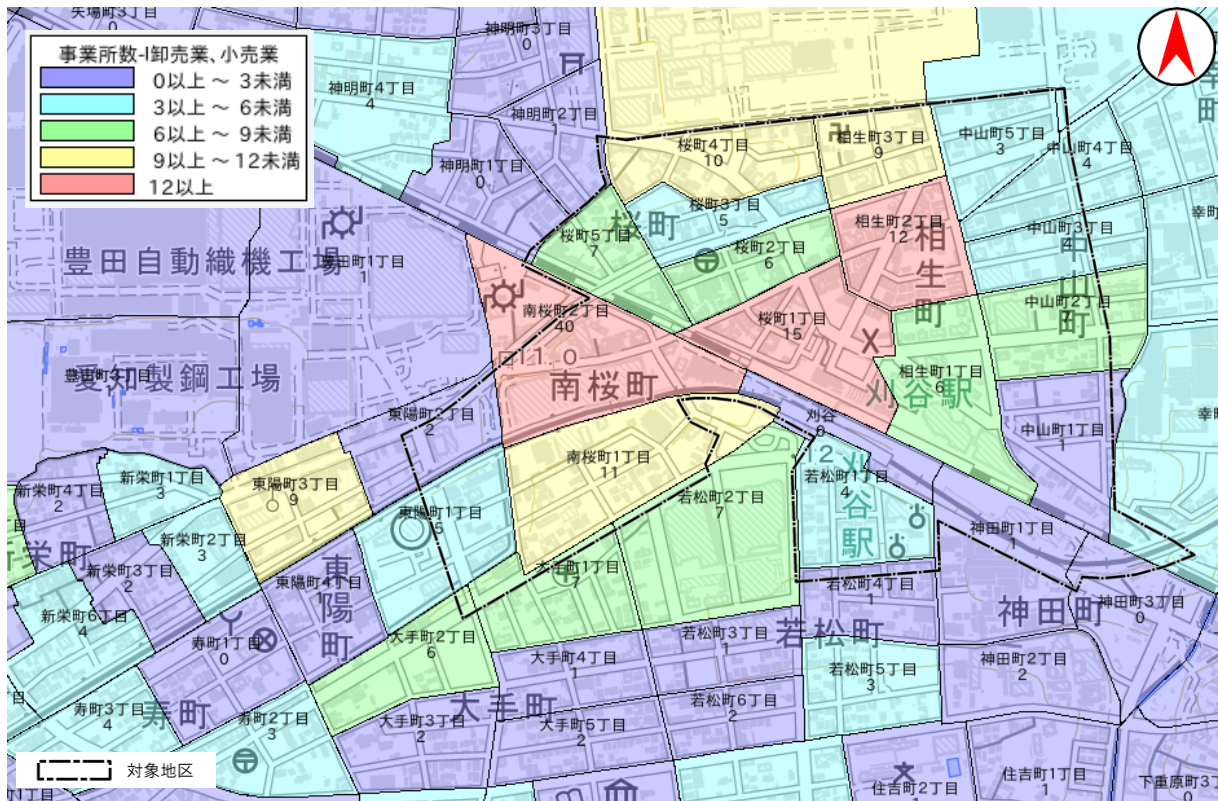
対象地区内の卸売・小売事業所数・従業者数



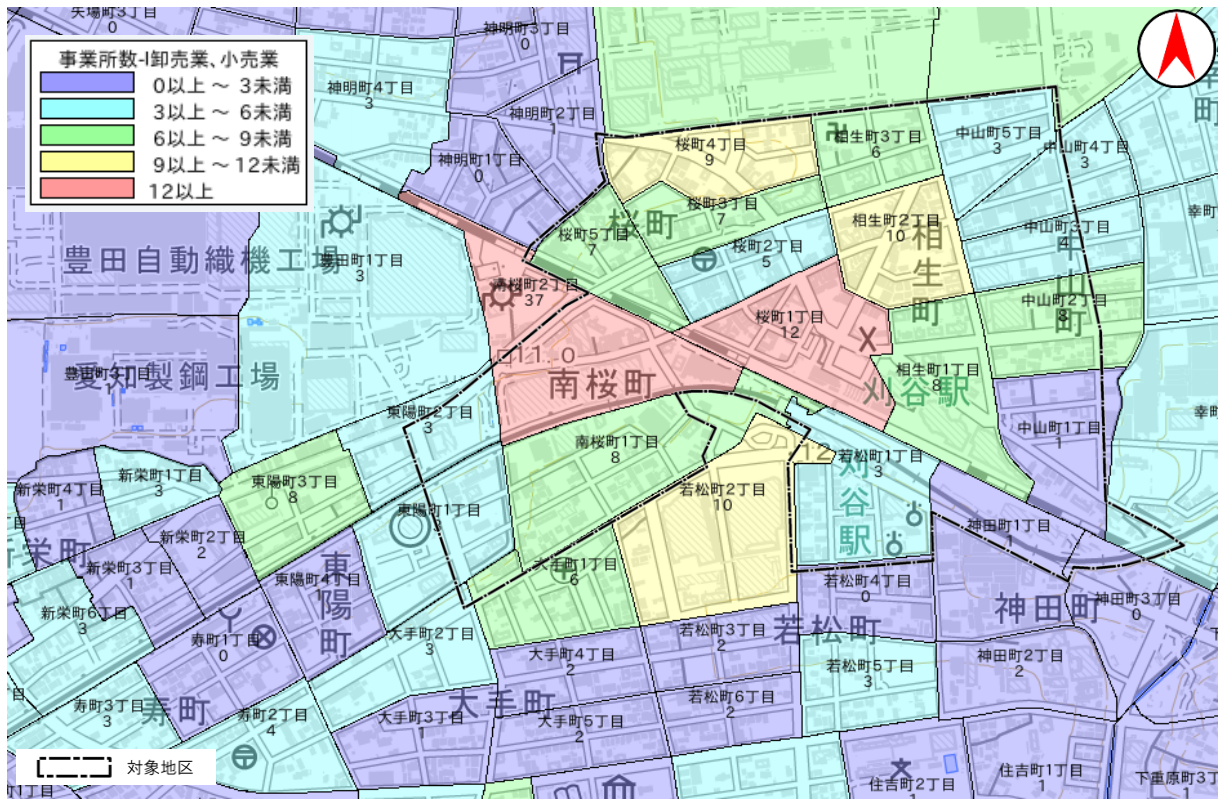
	卸売・小売業事業所数		卸売・小売業従業者数	
	2012年	2016年	2012年	2016年
東陽町1丁目	5	3	70	86
東陽町2丁目	2	3	6	18
南桜町1丁目	11	8	86	64
南桜町2丁目	40	37	615	447
桜町1丁目	15	12	86	74
桜町2丁目	6	5	20	13
桜町3丁目	5	7	10	13
桜町4丁目	10	9	86	83
桜町5丁目	7	7	25	28
若松町1丁目	4	3	21	17
神田町1丁目	1	1	8	2
中山町1丁目	1	1	11	13
中山町2丁目	7	8	38	42
中山町3丁目	4	4	284	396
中山町4丁目	4	3	19	49
中山町5丁目	3	3	97	41
相生町1丁目	6	8	83	175
相生町2丁目	12	10	60	64
相生町3丁目	9	6	100	70
合計	152	138	1,725	1,695

出典: 経済センサス活動調査 注) 集計対象は卸売・小売業の全事業所

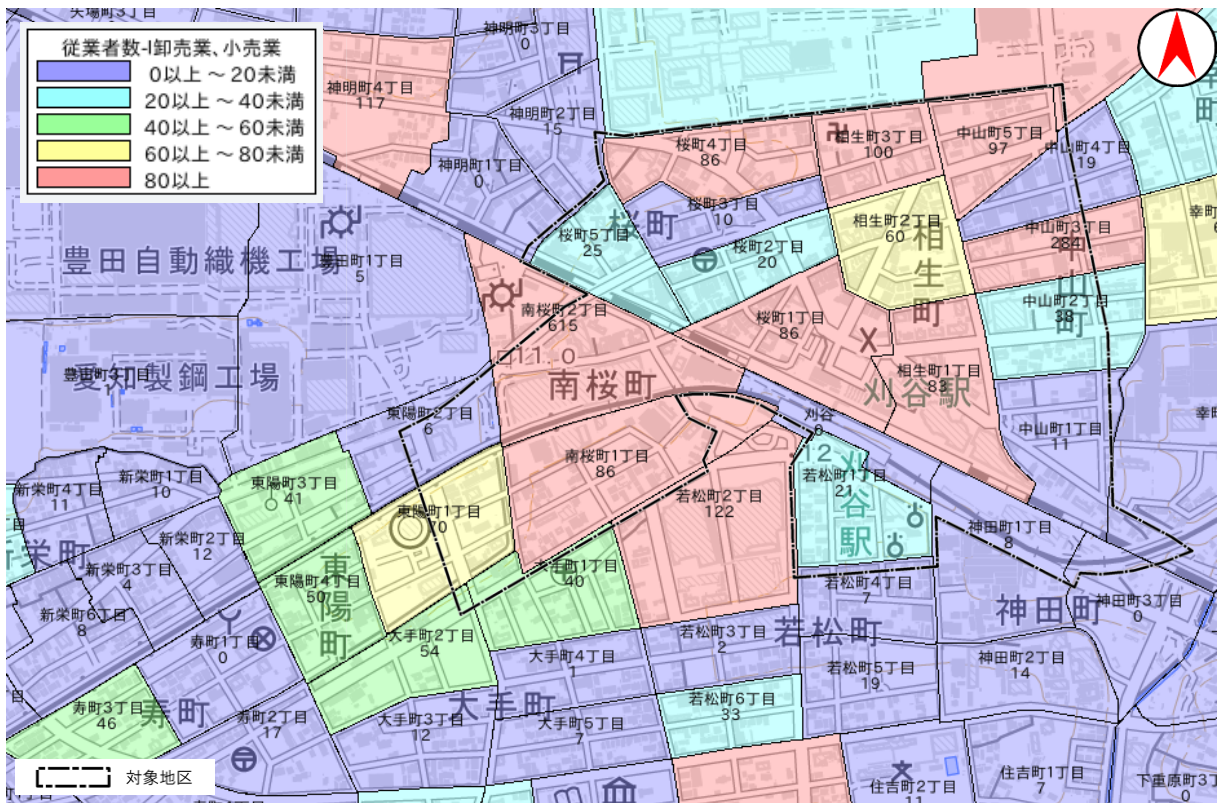
2012年小地域別卸売・小売業事業所数



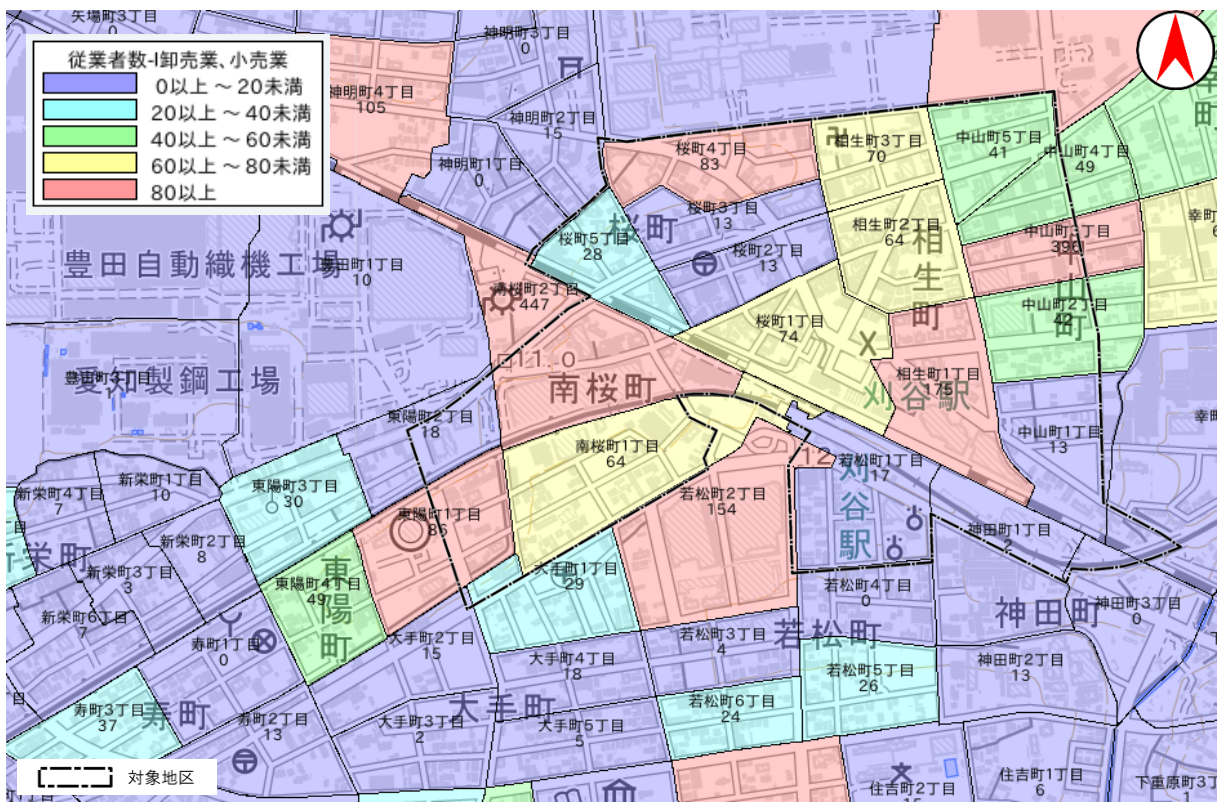
2016年小地域別卸売・小売業事業所数



2012 年小地域別卸売・小売業従業者数



2016 年小地域別卸売・小売業従業者数

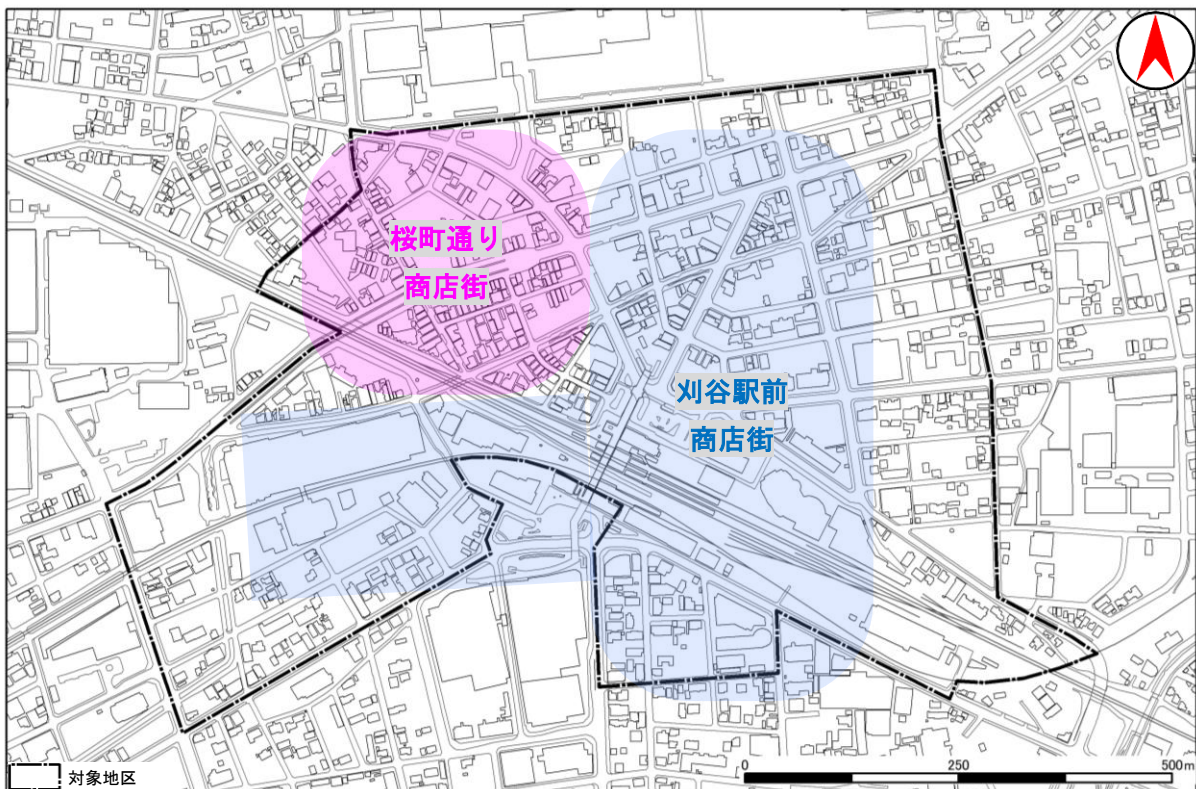


(4) 商店街の事業所数・年間商品販売額・売り場面積

対象地区内には、2か所の商店街（桜町通り商店街、刈谷駅前商店街）が立地しています。桜町通り商店街は事業所数、年間商品販売額、売り場面積ともに減少していますが、刈谷駅前商店街は増加しています。

	2007年			2014年		
	事業所数	年間商品販売額 (百万円)	売り場面積(m ²)	事業所数	年間商品販売額 (百万円)	売り場面積(m ²)
桜町通り商店街	34	2,058	1,990	15	558	894
刈谷駅前商店街	45	12,073	17,547	52	12,436	22,383

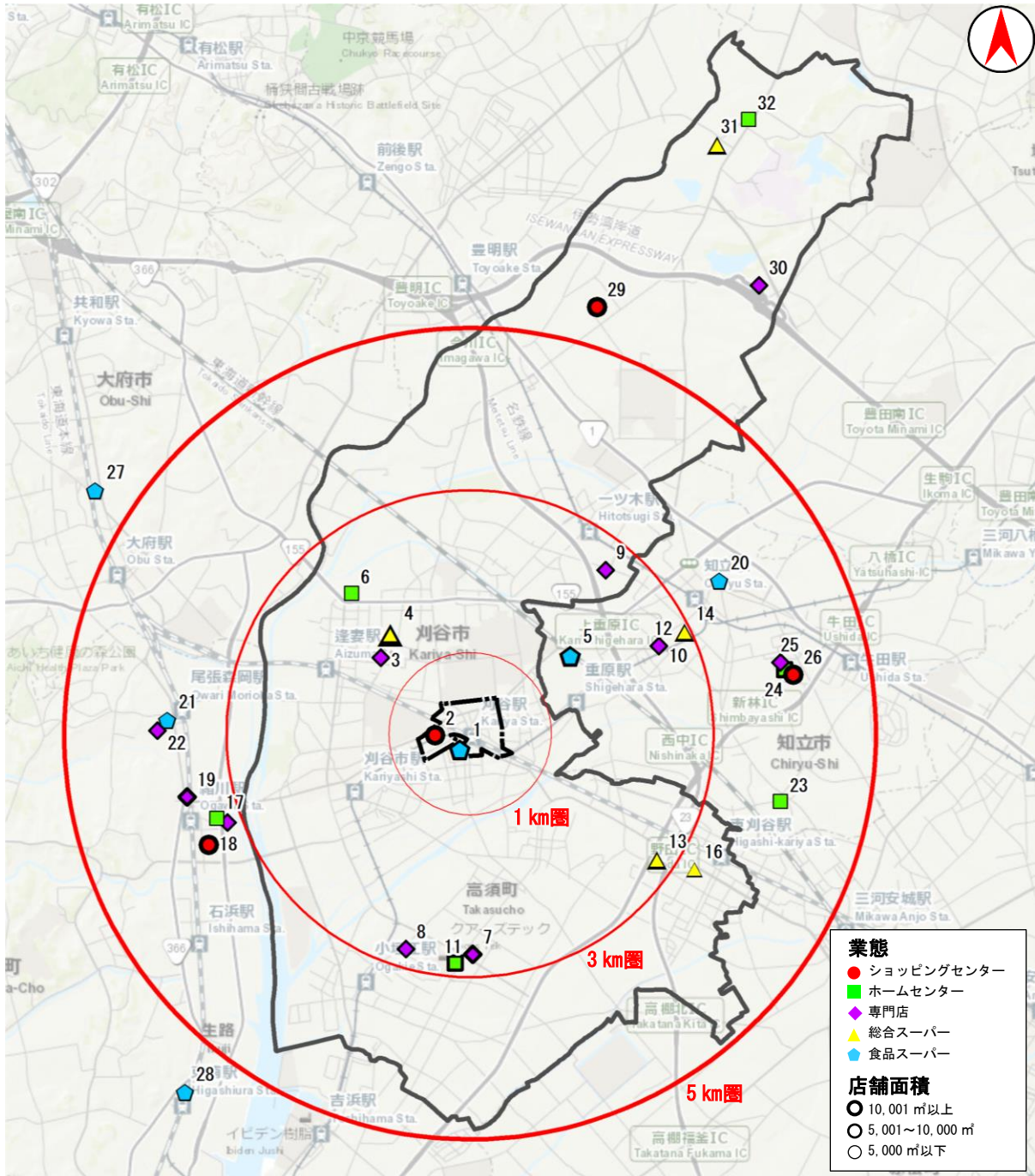
出典: 商業統計



(5) 大規模小売店舗

大規模小売店舗は、刈谷駅を中心とした5 km圏に32店舗が立地しています。特に、刈谷市東西に位置する知立市、東浦町の大規模小売店舗は商圏内に位置しており、日常的な利用が考えられます。

ショッピングセンター、総合スーパー等の多くは平成22(2010)年以前に開設しており、2010年代以降は、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターが開設しています。



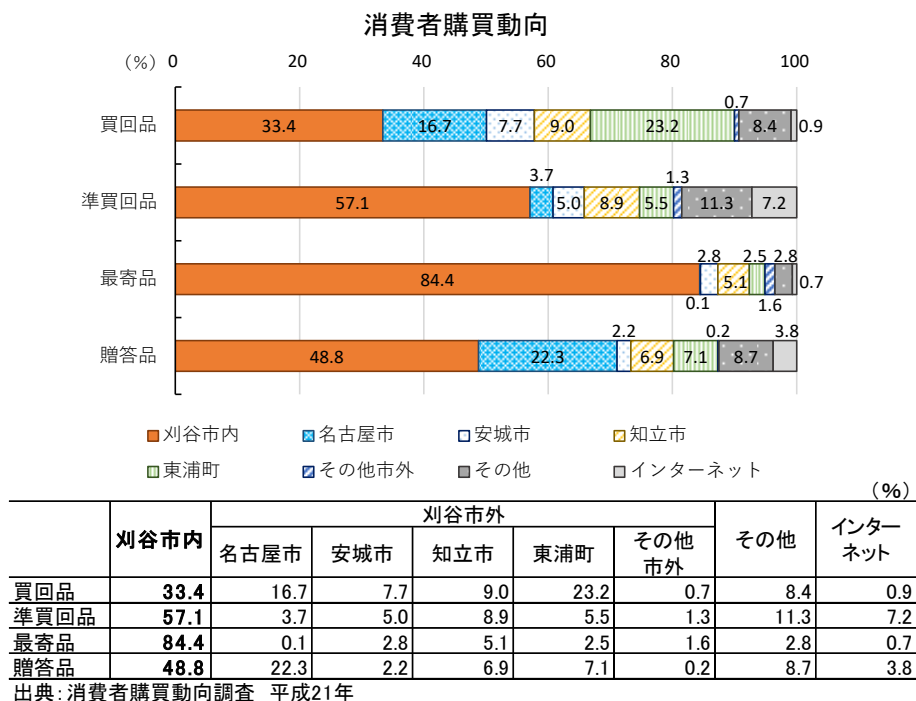
出典: ArcGIS World Topographic Map (背景地図)

店舗名		刈谷駅からの 直線距離 (km)	業態	店舗面積 (㎡)	駐車場 (台)	開設	
1	みなくる刈谷ショッピングセンター (スーパーマーケットパロー刈谷店)	刈谷市	0.2	食品スーパー	6,750	357	2008年
2	アピタ刈谷店	刈谷市	0.4	ショッピングセンター	19,765	949	1969年
3	ダイマルヤ刈谷店	刈谷市	1.5	専門店	1,139	48	1994年
4	エルシティ (イトーヨーカドー刈谷店)	刈谷市	1.6	総合スーパー	10,281	440	1979年
5	ドミー知立店	知立市	1.7	食品スーパー	6,267	450	1994年
6	DCMカーマ刈谷店	刈谷市	2.3	ホームセンター	3,230	500	1979年
7	タキソウパルクス刈谷店	刈谷市	2.7	専門店	6,175	-	1998年 2018年撤去
8	ゲンキー小垣江下広店	刈谷市	2.7	専門店	1,881	67	2013年
9	上新電機刈谷一ツ木店	刈谷市	2.7	専門店	2,409	90	1993年 2018年拡大
10	エディオン知立店	知立市	2.7	専門店	2,463	106	2016年
11	DCMカーマ刈谷小垣江店	刈谷市	2.7	ホームセンター	7,798	301	2014年
12	三洋堂書店知立店	知立市	2.7	専門店	1,503	-	1998年
13	サントピア(ピアゴ東刈谷店)	刈谷市	2.8	総合スーパー	5,700	391	1988年
14	ピアゴ知立店	知立市	3.0	総合スーパー	6,970	200	1974年
15	スポーツデポ東浦店	東浦町	3.2	専門店	4,843	292	2002年
16	東刈谷ショッピングセンター (ドン・キホーテ刈谷店)	刈谷市	3.2	総合スーパー	3,693	143	1991年
17	ホームセンターコーナン知多東浦店	東浦町	3.2	ホームセンター	3,981	201	2002年
18	イオンモール東浦	東浦町	3.5	ショッピングセンター	46,644	3,384	2001年
19	エディオン東浦店	東浦町	3.5	専門店	5,836	452	2003年
20	ミマツ食品館	知立市	3.6	食品スーパー	1,655	65	1999年
21	ドミー東浦店	東浦町	3.7	食品スーパー	2,108	80	1974年
22	ゲンキー東浦店	東浦町	3.7	専門店	2,941	111	2002年
23	DCMカーマ知立店	知立市	3.9	ホームセンター	2,000	200	1987年
24	ホームセンターコーナン知立店	知立市	4.0	ホームセンター	8,320	575	2011年
25	ヤマダ電機テックランド知立店	知立市	4.0	専門店	4,109	203	2014年
26	ギャラリアアピタ知立店	知立市	4.2	ショッピングセンター	29,527	1,951	1994年
27	ドミー大府店	大府市	5.4	食品スーパー	1,707	122	2004年
28	コノミヤ東浦店	東浦町	5.6	食品スーパー	1,662	104	1994年
29	イオンタウン刈谷 (ザ・ビッグエクストラ刈谷店)	刈谷市	5.9	ショッピングセンター	19,571	1,330	1999年
30	刈谷ハイウェイオアシス 中央棟・地域物産棟	刈谷市	6.8	専門店	1,862	874	2004年
31	井ヶ谷ショッピングセンター (ピアゴ井ヶ谷店)	刈谷市	8.0	総合スーパー	5,752	512	1992年
32	ホームセンターコーナン刈谷井ヶ谷店	刈谷市	8.4	ホームセンター	3,597	144	1992年

出典：全国大型小売店総覧 2019 ※2010年以降に開設された店舗を着色

(6) 消費者購買動向

消費者購買動向について、最寄品については本市内での購買率が高く、自己完結性が高いといえます。一方で買回品については、本市内での購買率が商品目の中で最も低く、自己完結性が低いといえます。近年、全国的にインターネットショッピングの利用率が伸びており、本市でもインターネットによる購買率が増加しているものと思われます。



【参考】品目例

買回品	紳士服、婦人服、スポーツレジャー用品、電気製品
準買回品	下着、園芸用品、化粧品
最寄品	台所用品、日常食料品
贈答品	贈答品

【参考】ネットショッピングの利用世帯割合と1世帯当たりの支出総額の推移(全国)

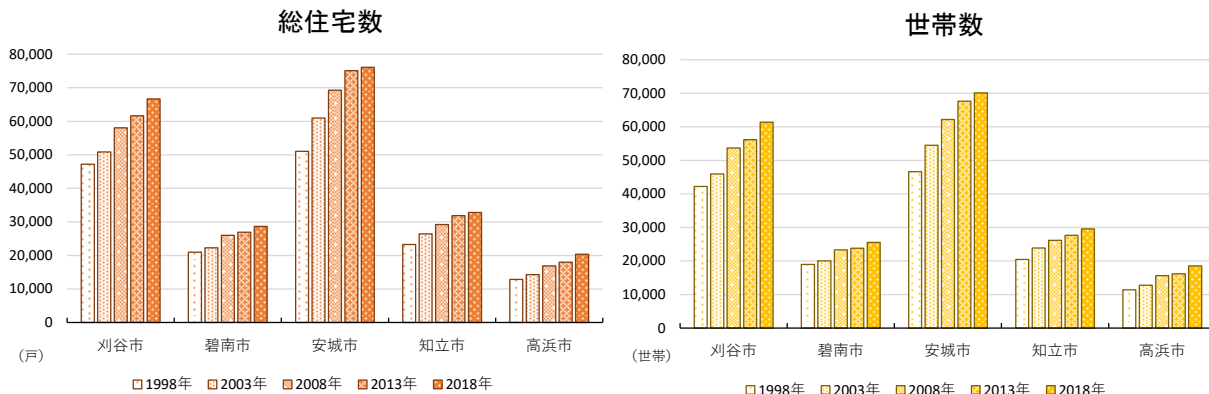


出典：総務省「平成29年版 情報通信白書」より抜粋

2-3. 市街地整備

(1) 住宅総数・世帯数

本市の住宅総数、世帯数ともに増加傾向にあります。周辺市も同様に増加傾向にあり、居住ニーズが高い地域といえます。



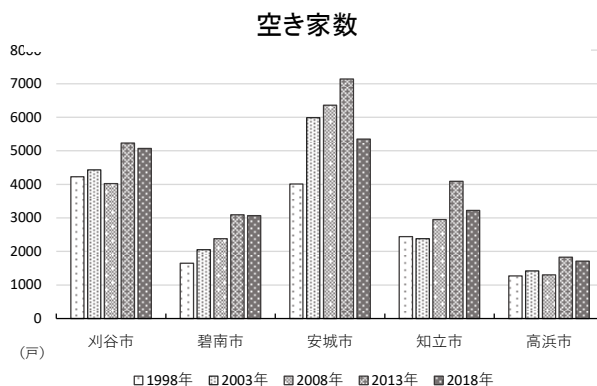
	総住宅数(戸)					増減率			
	1998年	2003年	2008年	2013年	2018年	1998～2003年	2003～2008年	2008～2013年	2013～2018年
刈谷市	47,170	50,830	58,050	61,660	66,660	7.8%	14.2%	6.2%	8.1%
碧南市	20,960	22,250	26,010	26,950	28,680	6.2%	16.9%	3.6%	6.4%
安城市	51,050	60,970	69,300	75,100	76,070	19.4%	13.7%	8.4%	1.3%
知立市	23,240	26,430	29,210	31,890	32,840	13.7%	10.5%	9.2%	3.0%
高浜市	12,860	14,260	16,900	18,030	20,350	10.9%	18.5%	6.7%	12.9%

	普通世帯数(世帯)					増減率			
	1998年	2003年	2008年	2013年	2018年	1998～2003年	2003～2008年	2008～2013年	2013～2018年
刈谷市	42,250	45,920	53,680	56,180	61,400	8.7%	16.9%	4.7%	9.3%
碧南市	18,980	20,050	23,330	23,820	25,530	5.6%	16.4%	2.1%	7.2%
安城市	46,610	54,510	62,190	67,670	70,130	16.9%	14.1%	8.8%	3.6%
知立市	20,490	23,890	26,140	27,650	29,560	16.6%	9.4%	5.8%	6.9%
高浜市	11,400	12,760	15,600	16,180	18,540	11.9%	22.3%	3.7%	14.6%

出典: あいちの住宅・土地

(2) 空き家数・空き家率

空き家数、空き家率は平成 10 (1998) 年から平成 15 (2003) 年にかけて微増し、平成 15 (2003) 年から平成 20 (2008) 年にかけて一旦減少しました。その後平成 20 (2008) 年から平成 25 (2013) 年にかけて大幅に増加し、平成 25 (2013) 年からは減少しています。

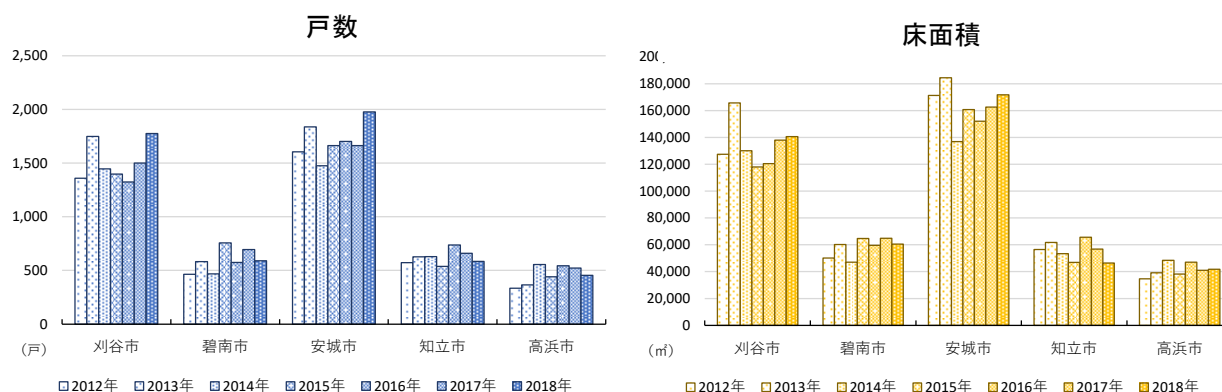


	空き家数・空き家率									
	1998年	2003年	2008年	2013年	2018年	1998年	2003年	2008年	2013年	2018年
刈谷市	4,230	4,430	4,020	5,230	5,070	9.0%	8.7%	6.9%	8.5%	7.6%
碧南市	1,650	2,050	2,380	3,090	3,070	7.9%	9.2%	9.2%	11.5%	10.7%
安城市	4,010	5,990	6,360	7,140	5,350	7.9%	9.8%	9.2%	9.5%	7.0%
知立市	2,440	2,380	2,950	4,090	3,220	10.5%	9.0%	10.1%	12.8%	9.8%
高浜市	1,270	1,420	1,300	1,830	1,710	9.9%	10.0%	7.7%	10.1%	8.4%

出典: あいちの住宅・土地

(3) 住宅着工（戸数・床面積）

本市の住宅着工の戸数・床面積は、平成 25（2013）年から平成 28（2016）年にかけて減少しましたが、平成 28（2016）年以降は増加傾向にあります。

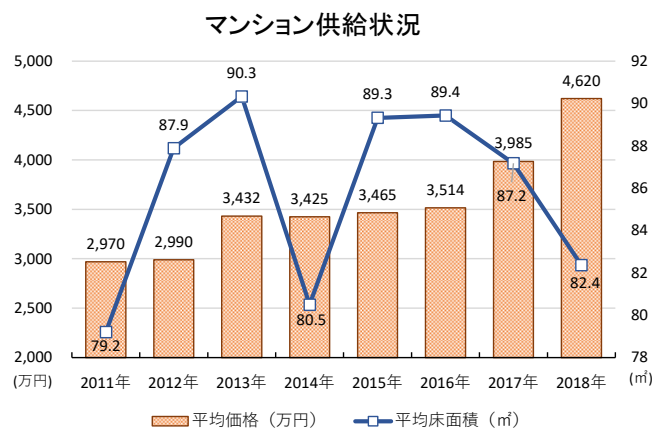


		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
戸数	刈谷市	1,359	1,749	1,447	1,397	1,325	1,501	1,775
	碧南市	464	582	468	756	575	695	591
	安城市	1,605	1,837	1,475	1,664	1,702	1,663	1,977
	知立市	572	626	628	537	738	659	584
	高浜市	335	365	556	440	543	522	455
床面積	刈谷市	127,465	165,720	130,090	118,008	120,554	137,984	140,740
	碧南市	50,144	60,211	47,121	64,750	59,659	64,870	60,467
	安城市	171,331	184,587	136,894	160,860	152,118	162,654	171,757
	知立市	56,517	61,796	53,390	46,959	65,624	56,780	46,363
	高浜市	34,645	39,093	48,382	38,266	47,024	40,953	41,791

出典: 住宅着工統計

(4) 分譲マンション供給状況

本市における分譲マンションの供給状況については、総供給戸数は平成 24（2012）年から平成 29（2017）年は 90～130 戸程度あり、平成 30（2018）年は 30 戸と減少しました。平均価格は平成 23（2011）年から上昇している一方で、平均床面積は平成 27（2015）年から減少傾向にあります。



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
総供給戸数(戸)	9	123	130	106	87	88	98	30
平均価格(万円)	2,970.0	2,990.0	3,431.9	3,425.3	3,465.4	3,514.3	3,984.8	4,620.4
平均床面積(m ²)	79.2	87.9	90.3	80.5	89.3	89.4	87.2	82.4

出典: マンション通信 ※販売時点の年次で集計

2-4. 土地利用

対象地区内の用途地域は、主に商業地域（容積率 400%、建ぺい率 80%）が多くを占め、次いで近隣商業地域があり、準工業地域も対象地区内の東側に設定されています。

土地利用現況では、商業用地と住宅用地が主な用途で、この2つが混在しています。低未利用地も点在し、多くが青空駐車場となっています。

建物利用現況においても商業施設、業務施設、店舗併用住宅、住宅が多く、混在しています。東側（中山町）は、工業施設も立地する住工混在となっています。

建物構造は、非木造建築が多いですが、木造建築も一定数見られ、特に商店街のある桜町に多くみられます。

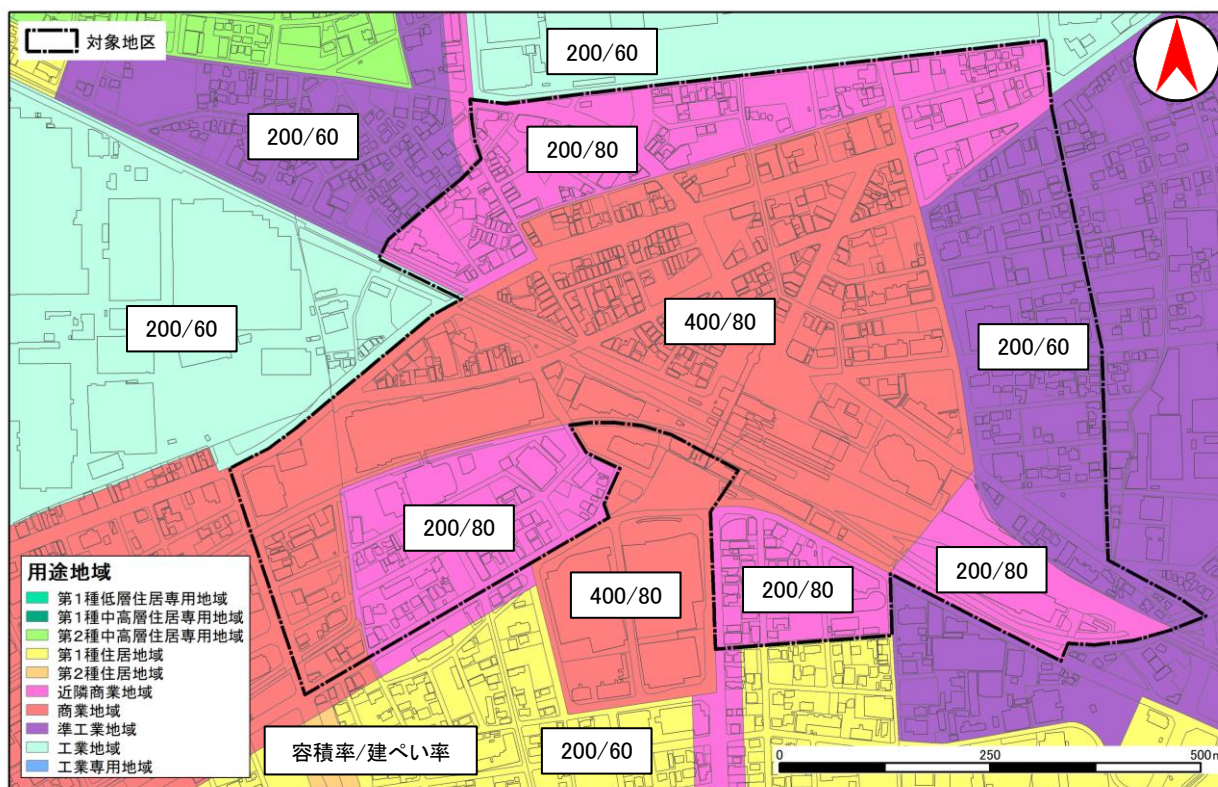
建物階数は、対象地区内では 14～16 階建が最も高くなっています。1 階建は比較的少なく、2 階建、3～5 階建が多い傾向にあります。住宅の多い中山町や商店街のある桜町で 1～2 階建の低層の建物が多くなっています。

新築状況は、刈谷駅前線沿いに商業系用途が多く、中山町で住宅系用途が多くなっています。

利用容積率は、大規模開発がされている街区では高く、指定容積率近くになっているところもありますが、低未利用地や低層建物が多いい街区では 400% 指定に対して、利用容積率が 50% を下回っている街区もあるなど、総じて充足率が低い街区が多くなっています。

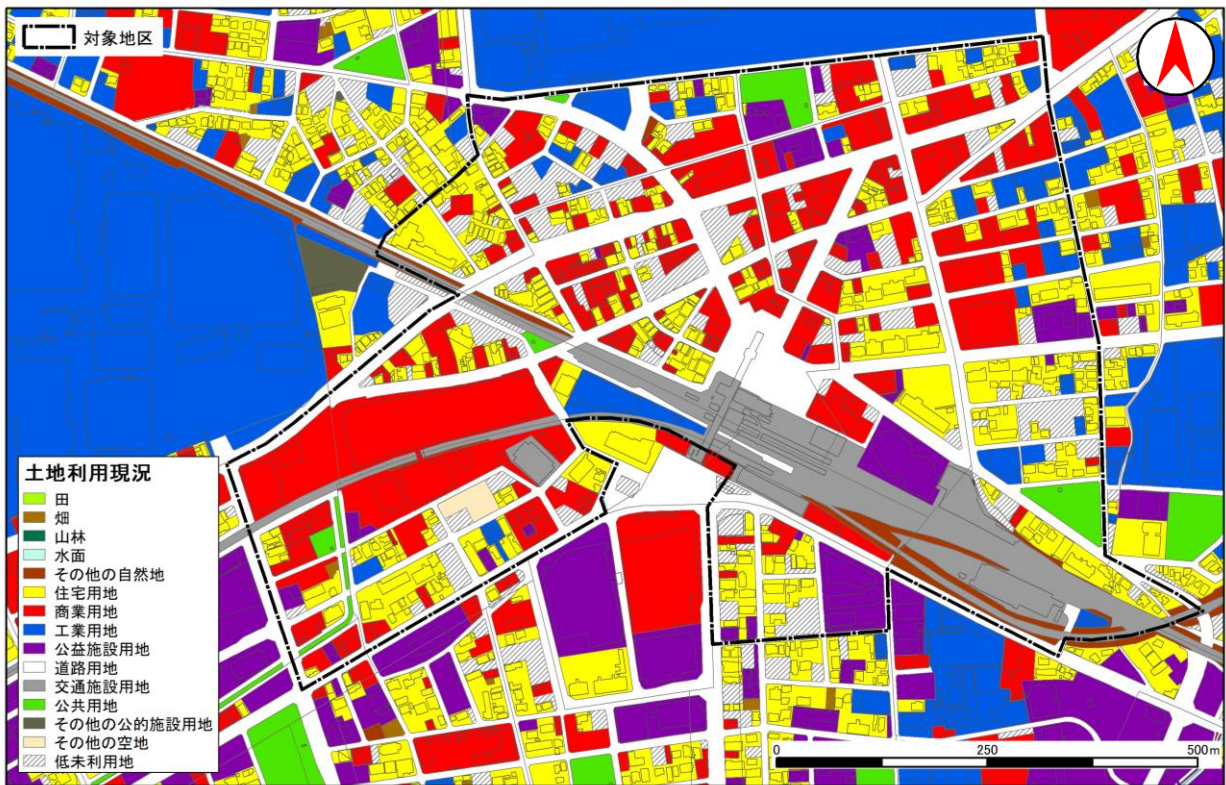
建築年は、全体的には昭和 57（1982）年以降の建物が多くなっています。一方で、商店街のある桜町では昭和 56（1981）年以前の古い建物が集積しています。

（1）用途地域（平成 29（2017）年度）



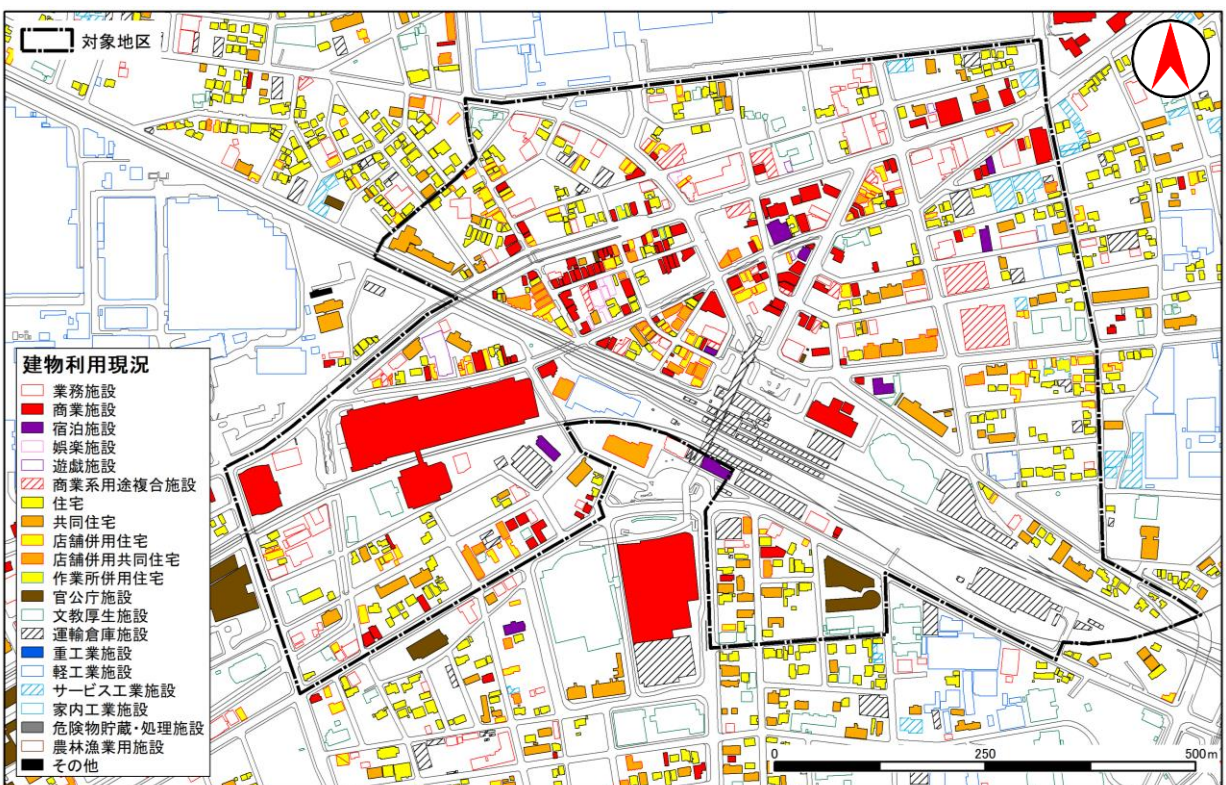
出典：都市計画基礎調査

(2) 土地利用現況 (平成 29 (2017) 年度)



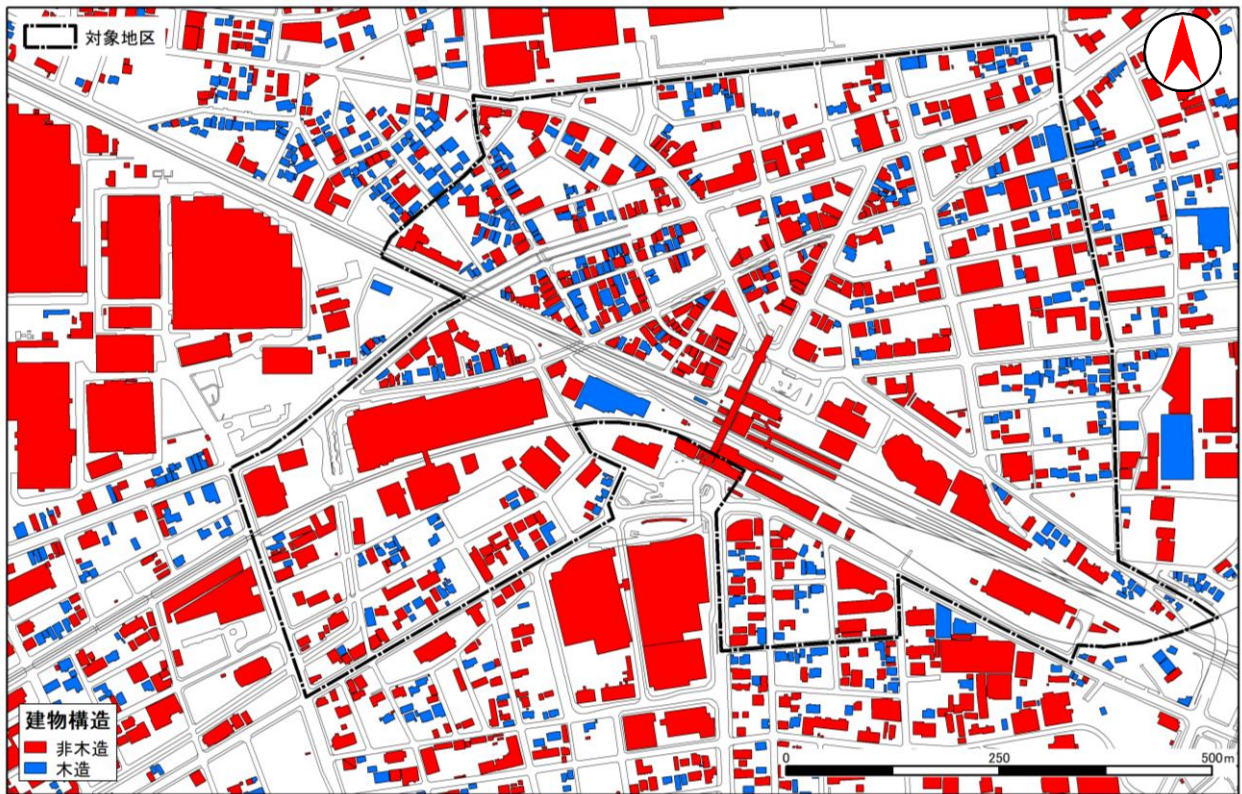
出典:都市計画基礎調査

(3) 建物利用現況 (平成 30 (2018) 年度)



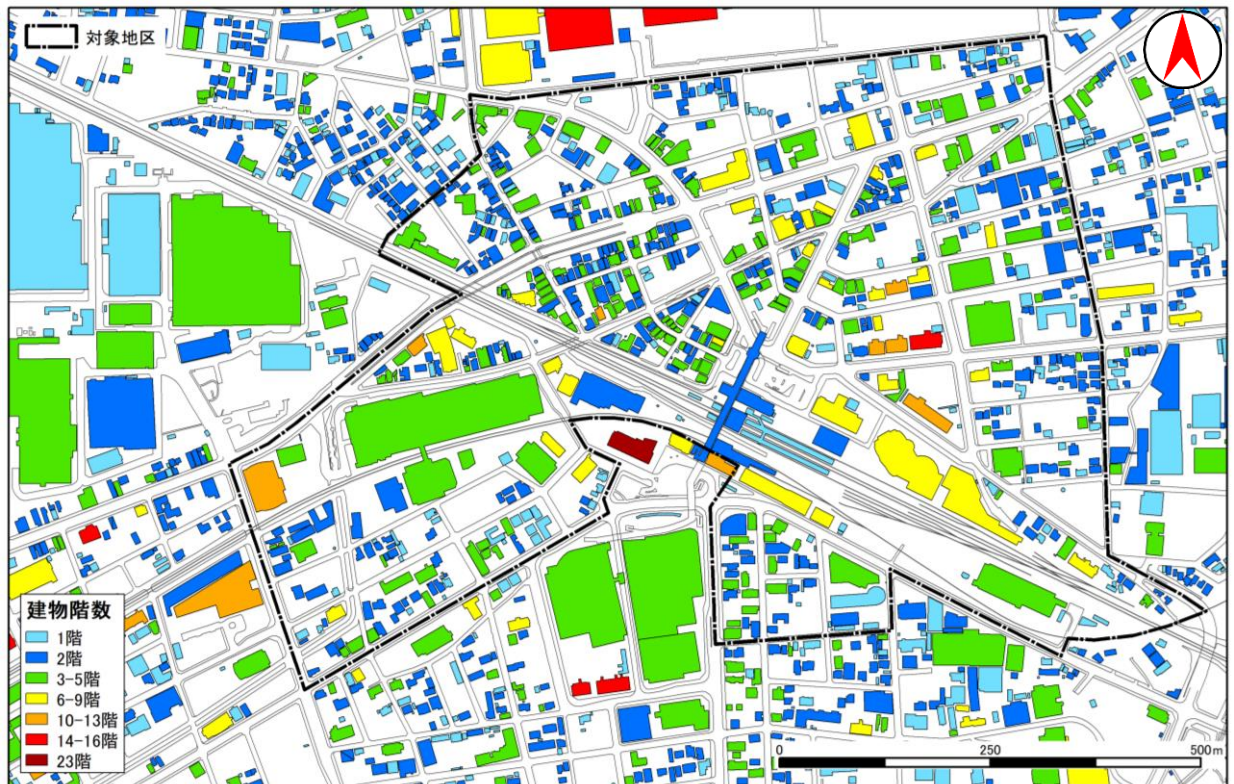
出典:都市計画基礎調査

(4) 建物構造 (平成 30 (2018) 年度)



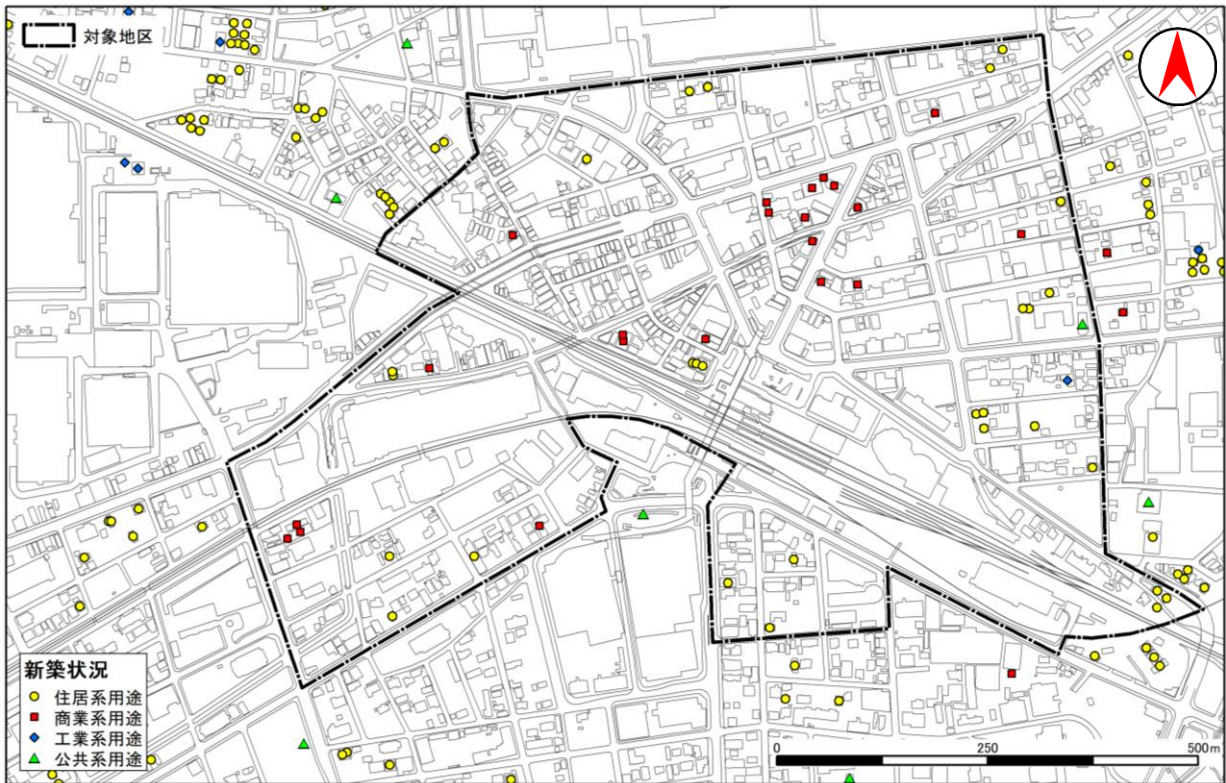
出典: 都市計画基礎調査

(5) 建物階数 (平成 30 (2018) 年度)



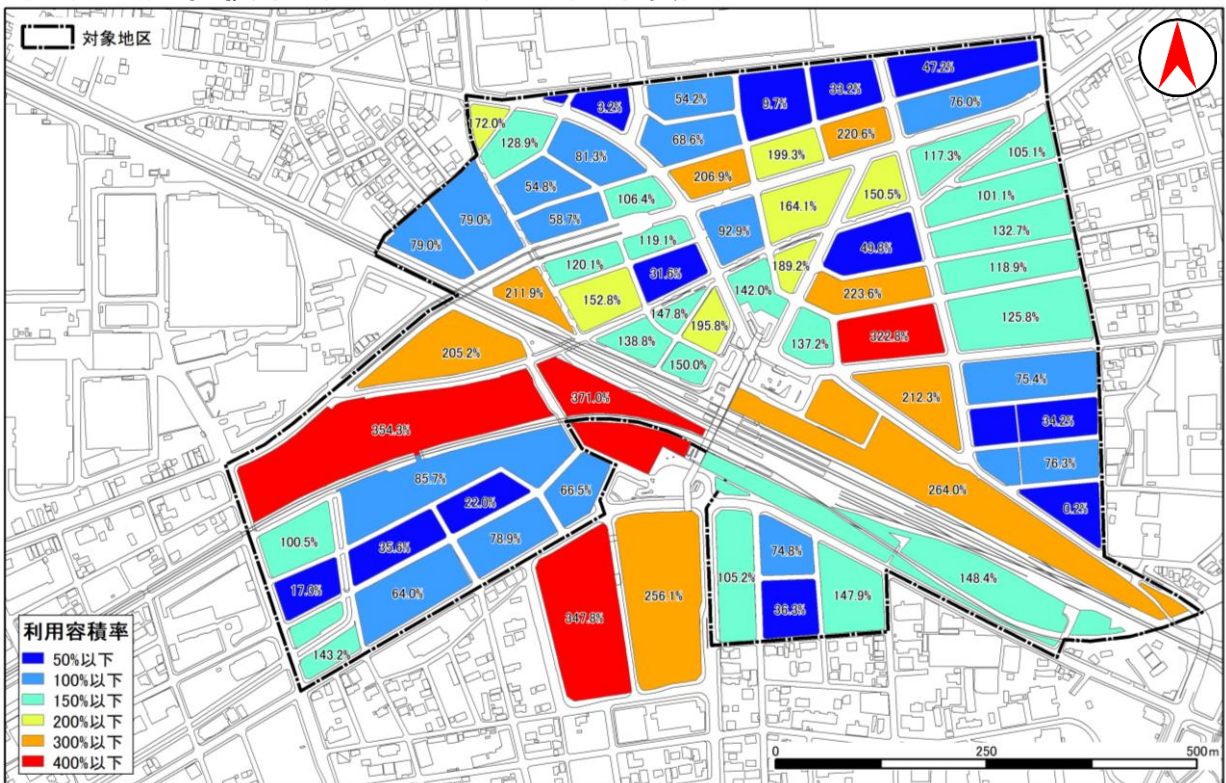
出典: 都市計画基礎調査

(6) 新築状況 (平成 30 (2018) 年度)



出典: 都市計画基礎調査

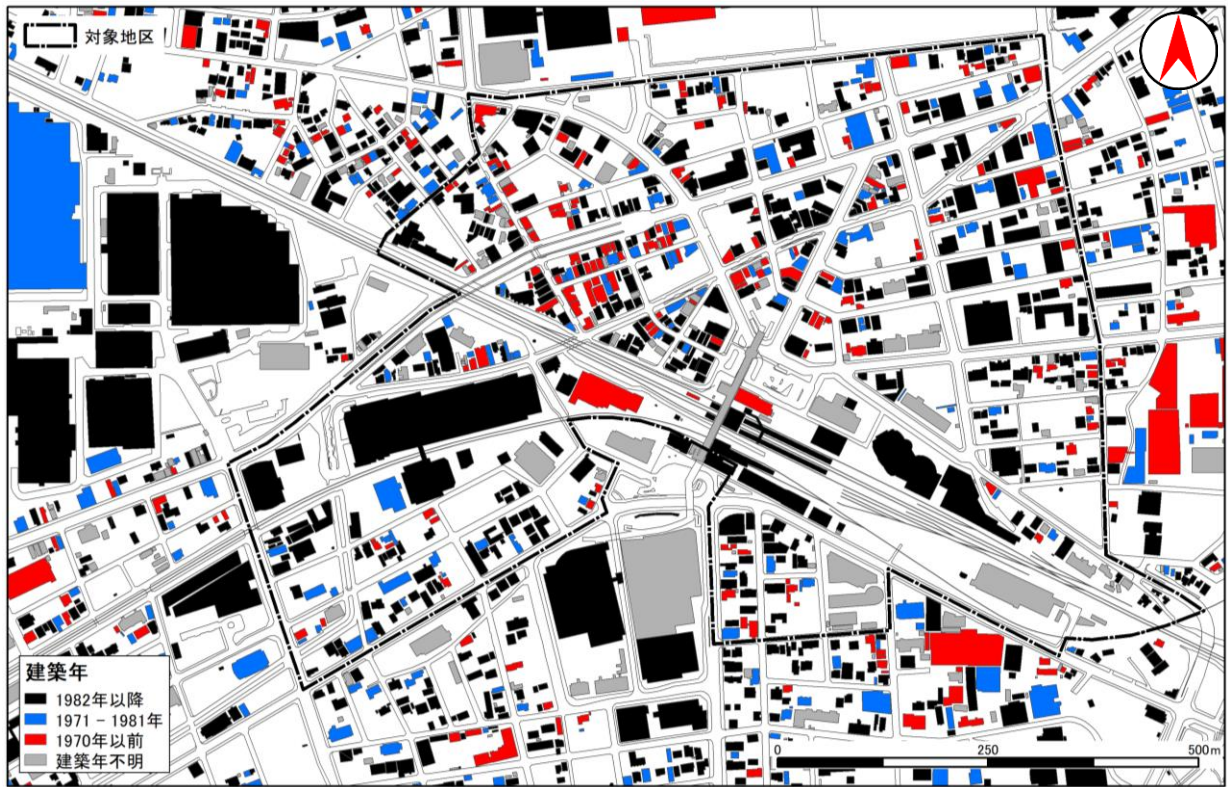
(7) 利用容積率 (平成 30 (2018) 年度)



出典: 都市計画基礎調査をもとに算出

【算出方法】利用容積率＝街区内の建物延床面積の合計／街区面積、建物延床面積＝建築面積×階数

(8) 建築年 (平成 30 (2018) 年度)

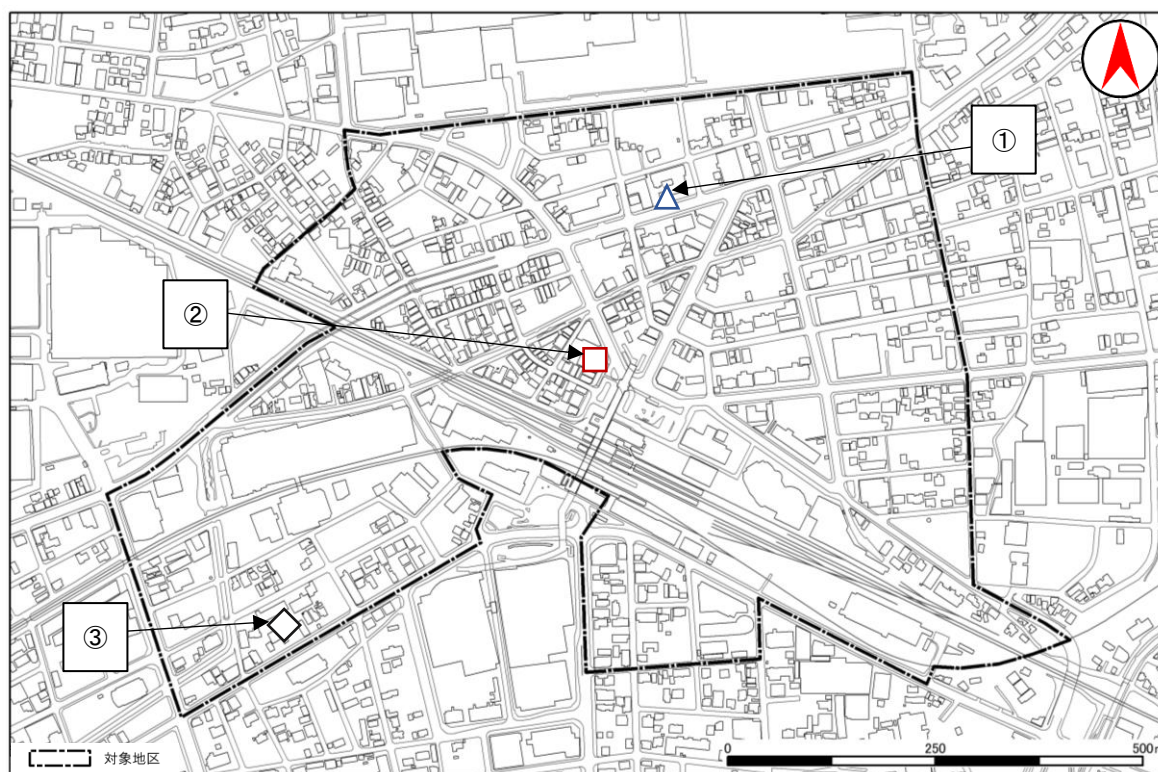


出典: 都市計画基礎調査

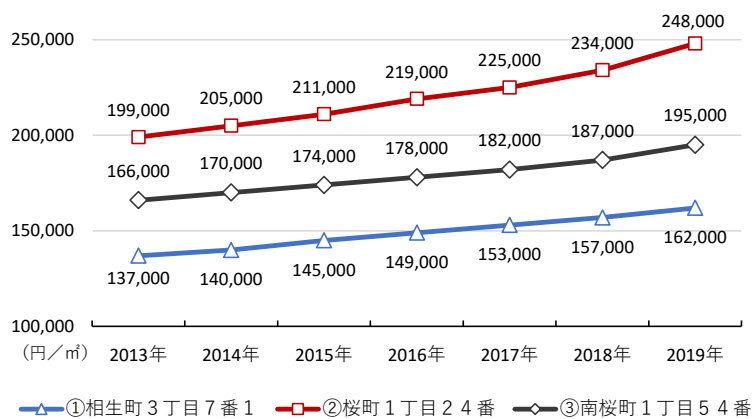
2-5. 地価

(1) 公示地価

刈谷駅周辺の公示地価は、全地点とも上昇傾向にあります。特に、刈谷駅から最も近い、桜町1丁目は価格、増加率ともに高くなっています。



公示地価の推移



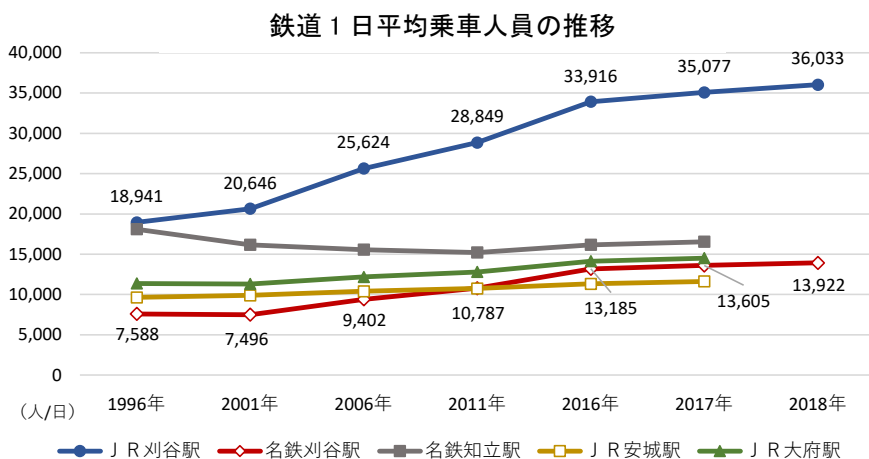
	(円/㎡)							
公示地価	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
①相生町3丁目7番1	137,000	140,000	145,000	149,000	153,000	157,000	162,000	
②桜町1丁目24番	199,000	205,000	211,000	219,000	225,000	234,000	248,000	
③南桜町1丁目54番	166,000	170,000	174,000	178,000	182,000	187,000	195,000	
増加率	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
①相生町3丁目7番1	-	2.2%	3.6%	2.8%	2.7%	2.6%	3.2%	
②桜町1丁目24番	-	3.0%	2.9%	3.8%	2.7%	4.0%	6.0%	
③南桜町1丁目54番	-	2.4%	2.4%	2.3%	2.2%	2.7%	4.3%	

出典：公示地価

2-6. 交通

(1) 鉄道乗車人員

平成 29 (2017) 年における JR 刈谷駅と名鉄刈谷駅を合わせた 1 日平均乗車人員は、約 4.9 万人であり、近隣駅に比べて多くなっています。JR 刈谷駅、名鉄刈谷駅ともに乗車人員は増加傾向にありますが、JR 刈谷駅は大幅に増加しています。

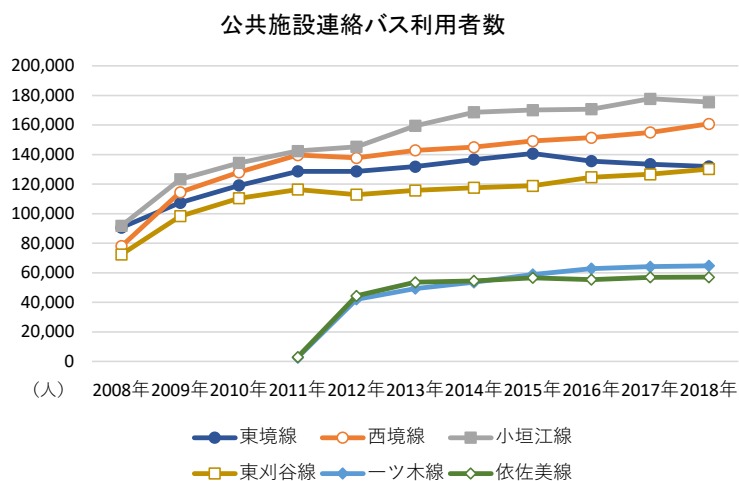


	(人/日)						
	1996年	2001年	2006年	2011年	2016年	2017年	2018年
JR 刈谷駅	18,941	20,646	25,624	28,849	33,916	35,077	36,033
名鉄刈谷駅	7,588	7,496	9,402	10,787	13,185	13,605	13,922
名鉄知立駅	18,106	16,173	15,555	15,212	16,160	16,544	-
JR 安城駅	9,641	9,889	10,400	10,760	11,326	11,619	-
JR 大府駅	11,364	11,314	12,182	12,808	14,129	14,521	-

出典: 愛知県統計年鑑、刈谷の統計

(2) 公共施設連絡バス利用者数

公共施設連絡バス利用者数は、全路線で増加傾向にあります。

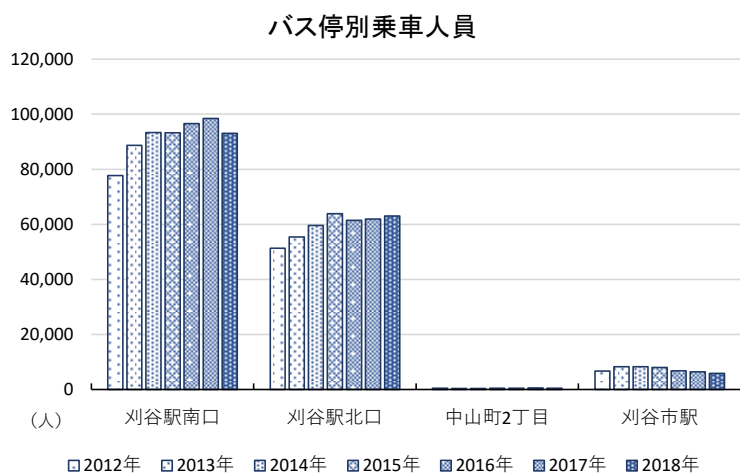


	(人/年)										
	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
総数	333,029	443,615	491,934	532,787	611,099	652,833	675,988	694,319	700,656	713,962	720,149
東境線	90,630	107,469	119,076	128,673	128,631	131,850	136,616	140,650	135,602	133,509	131,955
西境線	78,070	114,532	128,013	139,605	137,749	142,800	144,995	149,150	151,402	154,944	160,726
小垣江線	91,847	123,231	134,380	142,422	145,285	159,480	168,607	170,129	170,728	177,688	175,498
東刈谷線	72,482	98,383	110,465	116,367	112,913	115,748	117,595	118,871	124,650	126,641	130,179
一ツ木線	-	-	-	2,684	42,111	49,349	53,596	58,858	62,819	64,184	64,772
依佐美線	-	-	-	3,036	44,410	53,606	54,579	56,661	55,455	56,996	57,019

出典: 刈谷の統計

(3) 公共施設連絡バス停留所別乗車人員

公共施設連絡バス停留所別乗車人員は、刈谷駅南口、刈谷駅北口の利用が多く増加傾向にあります。

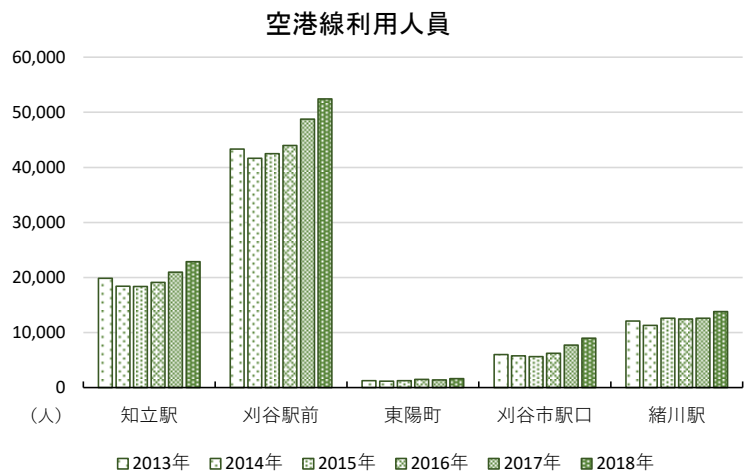


	(人/年)						
	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
刈谷駅南口	77,766	88,716	93,335	93,282	96,581	98,468	93,113
刈谷駅北口	51,296	55,453	59,560	63,909	61,456	61,931	63,072
中山町2丁目	464	369	366	454	429	511	456
刈谷市駅	6,640	8,240	8,255	8,025	6,752	6,380	5,824

出典: 刈谷市

(4) 空港バス（刈谷・中部空港線）利用人員

空港バス（刈谷・中部空港線）利用人員は、増加傾向にあります。

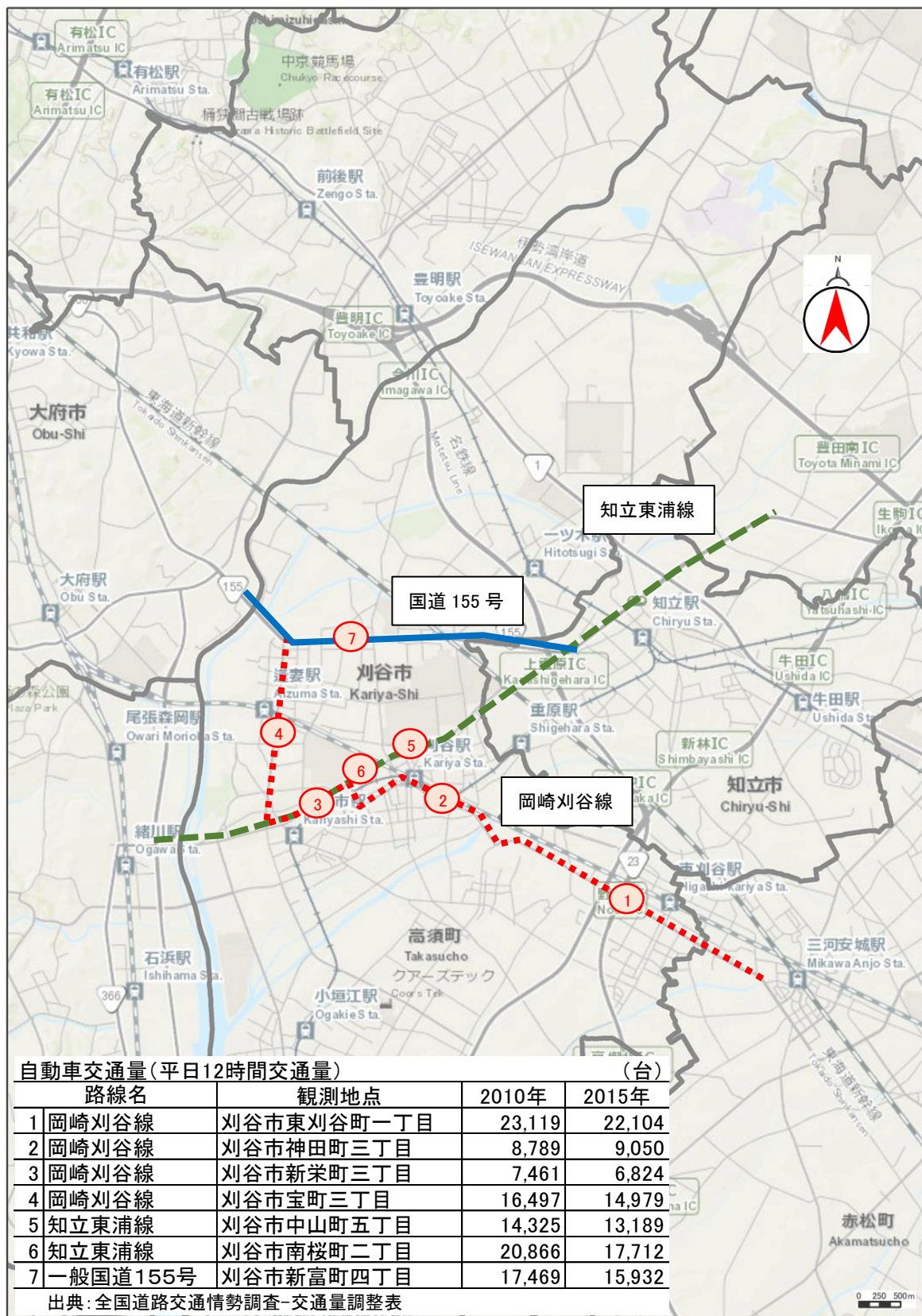


	(人/年)					
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
知立駅	19,827	18,389	18,363	19,107	20,952	22,872
刈谷駅前	43,327	41,635	42,467	43,996	48,760	52,426
東陽町	1,265	1,163	1,232	1,462	1,396	1,626
刈谷市駅口	5,997	5,756	5,627	6,214	7,729	8,967
緒川駅	12,079	11,303	12,605	12,446	12,614	13,812

出典: 知多乗合株式会社

(5) 自動車交通量

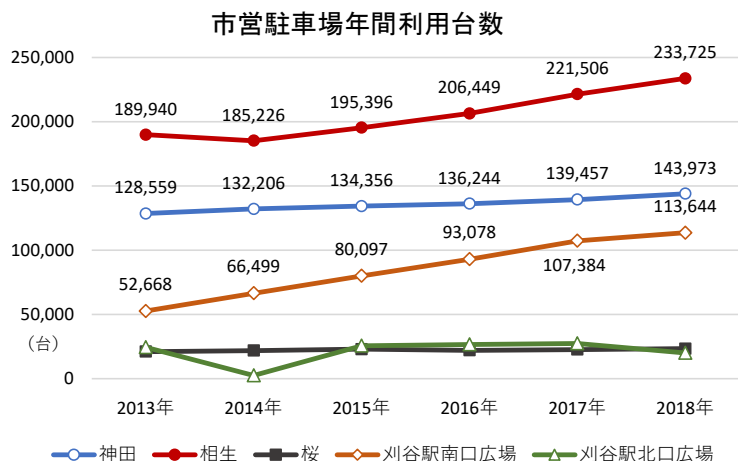
他市と接続される幹線道路における自動車交通量は、平成 22 (2010) 年から平成 27 (2015) 年にかけて全体的に減少傾向にあります。一方で岡崎刈谷線の JR 刈谷駅南口近辺の神田町三丁目では微増していますが、新設した道路（市道 2-581 号線、H23.2 供用開始）の利用者によるものであると考えられます。



(6) 市営駐車場年間利用・駐輪場1日あたり平均利用状況

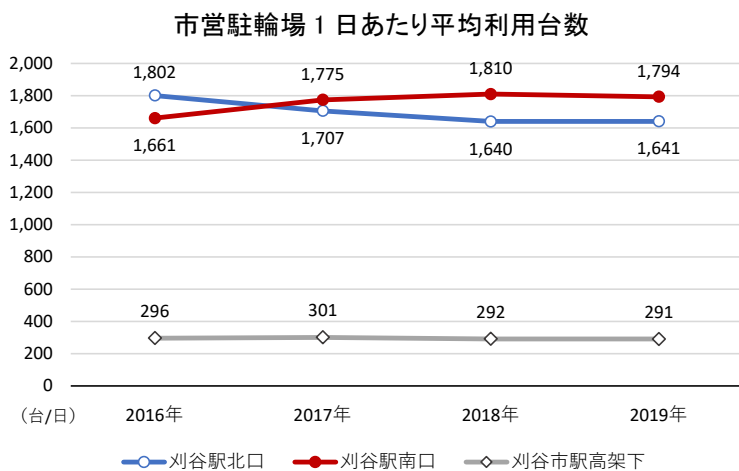
市営駐車場は、相生、神田、刈谷駅南口広場の利用が増加傾向にあります。市営駐車場の利用はいずれも収容台数以内に収まっています。

市営駐輪場は、平成28(2016)年から収容台数を超える利用があったのは、刈谷駅北口です。刈谷駅南口については、令和元(2019)年を平成28(2016)年と比較すると利用状況は増えていますが、収容台数以内に収まっています。



駐車場名	収容台数	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
神田	480	128,559	132,206	134,356	136,244	139,457	143,973
相生	507	189,940	185,226	195,396	206,449	221,506	233,725
桜	33	21,147	21,879	23,003	22,130	22,674	23,387
刈谷駅南口広場	16	52,668	66,499	80,097	93,078	107,384	113,644
刈谷駅北口広場	3	24,517	2,584	25,732	26,743	27,519	20,098

出典: 刈谷市



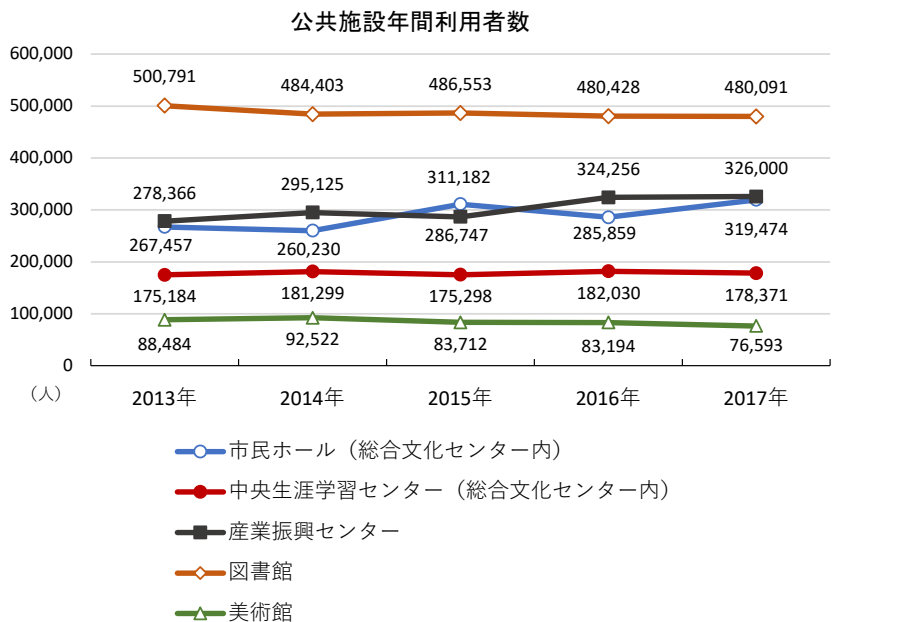
駐輪場名	収容台数	2016年	2017年	2018年	2019年
刈谷駅北口	1,542	1,802	1,707	1,640	1,641
刈谷駅南口	2,062	1,661	1,775	1,810	1,794
刈谷市駅高架下	352	296	301	292	291

出典: 刈谷市

2-7. 公共施設

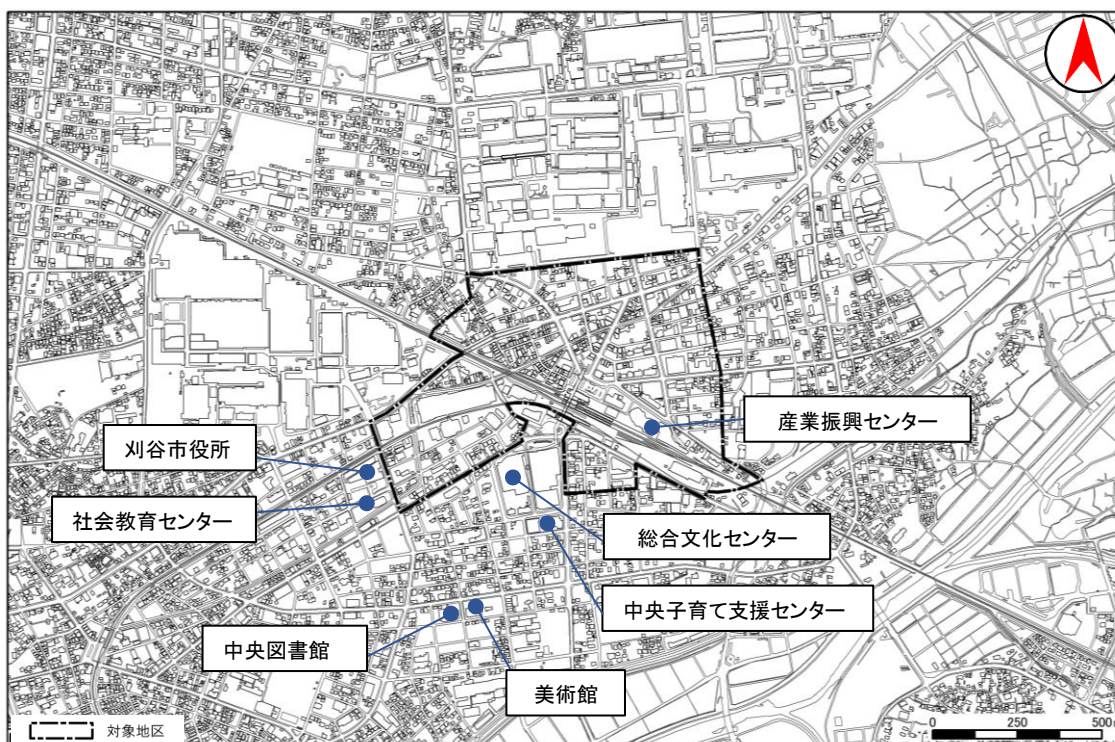
(1) 公共施設年間利用者数

公共施設の立地状況は、総合文化センターや図書館など文化施設が駅南側に集積しています。公共施設年間利用者数は、市民ホール、産業振興センターが微増傾向、その他は横ばいとなっています。



施設名	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
市民ホール(総合文化センター内)	267,457	260,230	311,182	285,859	319,474
中央生涯学習センター(総合文化センター内)	175,184	181,299	175,298	182,030	178,371
産業振興センター	278,366	295,125	286,747	324,256	326,000
図書館	500,791	484,403	486,553	480,428	480,091
美術館	88,484	92,522	83,712	83,194	76,593

出典: 刈谷の統計



3. まちづくり意向調査

3-1. 調査概要

刈谷駅周辺の利用状況やまちの評価、今後のまちづくりに対する意向、所有土地・建物の活用意向を把握するために、駅利用者や対象地区の土地・建物所有者（以下「所有者」という。）、居住者に対してアンケート調査を以下の要領で実施しました。

<実施時期>

令和2（2020）年1月中旬～2月上旬

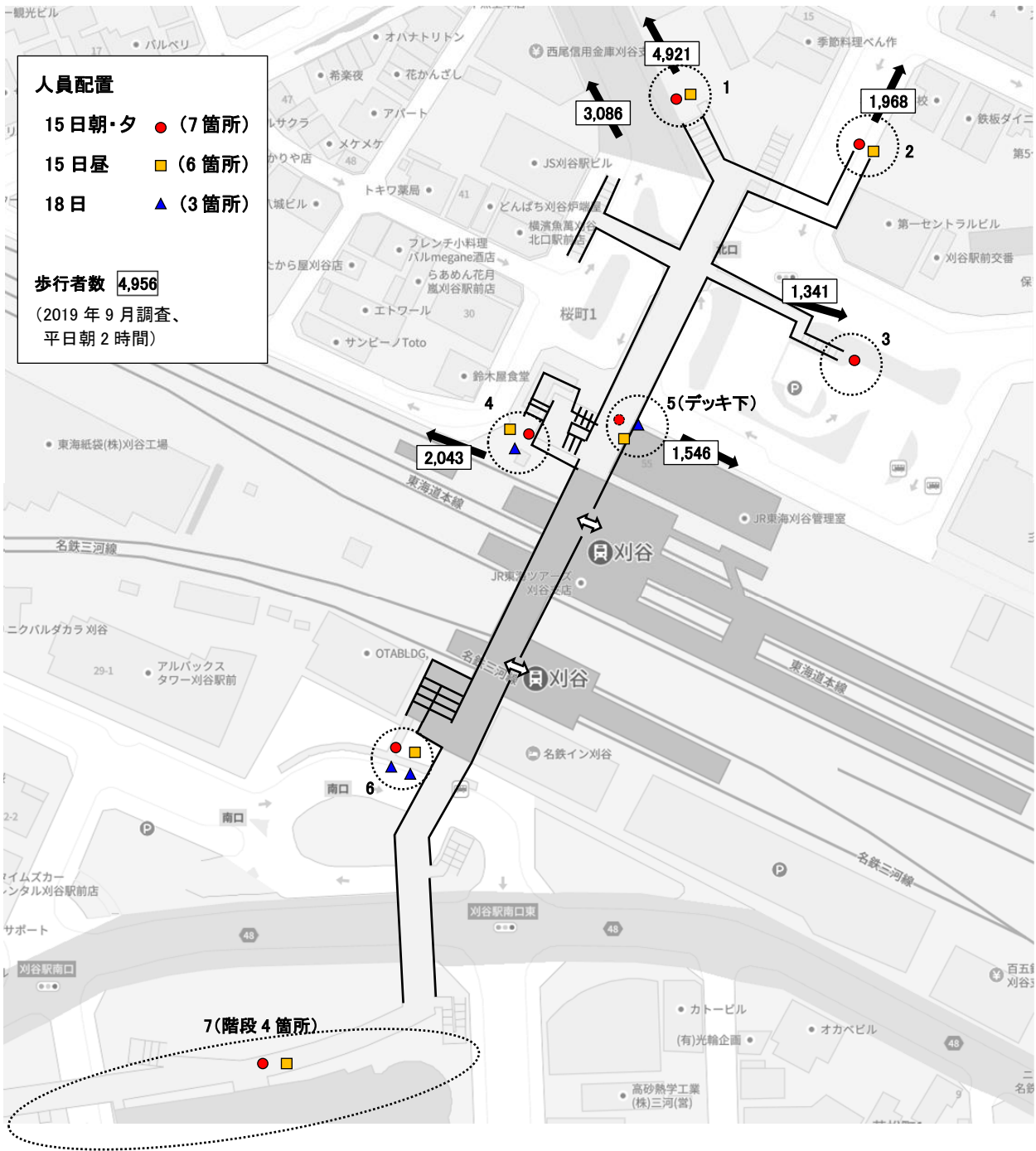
<実施対象と方法>

対象者	配布数	配布	回収
駅利用者	1,500	<ul style="list-style-type: none"> 手渡し配布（駅のデッキ通路降り口において、駅から出ていく人に配布） 1/15（水）7：30～18：30 1,300票 1/17（土）8：30～12：00 200票 	・郵送回収
所有者	924	<ul style="list-style-type: none"> 郵送配布（登記情報から対象地区内の所有者情報を抽出） 一部は手渡し配布 	
居住者	554	<ul style="list-style-type: none"> 手渡し配布、もしくはポスティング 対象は集合住宅の居住者 	
合計	2,978	—	—

<調査項目>

設問	駅利用者	所有者	居住者
■刈谷駅や駅周辺の利用状況（目的、頻度）	○		○
■刈谷駅周辺の現在のまちの評価（満足度、居住意向）	○	○	○
■刈谷駅周辺の今後のまちづくりへの考え （にぎわいの有無、まちの将来像、駅周辺に充実したほうがよい施設）	○	○	○
■所有する土地・建物の名義・利用状況、今後の活用意向（共同化の意向、勉強会等への参加意向）		○	
■回答者属性（個人属性、法人属性）	○	○	○

<駅利用者への配布箇所>



3-2. 調査結果

(1) 回収状況

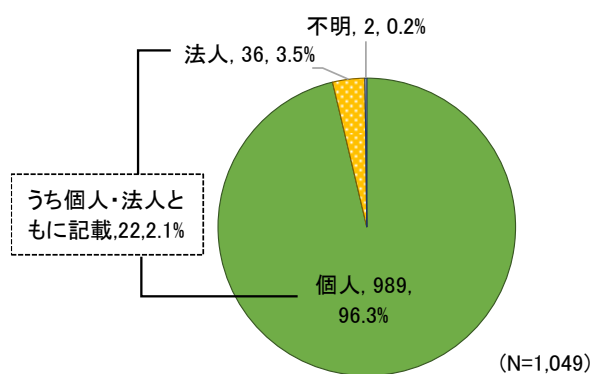
調査対象者別の回収数・回収率は以下の通りです。

	駅利用者	所有者	居住者	合計
配布数	1,500	924	554	2,978
回収数	456	474	119	1,049
回収率	30.4%	51.3%	21.5%	35.2%

(2) 回答者属性

1) 個人／法人

回答者としては、全体では個人の回答が 1,011 件、所有者について法人から 58 件の回答がありました。



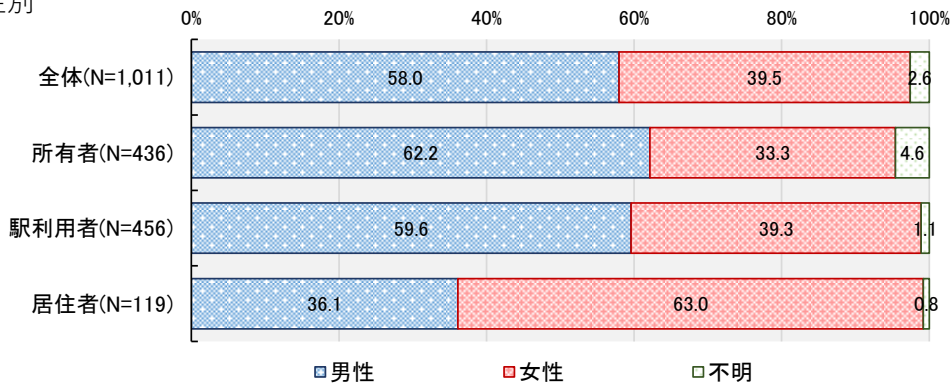
	全体	所有者	駅利用者	居住者
1 個人	1,011	436	456	119
2 法人	58	58	0	0
3 うち個人・法人ともに記載	22	22	0	0
4 不明	2	2	0	0
サンプル数※	1,049	474	456	119

(※サンプル数=1+2-3+4)

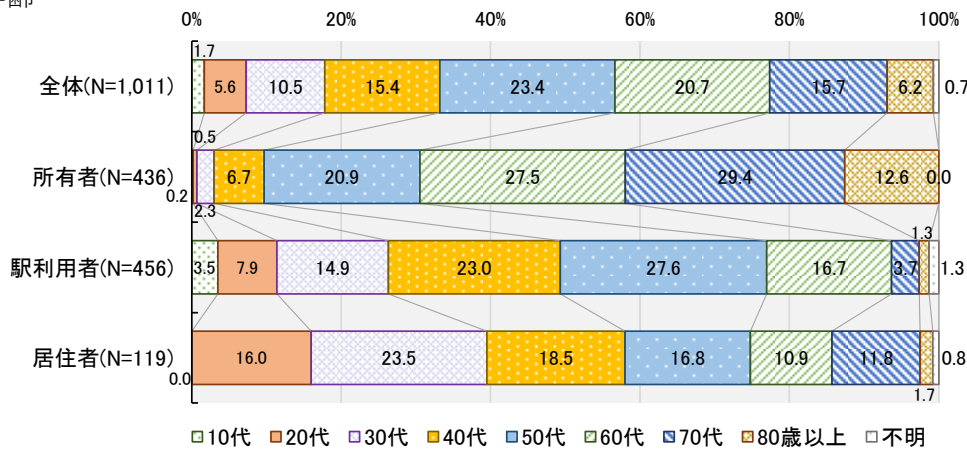
2) 個人属性

個人の属性についてみると、性別は居住者のみ女性が多いが、その他は男性が多くなっています。年齢は、所有者については60～70代の高齢層が多いですが、その他は30～50代の現役世代が多くなっています。職業は、駅利用者・居住者では会社員・公務員等が多く、所有者では自営業、会社員、無職の3つが多くなっています。住まいは、駅利用者では市外が6割強と多いですが、所有者・居住者では市内が大半を占めています。市内居住者の居住年数は、居住者では5年未満が半数弱と短期の人が多くなっています。家族構成は、所有者・駅利用者では親子二世帯が約4～5割で最も多いですが、居住者ではひとり暮らしが約4割で最も多くなっています。

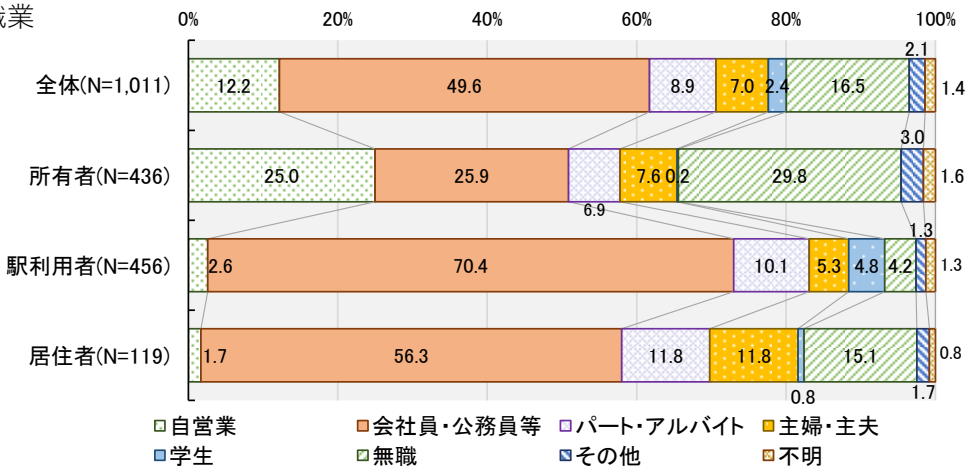
①性別



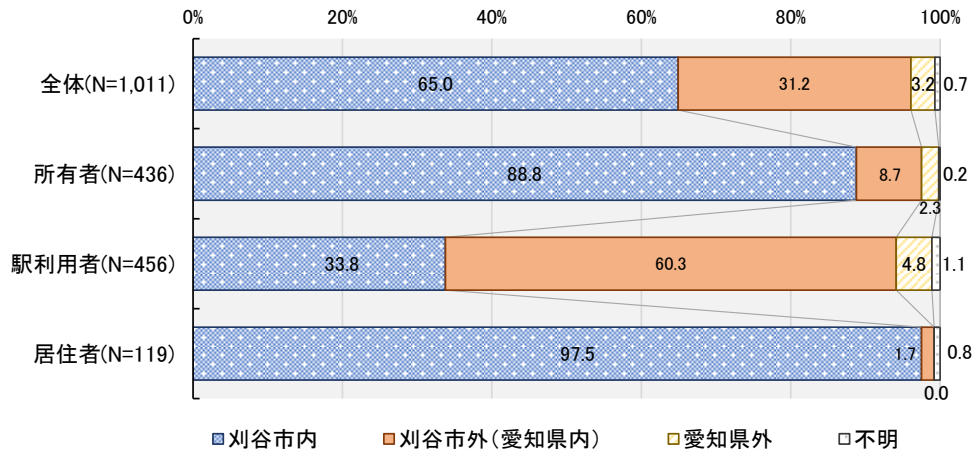
②年齢



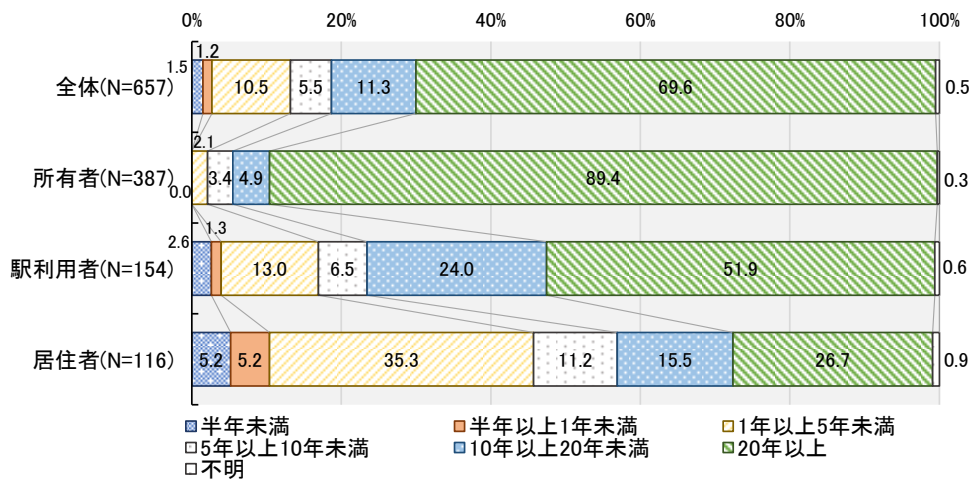
③職業



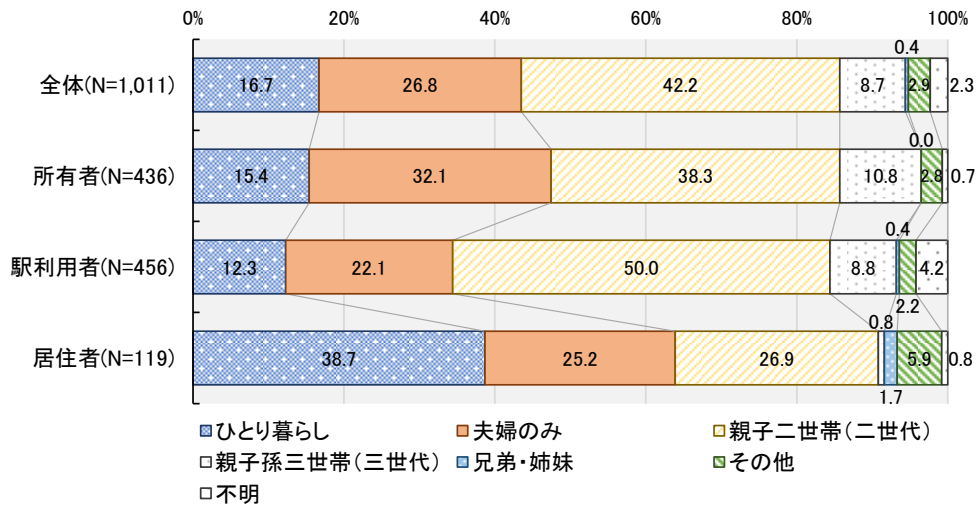
④住まい



⑤市内の居住年数



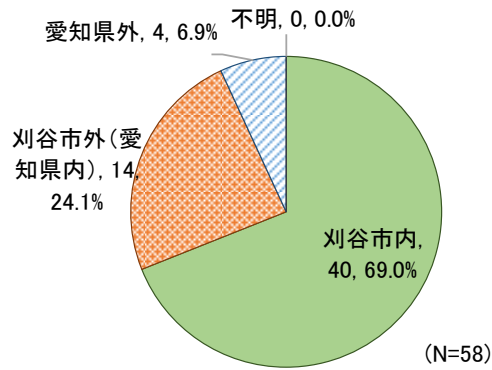
⑥家族構成



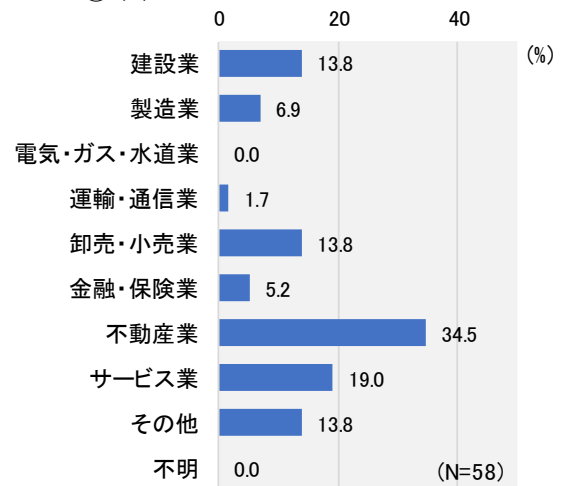
2) 法人属性

所有者の法人の属性についてみると、本社所在地は市内が約7割と最も多くなっています。業種としては不動産業が34.5%で最も多く、従業員数としては5人以下が36.2%、6~50人が31.0%となっており、小規模事業所が多くなっています。

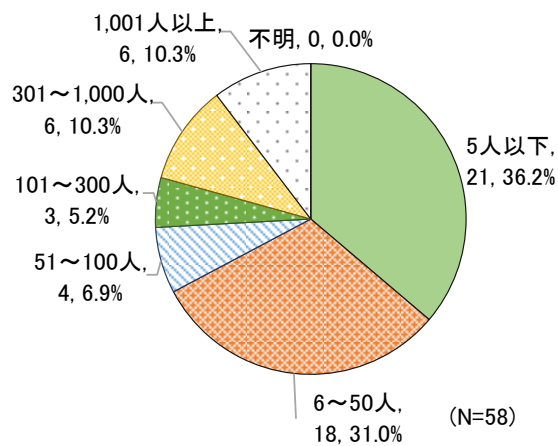
①本社所在地



②業種



③従業員数

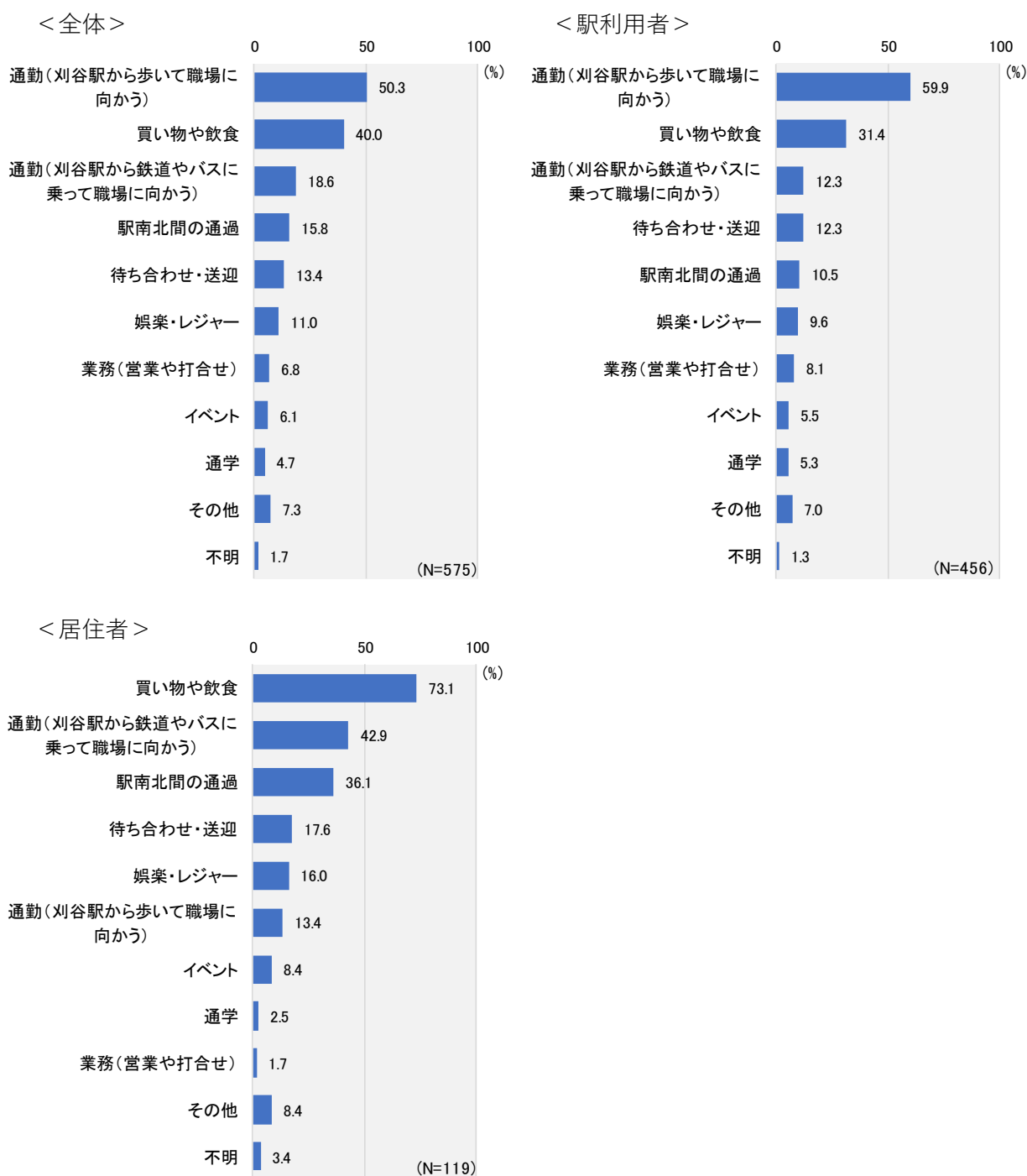


(3) 刈谷駅や駅周辺の利用状況

1) 刈谷駅や刈谷駅周辺を利用する目的を教えてください。(〇はいくつでも)

駅や駅周辺の利用目的は、全体としては「通勤」が約5割で最も多く、次いで「買い物や飲食」となっています。駅利用者は「通勤」が約6割で最も多く、次いで「買い物や飲食」となっています。居住者は「買い物や飲食」が7割強で最も多く、次いで「通勤」「駅南北間の通過」となっています。

性別では、男性は「通勤」、女性は「買い物や飲食」が最も多く、年齢別では、10代で「通学」、20～60代で「通勤」、70代以上で「買い物や飲食」が最も多くなっています。居住地別では、市内で「買い物や飲食」、市外で「通勤」が最も多くなっています。



<性別クロス>

	通勤(刈谷駅から歩いて職場に向かう)	通勤(刈谷駅から鉄道やバスに乗って職場に向かう)	業務(営業や打合せ)	通学	待ち合わせ・送迎	買い物や飲食	娯楽・レジャー	イベント	駅南北間の通過	その他	不明	合計
合計(N=575)	50.3	18.6	6.8	4.7	13.4	40.0	11.0	6.1	15.8	7.3	1.7	100.0
男性(N=315)	61.6	12.7	9.5	3.5	11.4	31.1	9.5	4.4	13.3	5.7	1.6	100.0
女性(N=254)	36.2	26.0	3.5	6.3	15.7	51.2	12.6	8.3	18.9	9.4	2.0	100.0
不明(N=6)	50.0	16.7	-	-	16.7	33.3	16.7	-	16.7	-	-	100.0

(凡例: 上位3項目を網掛け **100.0** 第1位 **90.0** 第2位 **80.0** 第3位)

<年齢別クロス>

	通勤(刈谷駅から歩いて職場に向かう)	通勤(刈谷駅から鉄道やバスに乗って職場に向かう)	業務(営業や打合せ)	通学	待ち合わせ・送迎	買い物や飲食	娯楽・レジャー	イベント	駅南北間の通過	その他	不明	合計
合計(N=575)	50.3	18.6	6.8	4.7	13.4	40.0	11.0	6.1	15.8	7.3	1.7	100.0
10代(N=16)	-	6.3	-	75.0	6.3	25.0	-	18.8	-	18.8	-	100.0
20代(N=55)	47.3	32.7	3.6	12.7	20.0	40.0	9.1	5.5	21.8	1.8	-	100.0
30代(N=96)	49.0	30.2	5.2	3.1	13.5	45.8	13.5	8.3	21.9	7.3	-	100.0
40代(N=127)	52.8	21.3	8.7	2.4	12.6	41.7	11.8	6.3	10.2	8.7	0.8	100.0
50代(N=146)	70.5	7.5	10.3	0.7	8.2	32.2	8.9	2.7	12.3	3.4	1.4	100.0
60代(N=89)	43.8	18.0	5.6	1.1	16.9	34.8	10.1	5.6	10.1	10.1	4.5	100.0
70代(N=31)	6.5	9.7	3.2	-	19.4	64.5	16.1	12.9	45.2	12.9	9.7	100.0
80歳以上(N=8)	12.5	12.5	-	-	12.5	87.5	25.0	-	37.5	25.0	-	100.0
不明(N=7)	57.1	14.3	-	-	28.6	28.6	14.3	-	14.3	-	-	100.0

(凡例: 上位3項目を網掛け **100.0** 第1位 **90.0** 第2位 **80.0** 第3位)

<居住地別クロス>

	通勤(刈谷駅から歩いて職場に向かう)	通勤(刈谷駅から鉄道やバスに乗って職場に向かう)	業務(営業や打合せ)	通学	待ち合わせ・送迎	買い物や飲食	娯楽・レジャー	イベント	駅南北間の通過	その他	不明	合計
合計(N=575)	50.3	18.6	6.8	4.7	13.4	40.0	11.0	6.1	15.8	7.3	1.7	100.0
刈谷市内(N=270)	20.0	33.7	5.6	6.3	21.9	63.3	17.4	10.0	28.9	7.8	2.6	100.0
刈谷市外(N=299)	77.6	5.0	8.0	3.3	5.7	19.1	5.0	2.7	4.0	7.0	1.0	100.0
不明(N=6)	50.0	16.7	-	-	16.7	33.3	16.7	-	16.7	-	-	100.0

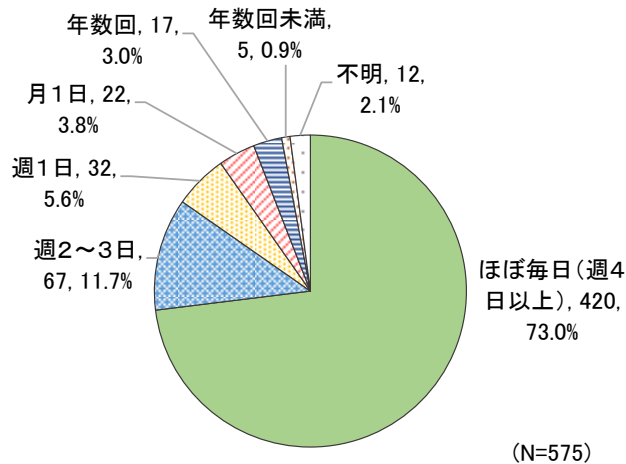
(凡例: 上位3項目を網掛け **100.0** 第1位 **90.0** 第2位 **80.0** 第3位)

2) 刈谷駅や刈谷駅周辺に来る頻度はどの程度ですか。(1つに〇)

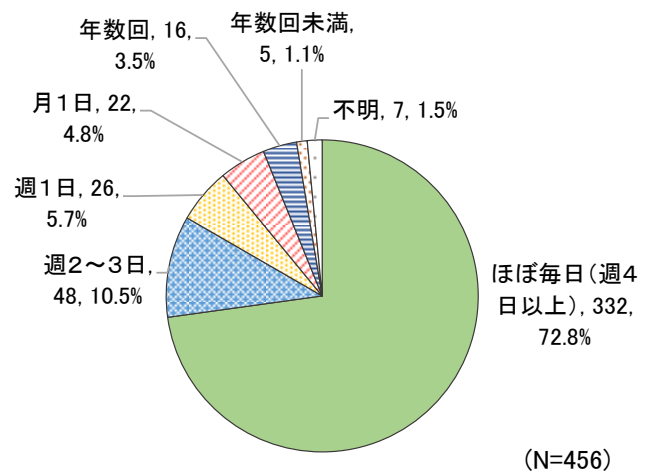
駅や駅周辺に来る頻度は、全体としては、「ほぼ毎日(週4日以上)」が約7割と最も多く、次いで、「週2～3日」となっており、来る頻度は非常に高いといえます。駅利用者・居住者でも、ともに「ほぼ毎日(週4日以上)」が最も多く、次いで、「週2～3日」となっています。

性別、年齢別、居住地別でも、いずれも「ほぼ毎日(週4日以上)」が最も多くなっています。

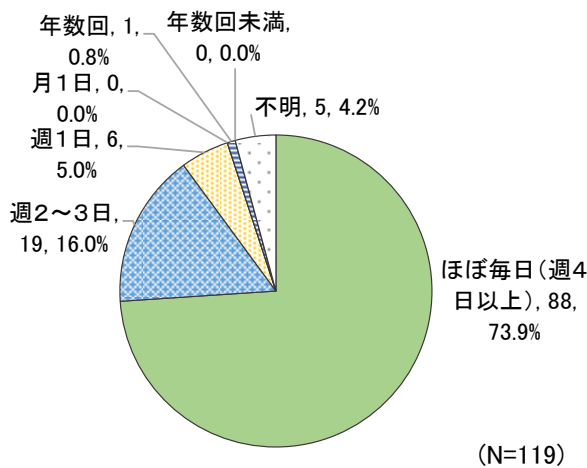
<全体>



<駅利用者>



<居住者>



< 性別クロス >

	合計	ほぼ毎日 (週4日以上)	週2~3日	週1日	月1日	年数回	年数回未 満	不明
合計(N=575)	100.0	73.0	11.7	5.6	3.8	3.0	0.9	2.1
男性(N=315)	100.0	77.1	7.9	6.3	3.5	2.5	1.3	1.3
女性(N=254)	100.0	68.1	15.7	4.7	4.3	3.5	0.4	3.1
不明(N=6)	100.0	66.7	33.3	-	-	-	-	-

(凡例: 上位3項目を網掛け **100.0** 第1位 **90.0** 第2位 **80.0** 第3位)

< 年齢別クロス >

	合計	ほぼ毎日 (週4日以上)	週2~3日	週1日	月1日	年数回	年数回未 満	不明
合計(N=575)	100.0	73.0	11.7	5.6	3.8	3.0	0.9	2.1
10代(N=16)	100.0	62.5	12.5	-	12.5	6.3	-	6.3
20代(N=55)	100.0	83.6	5.5	3.6	1.8	5.5	-	-
30代(N=96)	100.0	82.3	5.2	8.3	3.1	1.0	-	-
40代(N=127)	100.0	78.0	9.4	7.1	2.4	1.6	0.8	0.8
50代(N=146)	100.0	76.7	11.0	2.1	2.7	2.7	2.1	2.7
60代(N=89)	100.0	56.2	20.2	5.6	6.7	6.7	1.1	3.4
70代(N=31)	100.0	41.9	22.6	16.1	9.7	-	-	9.7
80歳以上(N=8)	100.0	75.0	25.0	-	-	-	-	-
不明(N=7)	100.0	71.4	28.6	-	-	-	-	-

(凡例: 上位3項目を網掛け **100.0** 第1位 **90.0** 第2位 **80.0** 第3位)

< 居住地別クロス >

	合計	ほぼ毎日 (週4日以上)	週2~3日	週1日	月1日	年数回	年数回未 満	不明
合計(N=575)	100.0	73.0	11.7	5.6	3.8	3.0	0.9	2.1
刈谷市内(N=270)	100.0	65.9	17.0	8.5	3.3	1.9	-	3.3
刈谷市外(N=299)	100.0	79.6	6.4	3.0	4.3	4.0	1.7	1.0
不明(N=6)	100.0	66.7	33.3	-	-	-	-	-

(凡例: 上位3項目を網掛け **100.0** 第1位 **90.0** 第2位 **80.0** 第3位)

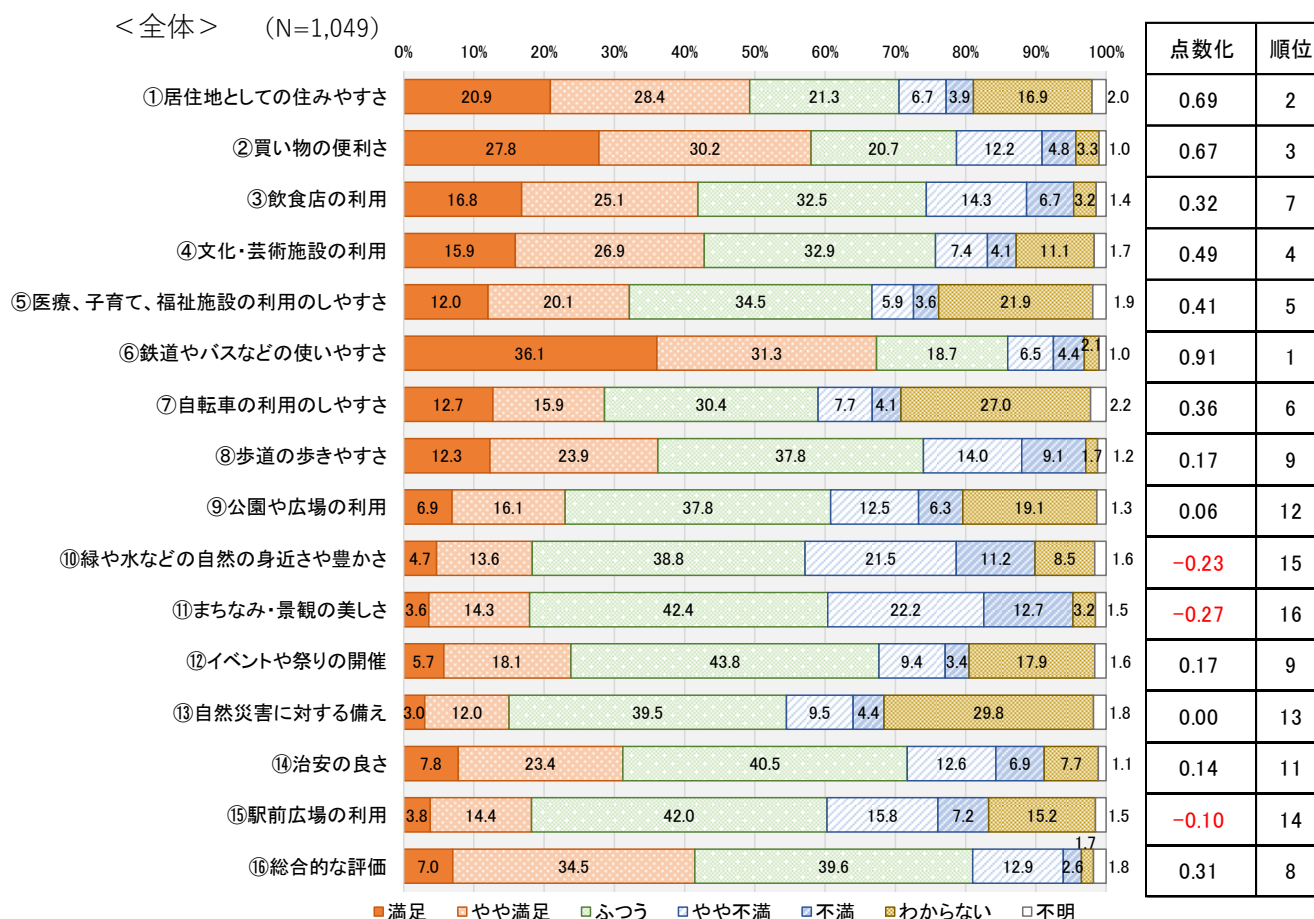
(4) 刈谷駅周辺の現在のまちの評価

1) 刈谷駅周辺のまちの満足度を教えてください。(①～⑯それぞれ1つに○)

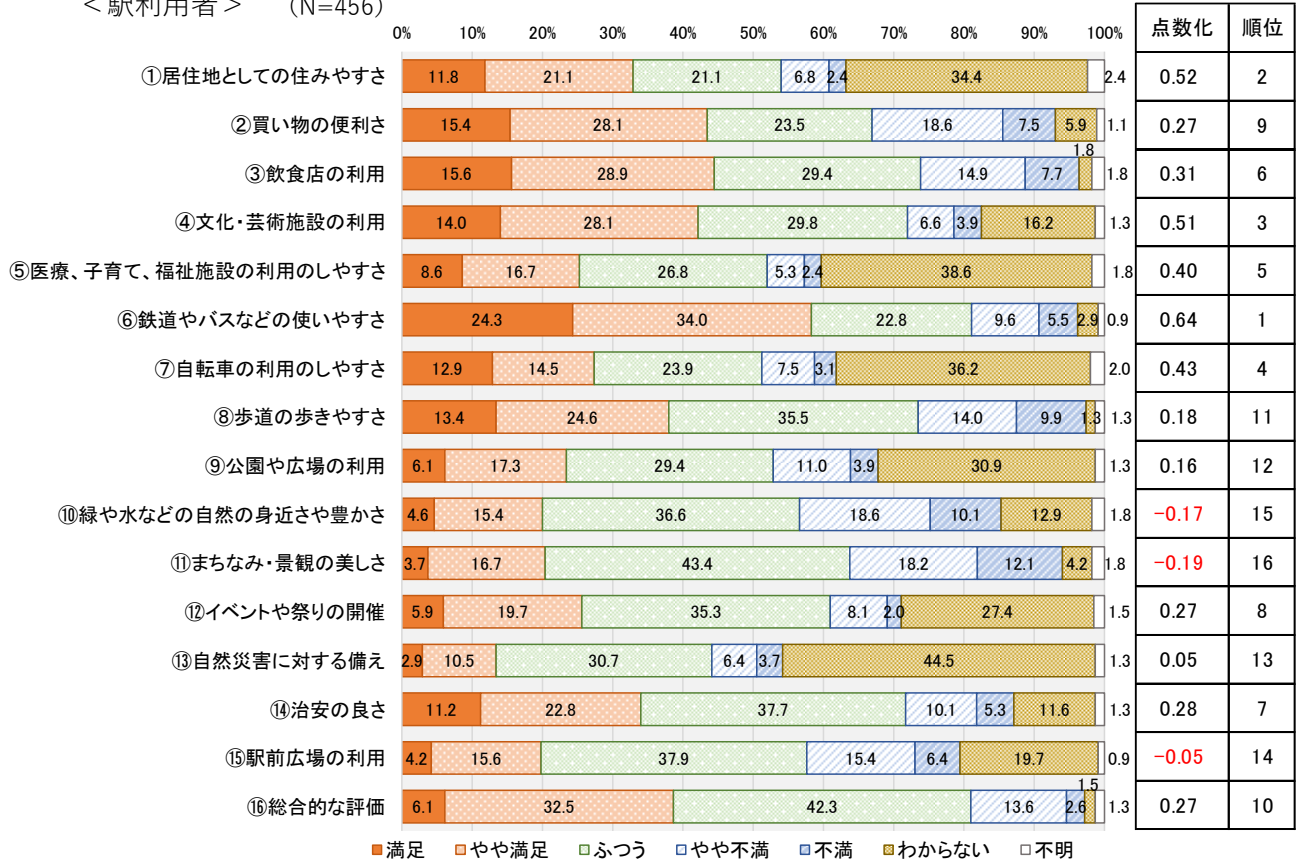
駅周辺のまちの満足度※についてみると、満足度の高いものは、全体では、「鉄道やバスなどの使いやすさ」「居住地としての住みやすさ」「買い物の便利さ」という順になっています。駅利用者では、「鉄道やバスなどの使いやすさ」「居住地としての住みやすさ」「文化・芸術施設の利用」、所有者・居住者では、「鉄道やバスなどの使いやすさ」「買い物の便利さ」「居住地としての住みやすさ」という順になっています。

一方、満足度が低いものは、「まちなみ・景観の美しさ」「緑や水などの自然の身近さや豊かさ」の2つが全体・駅利用者・所有者・居住者に共通してあがっています。次いで、全体・駅利用者では「駅前広場の利用」、所有者では「駅前広場の利用」「自然災害に対する備え」、居住者では「自然災害に対する備え」「公園や広場の利用」となっています。

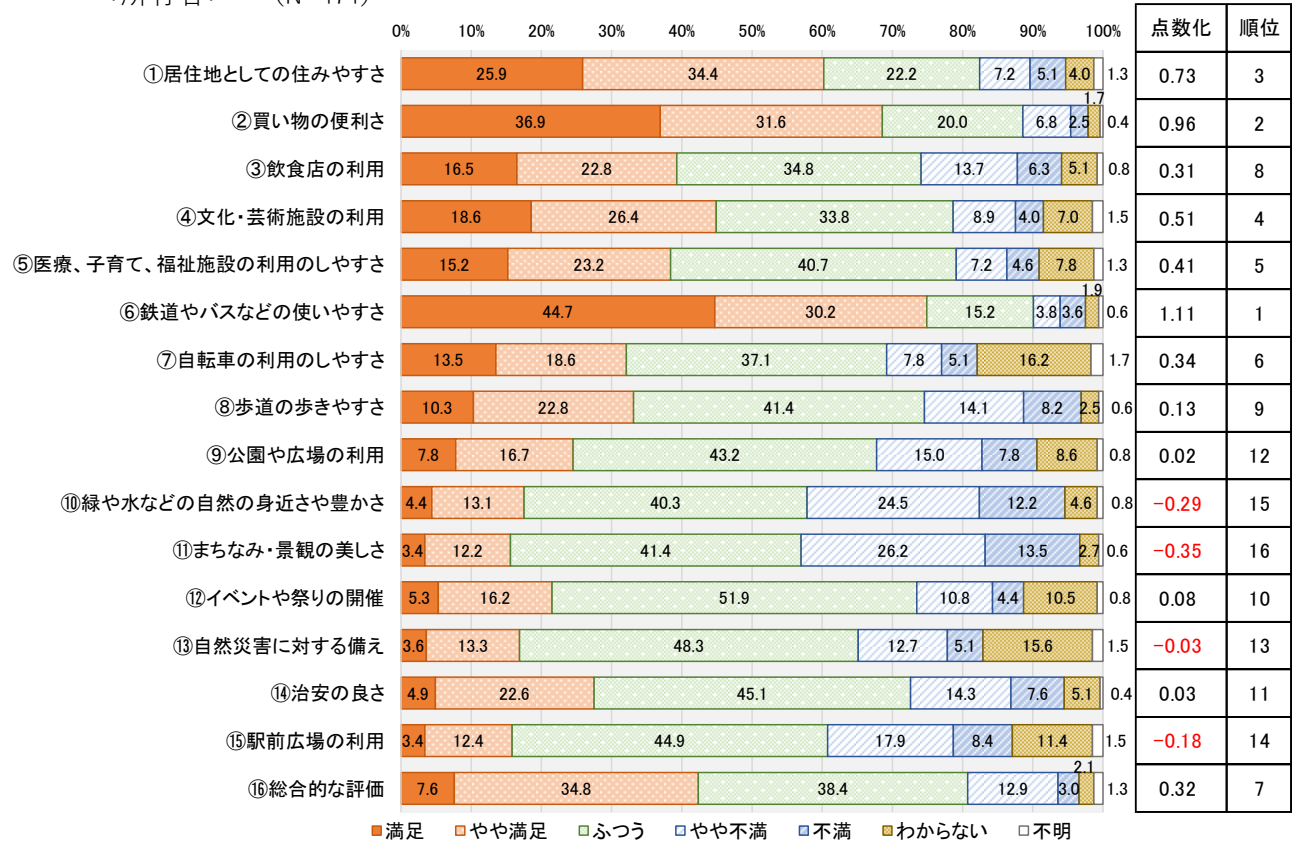
※「満足」2点、「やや満足」1点、「ふつう」0点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として、「わからない」「不明」除いて加重平均を算出して点数化



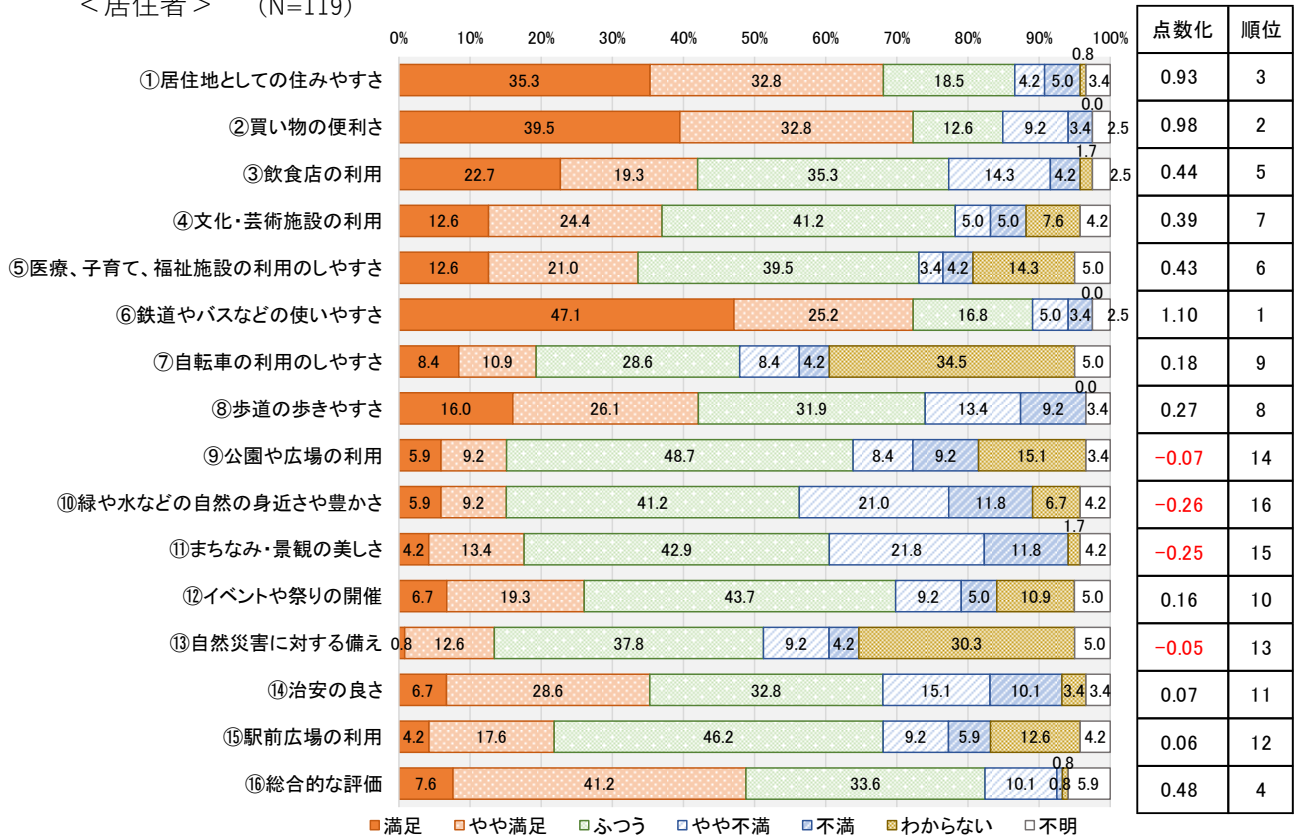
< 駅利用者 > (N=456)



< 所有者 > (N=474)



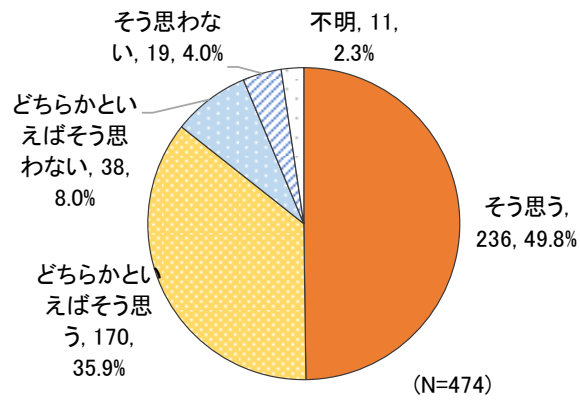
<居住者> (N=119)



2) 刈谷駅周辺に住みたい、もしくは今後も住み続けたいと思いますか。(1つに○)

駅周辺への居留意向は、「そう思う」が半数と最も多く、「どちらかといえばそう思う」も 35.9% となっています。あわせて 85.7% となっており、居留意向は非常に高いといえます。

<所有者>

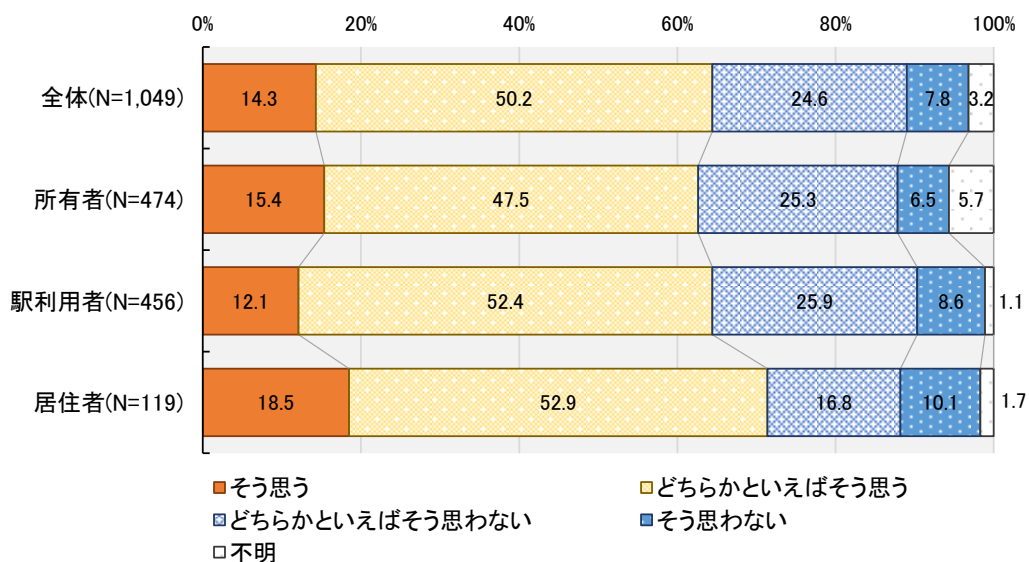


(5) 刈谷駅周辺の今後のまちづくりへの考え

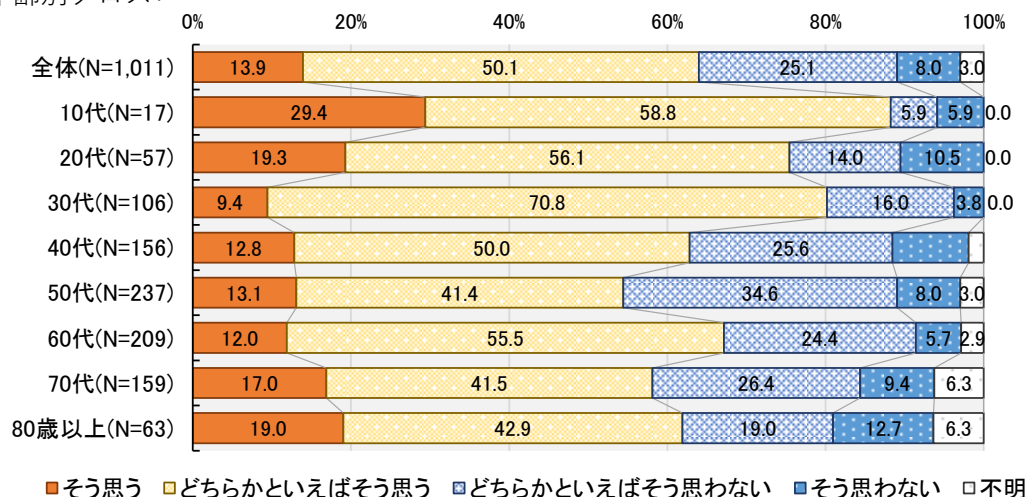
1) 現在の刈谷駅周辺は、活気とにぎわいがあると思いますか。(1つに○)

現状、活気とにぎわいがあると思うかについては、そう思う(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)の割合が駅利用者・所有者・居住者のいずれも6割超となっていますが、駅周辺と日常的な関わりが強い居住者でそう思う割合が最も高くなっています。

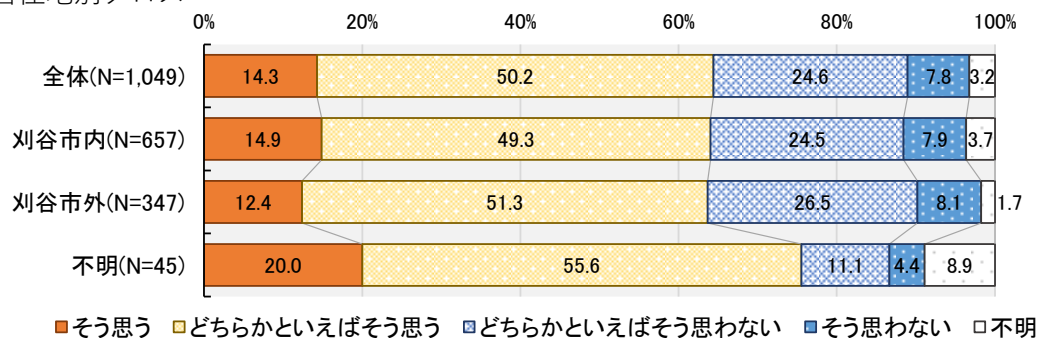
年齢別では、10～30代の若い世代でそう思う割合が比較的高くなっています。



<年齢別クロス>



<居住地別クロス>



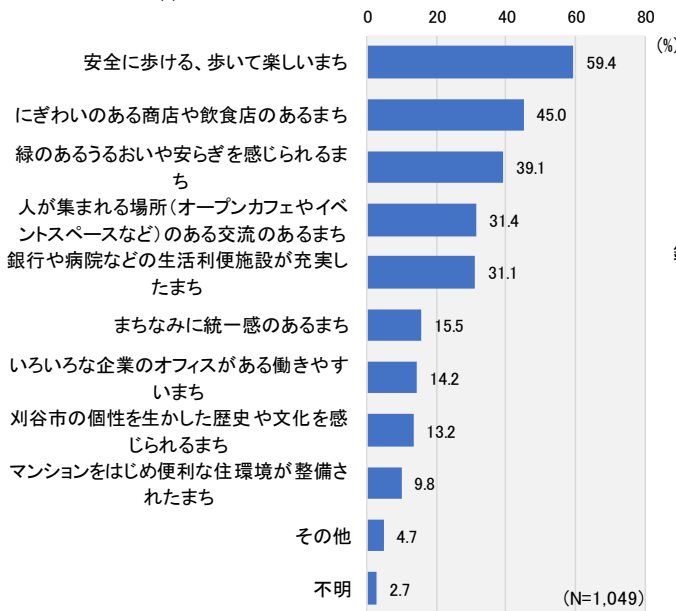
2) 今後、刈谷駅周辺がどのようなまちになるとよいと思いますか。(〇は3つまで)

駅周辺のまちの将来像については、全体では「安全に歩ける、歩いて楽しいまち」の回答割合が最も高く、次いで、「にぎわいのある商店や飲食店のあるまち」「緑のあるうるおいや安らぎを感じられるまち」となっています。

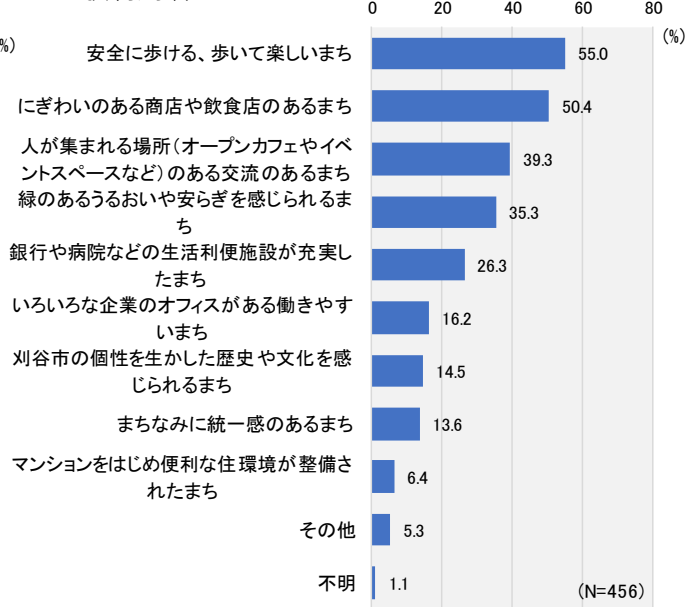
駅利用者、所有者、居住者でみると、「安全に歩ける、歩いて楽しいまち」が第1位であることは共通ですが、駅利用者では第3位が「人が集まれる場所のある交流のあるまち」、所有者では第2位が「緑のあるうるおいや安らぎを感じられるまち」、第3位が「にぎわいのある商店や飲食店のあるまち」、居住者では第2位が「銀行や病院などの生活利便施設が充実したまち」第3位が「にぎわいのある商店や飲食店のあるまち」と異なっています。

年齢別では、20代で「にぎわいのある商店や飲食店のあるまち」が第1位となっています。

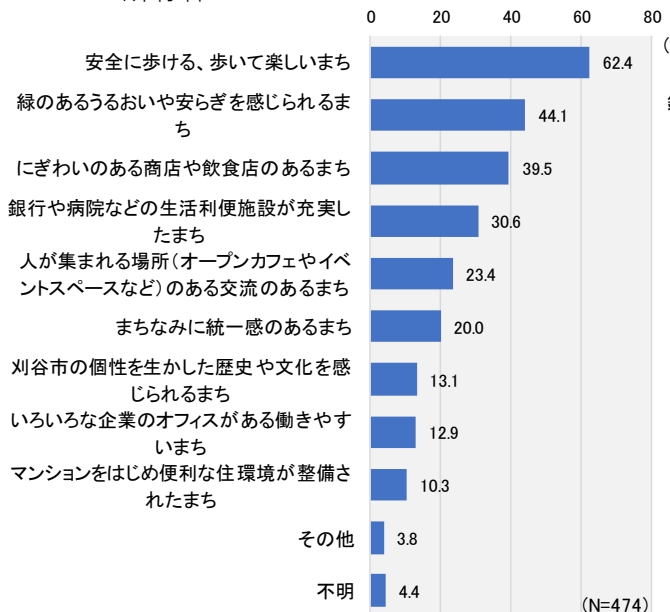
<全体>



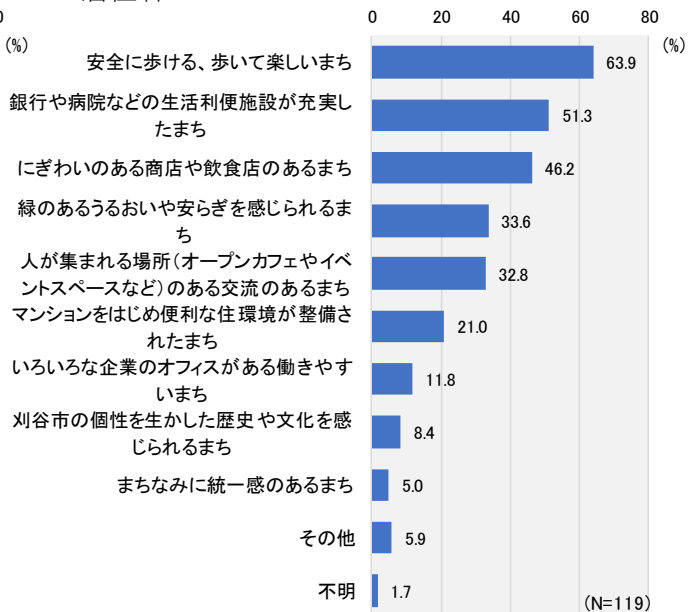
<駅利用者>



<所有者>



<居住者>



<年齢別クロス>

	にぎわいのある商店や飲食店のあるまち	銀行や病院などの生活利便施設が充実したまち	マンションをはじめ便利な住環境が整備されたまち	安全に歩ける、歩いて楽しいまち	まちなみに統一感のあるまち	人が集まれる場所(オープンカフェやイベントスペースなど)のある交流のあるまち	緑のあるうるおいや安らぎを感じられるまち	いろいろな企業のある働きやすいまち	刈谷市の個性を生かした歴史や文化を感じられるまち	その他	不明	合計
合計(N=1,011)	44.7	31.8	9.5	60.2	14.9	31.4	39.6	13.8	13.2	4.7	2.5	100.0
10代(N=17)	47.1	11.8	11.8	58.8	11.8	52.9	47.1	11.8	17.6	-	-	100.0
20代(N=57)	57.9	35.1	22.8	45.6	14.0	35.1	17.5	19.3	12.3	5.3	-	100.0
30代(N=106)	52.8	45.3	12.3	57.5	17.0	32.1	33.0	19.8	3.8	2.8	-	100.0
40代(N=156)	47.4	30.8	7.7	57.7	9.6	43.6	34.6	18.6	5.8	7.7	0.6	100.0
50代(N=237)	45.6	29.1	6.3	57.0	15.2	31.6	40.5	12.7	13.9	5.5	3.0	100.0
60代(N=209)	40.7	28.7	8.1	67.9	17.7	27.3	49.3	12.9	17.7	2.9	2.4	100.0
70代(N=159)	37.1	30.8	9.4	62.3	17.0	25.2	42.1	6.9	17.0	4.4	6.3	100.0
80歳以上(N=63)	41.3	38.1	11.1	63.5	12.7	20.6	39.7	14.3	19.0	6.3	3.2	100.0
不明(N=7)	42.9	28.6	28.6	85.7	-	14.3	28.6	-	14.3	-	-	100.0

(凡例: 上位3項目を網掛け **100.0** 第1位 **90.0** 第2位 **80.0** 第3位)

<居住地別クロス>

	にぎわいのある商店や飲食店のあるまち	銀行や病院などの生活利便施設が充実したまち	マンションをはじめ便利な住環境が整備されたまち	安全に歩ける、歩いて楽しいまち	まちなみに統一感のあるまち	人が集まれる場所(オープンカフェやイベントスペースなど)のある交流のあるまち	緑のあるうるおいや安らぎを感じられるまち	いろいろな企業のある働きやすいまち	刈谷市の個性を生かした歴史や文化を感じられるまち	その他	不明	合計
合計(N=1,049)	45.0	31.1	9.8	59.4	15.5	31.4	39.1	14.2	13.2	4.7	2.7	100.0
刈谷市内(N=657)	41.9	36.1	10.5	65.0	16.9	27.2	42.9	9.6	12.9	4.3	2.7	100.0
刈谷市外(N=347)	49.9	24.2	6.9	51.0	11.5	39.5	33.4	21.9	13.5	5.8	2.0	100.0
不明(N=45)	53.3	11.1	22.2	42.2	26.7	28.9	26.7	22.2	13.3	2.2	6.7	100.0

(凡例: 上位3項目を網掛け **100.0** 第1位 **90.0** 第2位 **80.0** 第3位)

3) 刈谷駅周辺で、今後特に充実したほうがよい施設や機能は何だと思いますか。

(〇は3つまで)

駅周辺で充実したほうがよい施設や機能については、「レストランやカフェなどの飲食店」への回答割合が最も高くなっています。次いで、「公園や広場などのオープンスペース」「病院やクリニックなどの医療施設」「百貨店やデパートなどの大型店舗」となっています。

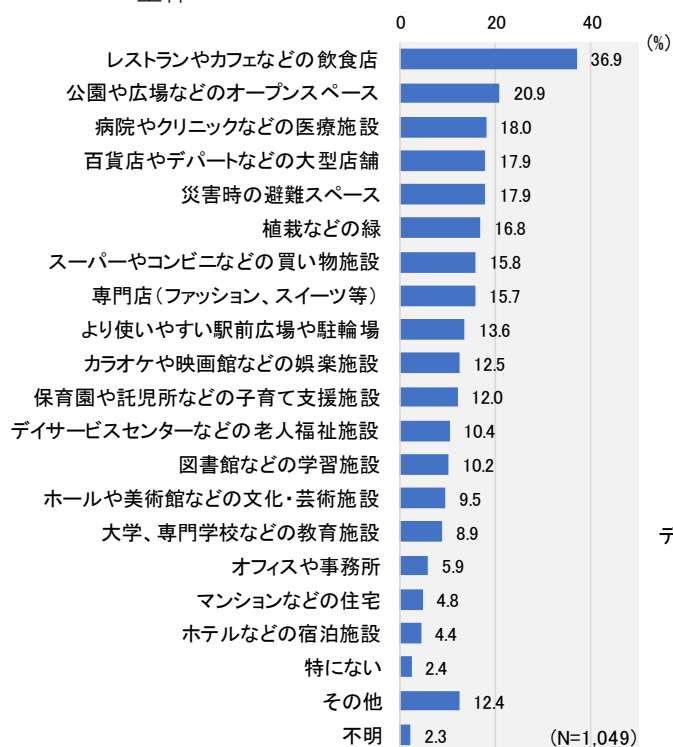
駅利用者・所有者・居住者では第1位が「レストランやカフェなどの飲食店」であることは共通ですが、第2位が駅利用者・居住者では「百貨店やデパートなどの大型店舗」、所有者では「公園や広場などのオープンスペース」となっています。

年齢別では、10代*で第1位は「専門店」、第2位が「カラオケや映画館などの娯楽施設」となっています。20代でも第2位に「カラオケや映画館などの娯楽施設」があがっています。

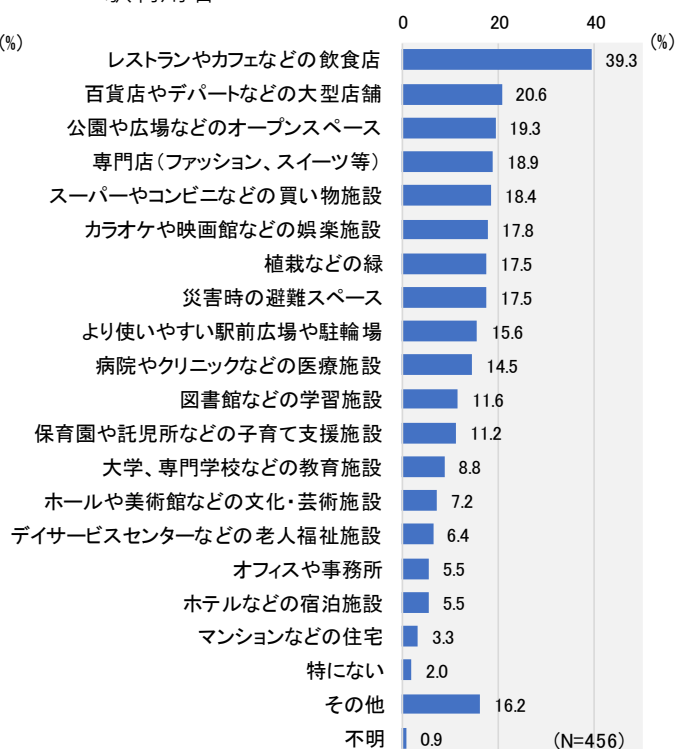
居住地別では、市外で第2位に「スーパーやコンビニなどの買い物施設」があがっています。

(※10代の回答者数は、駅利用者が16件、所有者が1件)

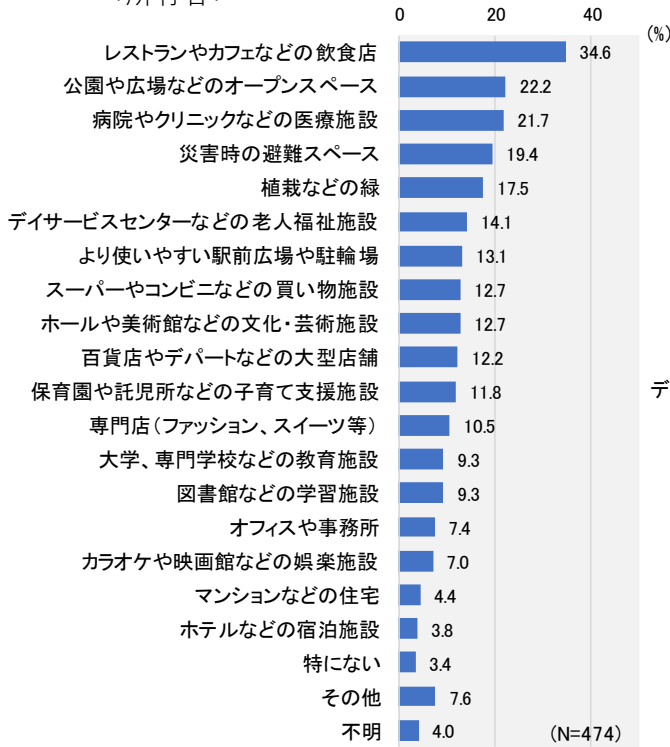
<全体>



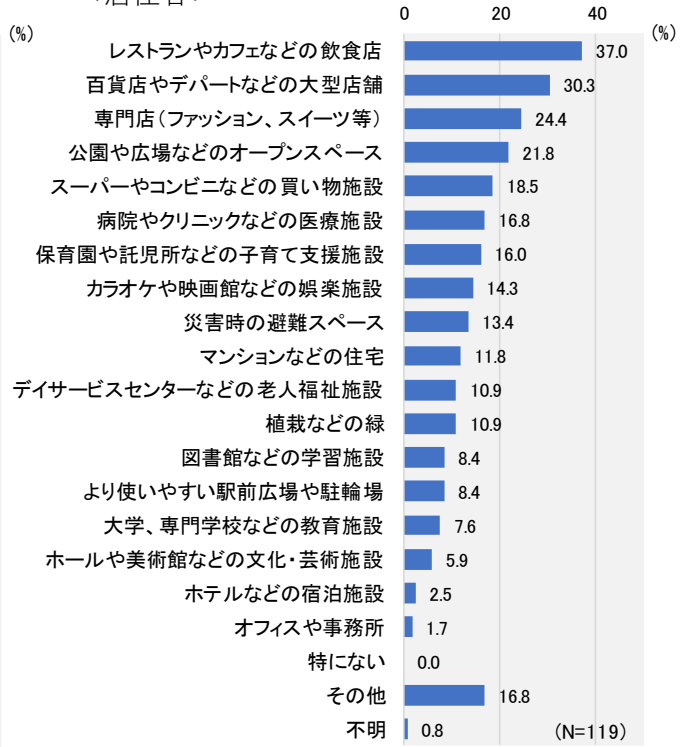
<駅利用者>



<所有者>



<居住者>



<年齢別クロス>

	スーパーやコンビニなどの買い物施設	百貨店やデパートなどの大型店舗	専門店(ファッション、スイーツ等)	レストランやカフェなどの飲食店	オフィスや事務所	マンションなどの住宅	大学、専門学校などの教育施設	ホールや美術館などの文化・芸術施設	カラオケや映画館などの娯楽施設	図書館などの学習施設	ホテルなどの宿泊施設	デイサービスセンターなどの老人福祉施設	病院やクリニックなどの医療施設	保育園や託児所などの子育て支援施設	公園や広場などのオープンスペース	植栽などの緑	災害時の避難スペース	より使いやすい駅前広場や駐輪場	特にない	その他	不明
合計(N=1,011)	16.0	18.1	15.7	36.9	5.6	4.5	8.8	9.2	12.4	10.2	4.2	10.7	18.2	11.6	21.2	16.9	18.2	13.6	2.5	12.6	2.1
10代(N=17)	17.6	17.6	35.3	17.6	5.9	-	11.8	-	29.4	23.5	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	23.5	17.6	-	23.5	-
20代(N=57)	17.5	33.3	26.3	38.6	3.5	8.8	8.8	7.0	33.3	12.3	3.5	1.8	12.3	14.0	15.8	5.3	7.0	15.8	-	10.5	-
30代(N=106)	20.8	27.4	21.7	36.8	4.7	9.4	9.4	2.8	21.7	10.4	4.7	4.7	17.0	22.6	17.9	13.2	17.0	10.4	0.9	12.3	-
40代(N=156)	22.4	23.7	23.7	40.4	8.3	3.8	10.9	6.4	10.3	12.2	5.8	4.5	12.8	11.5	20.5	15.4	17.3	16.7	1.9	19.9	0.6
50代(N=237)	13.1	17.7	13.9	39.7	5.5	3.4	7.2	5.9	11.4	10.1	4.2	8.0	19.0	8.9	21.5	18.6	16.5	11.4	3.8	13.1	2.1
60代(N=209)	12.9	12.9	12.4	38.8	7.2	3.8	7.2	11.5	11.0	9.1	4.8	11.5	20.1	10.0	26.8	23.9	21.5	17.2	1.0	9.1	2.4
70代(N=159)	15.7	10.7	8.2	28.9	4.4	3.8	11.3	18.2	5.7	6.9	1.3	18.9	24.5	10.7	18.9	15.7	19.5	9.4	4.4	10.7	5.0
80歳以上(N=63)	12.7	11.1	9.5	38.1	1.6	3.2	6.3	11.1	4.8	12.7	4.8	33.3	19.0	7.9	22.2	12.7	23.8	15.9	4.8	4.8	3.2
不明(N=7)	14.3	28.6	-	14.3	-	14.3	14.3	28.6	-	-	-	-	-	28.6	28.6	28.6	14.3	14.3	-	42.9	-

(凡例 上位3項目を網掛け **100.0** 第1位 **90.0** 第2位 **80.0** 第3位)

<居住地別クロス>

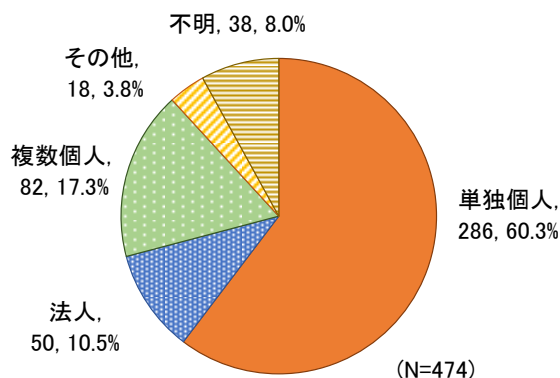
	スーパーやコンビニなどの買い物施設	百貨店やデパートなどの大型店舗	専門店(ファッション、スイーツ等)	レストランやカフェなどの飲食店	オフィスや事務所	マンションなどの住宅	大学、専門学校などの教育施設	ホールや美術館などの文化・芸術施設	カラオケや映画館などの娯楽施設	図書館などの学習施設	ホテルなどの宿泊施設	デイサービスセンターなどの老人福祉施設	病院やクリニックなどの医療施設	保育園や託児所などの子育て支援施設	公園や広場などのオープンスペース	植栽などの緑	災害時の避難スペース	より使いやすい駅前広場や駐輪場	特にない	その他	不明
合計(N=1,049)	15.8	17.9	15.7	36.9	5.9	4.8	8.9	9.5	12.5	10.2	4.4	10.4	18.0	12.0	20.9	16.8	17.9	13.6	2.4	12.4	2.3
刈谷市内(N=657)	12.8	18.1	14.3	35.0	4.6	4.7	10.2	10.2	9.6	9.9	2.6	14.2	20.2	12.8	21.2	18.1	19.8	13.5	2.6	12.0	2.3
刈谷市外(N=347)	22.2	18.2	18.7	40.9	7.5	3.7	6.1	6.9	17.9	11.0	6.9	4.3	14.7	8.9	21.0	14.4	15.3	14.1	2.3	13.0	1.7
不明(N=45)	11.1	13.3	13.3	33.3	13.3	13.3	11.1	20.0	13.3	8.9	11.1	2.2	11.1	24.4	15.6	15.6	11.1	11.1	-	13.3	6.7

(凡例 上位3項目を網掛け **100.0** 第1位 **90.0** 第2位 **80.0** 第3位)

(6) 所有する土地・建物の状況と今後の活用意向

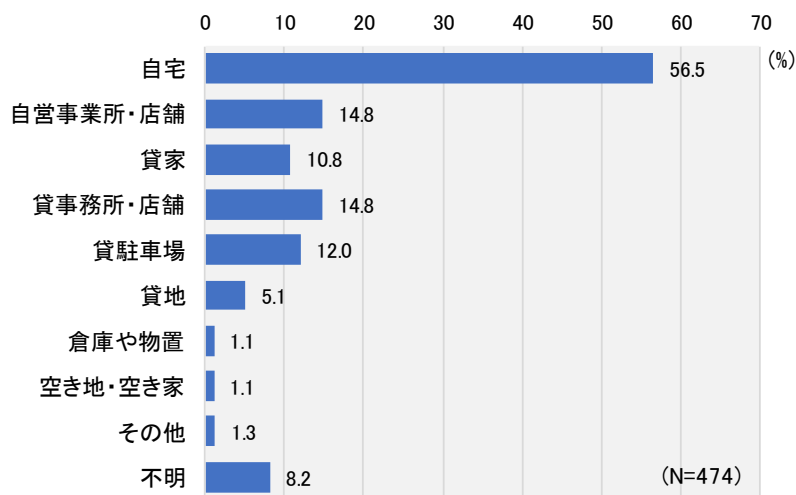
1) 現在、刈谷駅周辺でお持ちの土地・建物の所有者名義はどれにあたりますか。(1つに○)

主な土地・建物の所有者名義としては、「単独個人」が最も多く、約6割となっており、次いで「複数個人」となっています。「法人」は約1割となっています。



2) お答えいただいた土地・建物の利用状況を教えてください。(○はいくつでも)

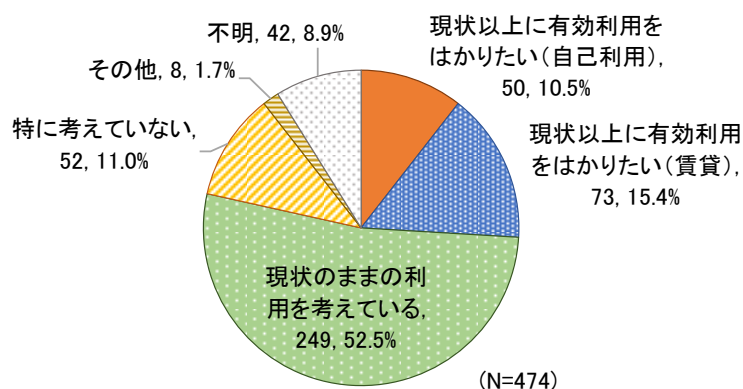
主な土地・建物の利用状況としては、「自宅」が約6割と最も多く、次いで「自営事業所・店舗」「貸事務所・店舗」となっています。



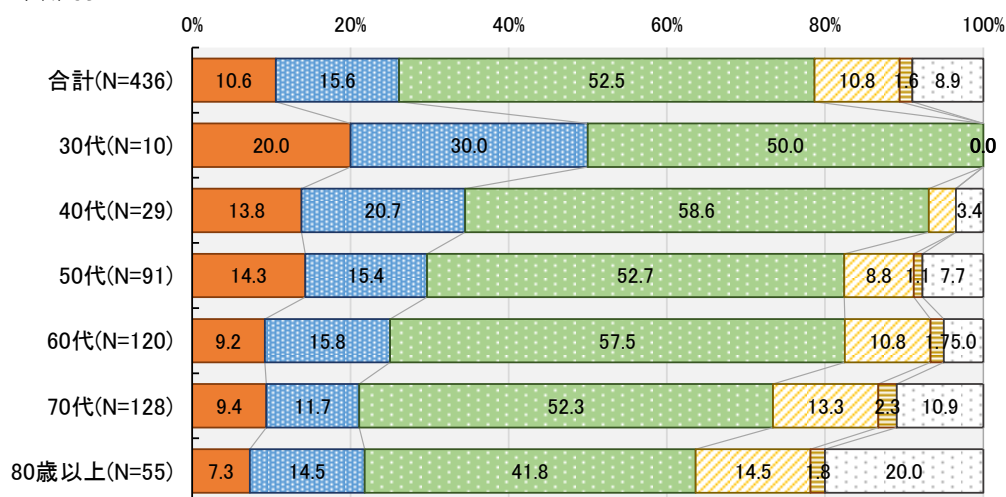
3) お答えいただいた土地・建物の今後の活用についてのお考えを教えてください。 (1つに〇)

主な土地・建物の今後の活用については、「現状のままの利用を考えている」が最も多く、およそ半数となっています。次いで、「現状以上に有効利用をはかりたい（賃貸）」となっています。

年齢別（10・20代を除く）にみると、若い年代（30代）ほど「現状以上の有効利用をはかりたい」の割合が高くなっています。



<年齢別クロス>



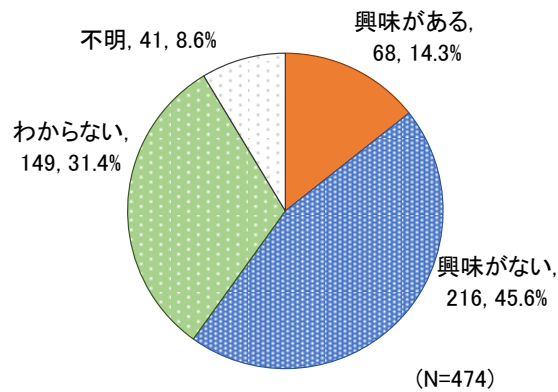
- 現状以上に有効利用をはかりたい(自己利用)
- 現状以上に有効利用をはかりたい(賃貸)
- 現状のままの利用を考えている
- 特に考えていない
- その他
- 不明

※10代（1件）、20代（2件）は回答者数が少ないため、グラフから省略した。

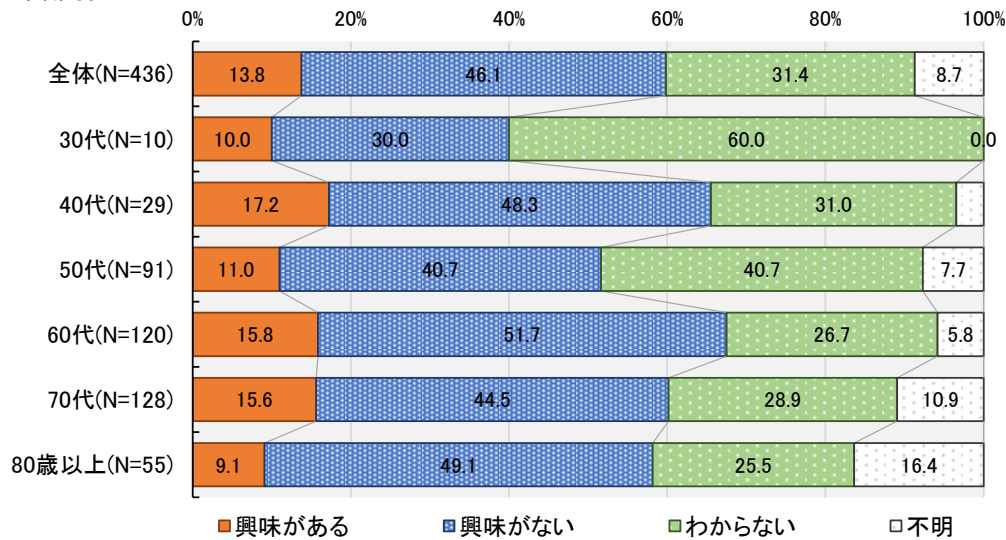
4) 現在お持ちの土地・建物について共同化を検討してみたいというお考えはありますか。(1つに○)

共同化に「興味がある」のは14.3%、「興味がない」は45.6%、「わからない」は31.4%となっており、興味がない人が多くなっています。

年齢別（10・20代を除く）にみると、40・60・70代で「興味がある」の割合が他の年代より高く、30代では「わからない」の割合が6割と高くなっています。



<年齢別クロス>

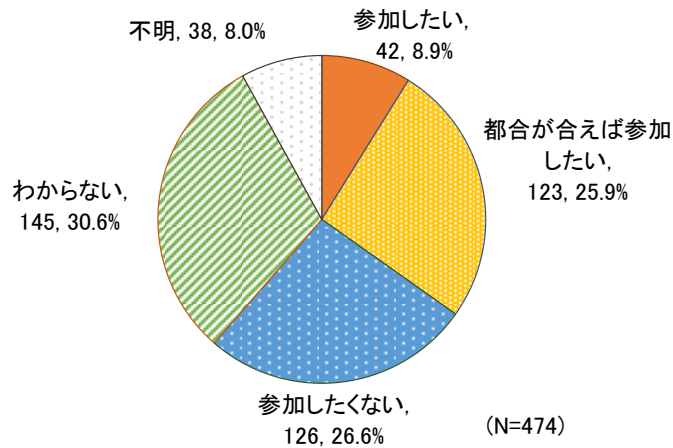


※10代（1件）、20代（2件）は回答者数が少ないため、グラフから省略した。

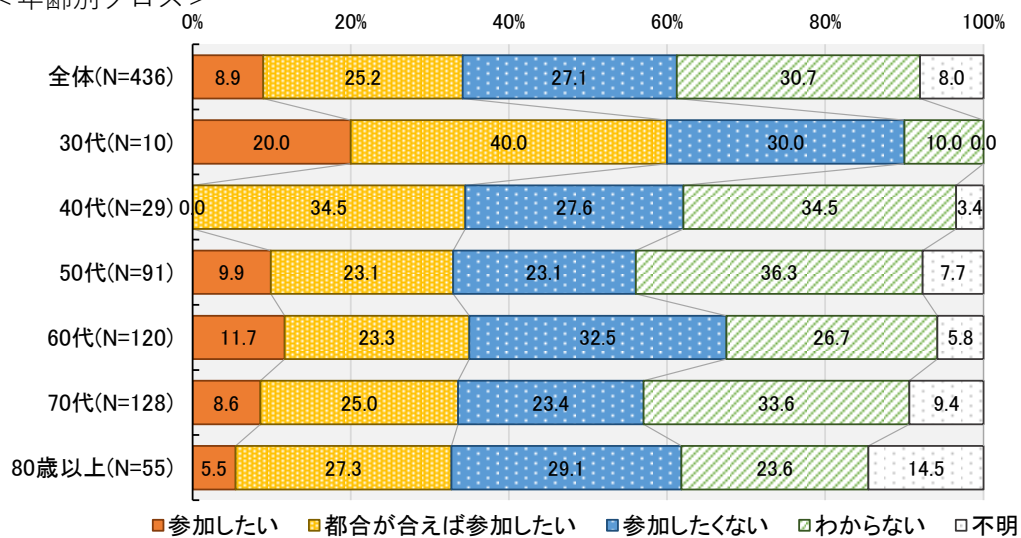
5) 共同化などのまちづくりを考える場（勉強会等）があれば、参加したいと思いますか。（1つに○）

勉強会等への参加については、参加意向がある（「参加したい」と「都合が合えば参加したい」の合計）のは、34.8%となっています。

年齢別（10・20代を除く）にみると、30代で参加意向が高くなっています。



<年齢別クロス>



※10代（1件）、20代（2件）は回答者数が少ないため、グラフから省略した。

3-3. その他意見・自由回答

※▼：現況に対する意見 ○：要望意見（現況に対する改善要望含む）

1 まちづくりに関する意見

まちの現状	▼活気が感じられないまち ▼寂れていく商店街 ▼通勤、通学者のみの利用
駅周辺	○北口開発の促進 ○南口周辺の整備・活性化 ○滞留できる空間の確保 ○歩きたくなるまちづくり
居住・暮らし	▼住宅地不足 ▼高い家賃相場
文化・スポーツ	○文化・芸術・スポーツを感じられるまちづくり
バリアフリー	○ユニバーサルデザインに配慮されたまちづくり
財政	○税金の有効活用

2 交通に関する意見

車道	○通勤時間帯の渋滞緩和
歩道・自転車道	▼駅北口コンビニエンスストア付近での歩行者の乱横断 ○安全に移動できる歩行者、自転車道の整備（分離） ○施設間の移動経路を充実させるデッキの整備 ○通勤時間帯の混雑緩和（分散化） ○電線類地中化による快適な歩道の整備
駐車場・駐輪場	○利便性の高い駐車場の整備 ○駐輪場の有料化による利用環境の向上
駅	○駅ホームの拡幅 ○改札口の増設 ○駅ホーム、改札周辺におけるベンチ等の整備 ○自動車以外による交通アクセスの向上
踏切	○踏切による待機時間の減少
バス	○公共施設連絡バス（かりまる）の増便 ○有料化によるバスの増便

3 施設等に関する意見

商業施設 (飲食店・カフェ)	▼居酒屋の出店過多 ○昼間利用できる飲食店・カフェ等の充実
商業施設 (物販等)	○書店の充実 ○コンビニエンスストアの充実 ○子供連れやファミリーが憩える店舗の充実
レジャー・文化・公共 施設	○ファミリーで遊べる施設の充実 ○銀行等のATMの充実 ○図書館の施設リニューアル ○コンベンションホールやシティホテルの整備 ○インキュベーション（事業創出や創業支援）の拠点整備
空地・スペース等	○北口周辺の休憩等ができるベンチ等の充実 ○駅周辺における滞在できる空間（スペース）の充実 ○イベントができる広場の整備・活用
案内施設等	○周辺施設やエレベーター等への案内表示の改善

4 治安・防犯・環境衛生に関する意見

防犯	○違法駐車・放置自転車の取締り ○街灯・防犯カメラの設置
騒音・ゴミ	▼夜間の喧騒 ○禁煙エリア拡大、路上喫煙・ポイ捨ての取締り
マナー	▼酔払いによるいたづら ○飲食店・風俗店の客引きの取締り ○自転車利用者の交通マナーの向上

5 緑化・水辺環境等に関する意見

緑化	○街路樹の適正な管理 ○植栽の整備促進
水辺環境	○やすらぐ場の整備

6 景観に関する意見

景観形成	○電線類地中化の整備促進 ○調和・統一感のあるまちなみの形成 ○景観等に配慮した店舗等の看板設置
------	--

7 防災に関する意見

災害対応	○帰宅困難者の対応（市と企業の連携） ○災害時の避難スペース
------	-----------------------------------

4. 施設需要調査

4-1. 調査概要

対象地区における将来的な開発の可能性を検討するため、民間事業者及び市担当課を対象に、対象地区の位置づけ、評価、都市機能及び施設用途などの需要について調査を行いました。

<実施時期>

令和2（2020）年8月中旬～10月上旬

<実施対象と方法>

区分		施設	民間事業者など
民間 施設	非住居系	福祉・子育て	福祉事業者・子育て支援事業者など（5社） ・福祉介護事業者（A社） ・住宅供給事業者-高齢者向け住宅-（B社・C社） ・認可保育園事業者（D社） ・通所型福祉事業者（E社）
		商業	商業コンサルタント（3社：F～H社）
	業務(オフィス)	不動産仲介業者（2社：I社・J社）	
	住居系	分譲住宅	住宅供給事業者（7社：K～Q社）
公共施設		行政サービス	市担当課（2課）

4-2. 用途別需要

①福祉・子育て

【福祉事業者・子育て支援事業者など】 5社

ア. 供給エリア（複数回答）

項目	回答		備考
	現在	今後の可能性	
1 駅前	4社	3社	駅前への供給を継続、または新たに検討している企業は多い。
2 駅前以外の中心市街地	1社	2社	
3 郊外	1社	1社	
4 その他	—	1社	

イ. 対象地区への評価

項目	回答	備考
1 高く評価できる	4 社	各社駅前に対する評価は比較的高い。
2 まあまあ評価できる	1 社	
3 あまり評価できない	—	
4 評価できない	—	
5 その他	—	

ウ. 評価理由

企業	回答
A 社	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的には人口は減少だが、高齢化率（後期高齢者の割合含む）は高くなる点で高齢者施設・介護施設の需要は見込まれる。 【2015→2045年の増加率】刈谷市 総人口 1.2% 65歳以上 51.0% 75歳以上 91.6% ※出典：地域医療情報システム
B 社	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅は、公共交通へのアクセスが良く恵まれ、警察、病院、スーパー、コンビニ、文化施設など充実している。 ・駅前には、バローやアピタ、医療施設もあり期待できる区域であるとともに、当社がターゲットとするアクティブシニア層からも評価される立地と捉えている。この地域の多様な要素の集まる地域には高い関心を持っている。
C 社	<ul style="list-style-type: none"> ・JR 東海道本線・名鉄三河線のハブ駅として、刈谷市内への通勤、そして名古屋市内や周辺市町村への通勤に大変便利で、一般の分譲マンションや賃貸マンションに最適な立地である。そのため、子育て世代と高齢者との同居に最適であると考えられる。
D 社	<ul style="list-style-type: none"> ・認可保育所の設置場所は行政の意向が反映され、周辺にも既にあり、新たな話が出てくる感覚ではない。 ・行政からの運営補助があるが、家賃が高い場所は苦しい。 ・周辺に職員と送迎用の駐車場が 20 台程度必要だが、駐車場代は補助対象外で、駐車場代と駐車スペースの確保が困難に思われる。 ・ビルインは開設しやすいが、送迎・通勤ニーズと一致しないし園庭がとれない。ただし、公園があれば代替可能。
E 社	<ul style="list-style-type: none"> ・通所介護は家賃負担が大きい。 ・駐車場の問題もあり、事業者の多くは駅近くの立地を求めるものでもない。 ・介護事業者が単体ではなく、ビル共用部を他の事業者と共有できるといい。 ・介護を学びたいニーズもあり、通勤利便性から駅近くはいい。 ・介護分野の学生とコラボを描いている。学びとバイトの両立ができ将来の介護スタッフの養成にもつながる。

エ. 想定される事業形態

企業	回答
B社	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブシニア向け分譲マンションが考えられる。 ・アクティブシニアがまちづくりに共に貢献する施設構成、多世代が共存するまちづくりに事前に意見交換をさせて頂ければと思う。 ・現状の新型コロナウイルスの影響により福祉施設（老人ホーム等）において当面は新規開拓を見送る見通しが強い。 ・三河地区の戸建在住のシニアは一般の分譲マンションへの住み替えも多い。シニア向けサービスを提供できる分譲マンションは評価されると思う。
C社	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代と高齢者との同居が可能な多世代型複合住宅施設。 ・分譲マンション・賃貸マンション・サービス付き高齢者向け住宅を複合させ、また、利便施設である小規模商業施設やクリニックモール、デイサービス等の通所施設や託児施設を併設させるまちづくりが望ましいと考える。

【参考】西三河地域の高齢者人口の将来予測

(人口単位：人)

	2015年			2045年			増減率		
	総人口	65歳以上	75歳以上	総人口	65歳以上	75歳以上	総人口	65歳以上	75歳以上
刈谷市	149,765	28,538	12,378	151,521	43,083	23,711	1.2%	51.0%	91.6%
碧南市	71,346	16,239	7,849	61,718	20,545	11,745	-13.5%	26.5%	49.6%
安城市	184,140	36,154	15,791	187,017	55,637	30,527	1.6%	53.9%	93.3%
知立市	70,501	13,695	6,191	71,942	20,984	11,644	2.0%	53.2%	88.1%
高浜市	46,236	8,802	4,297	51,926	14,307	7,565	12.3%	62.5%	76.1%
西尾市	167,990	40,312	18,828	165,308	51,106	28,401	-1.6%	26.8%	50.8%
計	689,978	143,740	65,334	689,432	205,662	113,593	-0.1%	43.1%	73.9%

出典：「地域医療情報システム」日本医師会

注：75歳以上（後期高齢者人口）人口には65歳以上人口も含む

②商業

【商業コンサルタント】3社

ア. 対象地区への評価

項目	回答	備考
1 高く評価できる	1社	各社駅前に対する評価は比較的高い。
2 まあまあ評価できる	2社	
3 あまり評価できない	—	
4 評価できない	—	
5 その他	—	

イ. 評価理由

企業	回答	立地可能性用途・賃料水準
F社	<ul style="list-style-type: none"> 立地としては、検討可能であるが、現段階で具体的な区画や敷地面積等が特定できないので、あくまでイメージ。 	事務所、物販店、飲食店
G社	<ul style="list-style-type: none"> 周辺人口が少なく周辺道路交通量や乗降客数をみても商業施設の成立性は厳しい。 平面駐車場が整備できれば、どうにか出店検討の可能性はある。 SM(スーパーマーケット)が出店した場合はSMを集客核として、他のテナントも出店検討となる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> SM+専門店等の出店は可能で、1,000坪～1,600坪が理想。200～700坪でも検討は可能。賃料6～8千円/月坪程度(共益費込) その他の業種 <ul style="list-style-type: none"> a コンビニ：70坪程度 7～12千円 b ドラッグ：150～300坪 8～10千円 c 100均：150～250坪 6～8千円 d 美容院：30～50坪 7～8千円 e その他サービス業 等
H社	<ul style="list-style-type: none"> 将来的にポテンシャルの高い商圏になる可能性がある。 既存市街地のため土地の高度利用を図ることが可能と考える。 今後開発は駅北側の低層建物の建て替え、飲食店等の誘致で中高層の商業ビルを建設することが考えられる。 東西南北動線が線路により分断されている。駅前集客を前提とした開発がポイントである。 住宅より工場が多く大手企業の就業者や出張等関係者が、駅前周辺に何を求めているのかヒアリングが必要。 ユニクロや無印良品等のリテーラー店舗が市内になく、その要因の調査が考えられる。 	

③業務（オフィス）

【不動産（主に事務所）仲介事業者】 2社

ア. 対象地区への評価

項目	回答	備考
1 高く評価できる	—	各社駅前に対する評価は比較的高い。
2 まあまあ評価できる	2社	
3 あまり評価できない	—	
4 評価できない	—	
5 その他	—	

イ. 評価理由

企業	回答	立地可能性用途・賃料水準
I社	・ 駅半径 500m とのことであり、駅北側であれば高く評価できるが、駅南側であれば高く評価できないため当該回答とした。	1 事務所：9～11 千円/月坪 2 物販店：10～12 千円/月坪 3 飲食店：11～15 千円/月坪 4 サービス：9～11 千円/月坪 5 教育：9～11 千円/月坪
J社	・ 自動車製造関連企業が集積するエリアであり、これらの企業グループ会社、その取引先等も含め、まだニーズがあると思われる。	1 事務所：7～11 千円/月坪 4 サービス：7～11 千円/月坪 5 教育：7～11 千円/月坪

④分譲住宅

【住宅供給事業者】 7社

ア. 供給エリア（複数回答）

項目	回答		備考
	現在	今後の可能性	
1 駅前	5社	7社	駅前への供給を継続、または新たに検討している企業は多い。
2 駅前以外の中心市街地	4社	4社	
3 郊外	1社	1社	
4 その他	—	—	

イ. 対象地区への評価

項目	回答	備考
1 高く評価できる	7社	各社駅前に対する評価は高い。
2 まあまあ評価できる	—	
3 あまり評価できない	—	
4 評価できない	—	
5 その他	—	

ウ. 評価理由

企業	回答
K社	・JR・名鉄の2路線があり、又、自動車製造関連企業の集積もある環境下で住宅需要は今後も見込まれる。
L社	・自動車製造関連企業があることから、属性の高い購入者を相当数期待できる。 ・過去に供給された物件の販売進捗が早い。 ・人口、乗降客の増加傾向から今後も相当数の需要を見込むことができる。
M社	・自動車製造関連企業の事業所等が多数立地し、刈谷駅乗降客数7万人/日は三河エリアにおいて最もマンション需要が旺盛なエリアと考える。 ・複数の再開発事業等の実施やデッキ整備が行われ、駅前利便性の集積が進んでおり更なるまちの発展が期待できる。
N社	・当地区は売土地の情報が少なく稀に出ても高額で取引されている。 ・自動車製造関連企業社員が優良な推定顧客となり、一定需要が見込めるエリアと評価。過去の分譲実績を鑑みても一定の供給をしてきたい。
O社	・JR刈谷駅は名古屋方面(名古屋駅、金山駅)や岡崎方面へのアクセスが良好である。
P社	・今後の少子高齢化を踏まえ、駅前居住ニーズが高まると予想される。 ・アフターコロナの景気変動リスクを考へても資産価値の高い刈谷駅周辺は立地優位性があると判断している。

Q社	<ul style="list-style-type: none"> 自動車製造関連企業の本社集積地区であり、生活利便施設や行政も集積しているため、公私共に住居として適している。 県外出身者も多く、将来の売却に備えたマンション購入を検討する方が近年多い。 コロナ禍の中で収入減が懸念されるが刈谷駅周辺企業であれば、給与水準が高く購入の可能性がある。
----	---

エ. 供給対象

企業	供給対象	供給戸数	価格水準	
			販売価格帯	坪単価
K社	<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市を中心として隣接する西三河地区を含む地域に居住するファミリー層 	約 100~200 戸	35~50 百万円	170~190 万円
L社	<ul style="list-style-type: none"> 自動車製造関連企業に務める30歳前後の2~3人家族 共働きで名駅、金山方面勤務者 	50~100 戸	40 百万円前後	180~190 万円
M社	<ul style="list-style-type: none"> ファミリー層、DINKS(子供を持たない夫婦)等の一次取得者からシニア層の郊外戸建からの住替え、富裕層の投資ニーズ等 	300 戸以下	45~55 百万円	200~230 万円
N社	<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市、知立市、安城市在住の一次取得者層 	概ね 150 戸	43 百万円	200 万円
O社	<ul style="list-style-type: none"> 自動車製造関連企業や名古屋方面勤務のホワイトカラー 	150 戸	50 百万円	200 万円
P社	<ul style="list-style-type: none"> 刈谷周辺の大手企業勤務のファミリー層 西三河エリア郊外戸建からの住替え層 	年 200 戸	42~50 百万円	180~210 万円
Q社	<ul style="list-style-type: none"> 自動車製造関連企業の独身・DINKS(子供を持たない夫婦)・ファミリー・シニア(住替え) 	30~50 戸/棟を 年間 1、2 棟	場所にもよるが 40 百万円	180~200 万円

注：価格水準の坪単価は住戸専有面積あたりの金額

⑤行政サービス

区分	公共	担当課	長寿課 高齢福祉係
名称	地域包括支援センター (刈谷東中学校区内)	規模	延床面積 約 80 m ²
内容	<p>令和2(2020)年7月1日に市内6か所目の地域包括支援センターとなる朝日地域包括支援センターを開設するが、刈谷南中学校区に中央(ひまわり内)・中部(刈谷豊田総合病院内)の2か所となっているため、1か所を刈谷東中学校区に移設することにより、各中学校区に1か所の地域包括支援センターを持つことができ、より地域に密着した高齢者福祉を実現できる。</p>		

区分	公共	担当課	文化観光課 観光係
名称	刈谷駅前観光案内所	規模	約 100 m ² ～約 200 m ²
内容	<p>(必須) 観光案内スペース [約 80～100 m² (受付、土産品販売等スペース含む)] (必須) バックヤード [約 15 m²] (可能であれば) 展示スペース等 [約 30～50 m²] (主な業務) 観光情報発信業務、観光案内業務、土産品販売業務 レンタサイクル貸出業務</p> <p>現在、産業振興センター1階で仮設の位置づけで、観光協会(事務局:文化観光課)が運営している。しかし、本設置するため、駅前アクセスの良い候補地を探している。</p>		

⑥対象地区のまちづくり等への意見

区分	事業者	内 容
福祉事業者	A社	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅は、公共交通のアクセスは大変良く、行政機能、病院、スーパー、コンビニなども揃い、また駅前のバローやアピタに医療施設もあり充実している。大企業の本社や飲食店も多く人は賑わっているが、居酒屋、風俗店などが見られ、治安問題、昨今の新型コロナウイルスの影響も懸念される。 ・シニア世代にとって同世代のみならず多世代での交流・コミュニティ形成は、より暮らしを豊かにする大きな要素となる。 ・駅前というキーワードで生活するのではなく、利便性の向上を図る多様な機能、回遊性のあるまちづくり、イベントへの参加などを必要とするが、今後、賑わいのある刈谷駅を with コロナとしてのまちづくりをどのように考えていくのか。
	C社	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅南には、既に新しく商業施設ができ、クリニック等も充実している。しかし、それに比べて刈谷駅北には商業施設も便利施設も少なく、飲食街のみが充実しているのが現状。 ・企業の大規模工場や社屋により、商圈が分断され、大規模商業施設の出店用地も得難いものとなっている。 ・住宅施設を中心とした施設に地域密着型の商業便利施設を併設させた複合開発が望ましいと思われる。
	E社	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前、都心にある機能とのシェアにより、事業コスト削減につなげ事業展開の可能性を広げられないか。 ・介護事業へ国の方針は決まっているが地方自治体独自に施策を講じてもらいたい。 ・施設及び運営への補助がほしい。 ・福祉事業と学生とのコラボの場としては有効。事業所で学び駅から通学も容易にできる。 ・刈谷市駅周辺、銀座地区に人を歩かせる仕組みとして、古い地図とまちなみを重ね歴史文化を紹介するアプリをつくる。その情報発信拠点として銀座タワーを活用してほしい。 ・駅中心部の“交流ゾーン”に。色々と交流できる仕組みができるといい。

区分	事業者	内 容
商業コ ンサル タント	F 社	<ul style="list-style-type: none"> ・東海圏は車社会と言われ、特に中部地区（特に三河地区）は、その傾向が顕著なため、店舗等を誘致するには、店舗事業者から十分な駐車場（平面）の確保が求められる。 ・店舗等と住宅を同一敷地内で複合開発として計画する場合、土地利用率と土地代負担率の逆転現象が起こり、事業収支が成り立たないケースが多い。 ・商業施設等の誘致を検討する場合には複合開発は避け、用途別に街区を分けることが望ましいと考える。
	H 社	<ul style="list-style-type: none"> ・整備を行えば、ポテンシャルは高い地区であると考ええる。 ・低層低密度の使い方をしているので、権利関係が複雑であると考ええる。一つにまとめるには行政の力が必要かと思われる。 ・刈谷市が総合計画をまとめているため、市の流れを把握するのも手である。
不動産 仲介事 業者	I 社	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバックスタワーが、竣工すると雰囲気は全く変わると思う。現況では、低層の建物が多くコインパーキング用地も散見され、有効活用度合いが非常に低い。 ・飲食店、キャバクラ等も建ち並び、若干雑多なまちなみになっていると言える。
住宅デ ベロッ パー	K 社	<ul style="list-style-type: none"> ・駅南地区は、一部街区においては住宅の密集が未だ解消されていない街区もあるものの、刈谷市役所や総合文化センターを始めとする公益施設や商業施設等が整備されている。 ・駅北地区は、密集した街区が細分化されており、街区の集約による一体化、また街区ごとに商業・オフィス・住宅といったゾーニング分けをすることにより、一層活性化及び魅力付けが出来るのではないかと感じている。
	L 社	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 22（2010）年～令和 2（2020）年における分譲マンション供給（刈谷駅徒歩 10 分圏内）の年平均が 30 戸程度しかない。自動車製造関連企業が付近にあり、刈谷市の総人口、刈谷駅の乗降客数の増加傾向から今後も周辺地域に毎年相当数の人口流入が期待できる。 ・潜在需要に供給が追い付いていないと考察される。また、住宅に限らず駅前前の土地の高度利用、都市機能の集積を更に図ってもよいのではないかと。
	M 社	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅周辺については、すでに一定の商業・業務機能の集積が行われており、加えて総合文化センターなどの市民交流施設が整備されるなど、都市機能が駅前に集約することによる魅力あるまちづくりが行われているエリアと考えられる。 ・更なる駅前の魅力付けのためには、駅北口周辺などエリア内の一部で散見される低未利用地について、市街地再開発事業などのスキームを利用し、一体的な再整備をより一層推進していくことが望ましいと考える。

区分	事業者	内 容
住宅デベロッパー	P 社	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店ビル等の小規模ビル開発が幅を利かせている。(コロナの影響で鎮静化と予想) ・駅前エリアは、土地の共同化による大・中規模開発が望ましいと思う。 ・優良建築物等整備事業等による再開発事業をもっと積極的に展開したいと考えている。 ・商業地域内で敷地面積・規模に応じた容積率割増地域を設定してはどうか。(一定の用途制限)
	Q 社	<ul style="list-style-type: none"> ・現状でも魅力的ですが、お願いできるとすれば、交通渋滞の緩和をお願いしたい。 ・刈谷駅周辺でも車の利用がメインのお客様が多くいるので、使いやすい道路整備はまちの魅力アップにつながると思う。 ・防災の観点からであれば、電柱の地中化による災害時の障害防止や、歩道・車道の快適性や美観も魅力につながるのではないか。 ・用途地域についても建ぺい率・容積率の緩和はマンション開発にとっては、とても良い。一方で土地が高騰することも懸念されるが、まちづくりとしては、駅前らしいまちなみが作れると思う。

5. 巻末資料（調査票）

まちづくり意向調査、施設需要調査に用いた調査票は次頁以降の通りです。

刈谷駅周辺のまちづくりに関する アンケート調査 ～ご協力のお願い～

日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市の刈谷駅周辺においては、平成30年に策定した中心市街地まちづくり基本計画に基づき「人を引き寄せる、回遊とにぎわいのあるまちづくり」を目指し、取組を進めております。刈谷駅北口では刈谷駅北地区での市街地再開発事業や刈谷駅前線の改良工事などを現在進めております。今後も様々な取組を進め、目指すべきまちづくりの更なる促進に向けた検討を行うため、刈谷駅周辺に土地や建物をお持ちの方、刈谷駅を利用される方を対象に、まちづくりに関するアンケート調査へのご協力をお願いしております。

ご回答いただいた内容は、まちづくりの検討のために取り扱いさせていただくものであり、当調査の目的以外のご利用や、回答者の個人情報外部に漏れることは一切ございません。

令和2年1月 刈谷市長

ご回答にあたってのお願い

- 記入の方法は、該当する番号を1つ選んで○で囲んでください。数が指定されている場合は、その数だけ選んで、番号を○で囲んでください。
- お答えに該当するものがない場合は、「その他」に具体的に記入してください。
- 記入後は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、**2月1日(土)までに、ポストに投函**してください。
- 調査に関してご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

刈谷市役所 都市政策部 市街地整備課 石川、宮下

TEL(0566)62-1025(直通) FAX(0566)23-9331

Email shigaichi@city.kariya.lg.jp

I 刈谷駅周辺のまちの現状について

問1 刈谷駅や刈谷駅周辺を利用する目的を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 通勤(刈谷駅から歩いて職場に向かう) | 6. 買い物や飲食 |
| 2. 通勤(刈谷駅から鉄道やバスに乗って職場に向かう) | 7. 娯楽・レジャー |
| 3. 業務(営業や打合せ) | 8. イベント |
| 4. 通学 | 9. 駅南北間の通過 |
| 5. 待ち合わせ・送迎 | 10. その他() |

問2 刈谷駅や刈谷駅周辺に来る頻度はどの程度ですか。(1つに〇)

- | | | |
|----------------|----------|----------|
| 1. ほぼ毎日(週4日以上) | 2. 週2~3日 | 3. 週1日 |
| 4. 月1日 | 5. 年数回 | 6. 年数回未満 |

問3 刈谷駅周辺のまちの満足度を教えてください。(①~⑯について、それぞれ1つに〇)

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
① 居住地としての住みやすさ	6	5	4	3	2	1
② 買い物の便利さ	6	5	4	3	2	1
③ 飲食店の利用	6	5	4	3	2	1
④ 文化・芸術施設の利用	6	5	4	3	2	1
⑤ 医療、子育て、福祉施設の利用のしやすさ	6	5	4	3	2	1
⑥ 鉄道やバスなどの使いやすさ	6	5	4	3	2	1
⑦ 自転車の利用のしやすさ	6	5	4	3	2	1
⑧ 歩道の歩きやすさ	6	5	4	3	2	1
⑨ 公園や広場の利用	6	5	4	3	2	1
⑩ 緑や水などの自然の身近さや豊かさ	6	5	4	3	2	1
⑪ まち並み・景観の美しさ	6	5	4	3	2	1
⑫ イベントや祭りの開催	6	5	4	3	2	1
⑬ 自然災害に対する備え	6	5	4	3	2	1
⑭ 治安の良さ	6	5	4	3	2	1
⑮ 駅前広場の利用	6	5	4	3	2	1
⑯ 総合的な評価	6	5	4	3	2	1

II 刈谷駅周辺の今後のまちづくりについて

問4 刈谷市では、刈谷駅周辺において「活気とにぎわいのあるまち」を目指して、まちづくりに取り組んでいます。

現在の刈谷駅周辺は、活気とにぎわいがあると思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

問5 今後、刈谷駅周辺がどのようなまちになるとよいと思いますか。(〇は3つまで)

- | |
|---|
| 1. にぎわいのある商店や飲食店のあるまち
2. 銀行や病院などの生活利便施設が充実したまち
3. マンションをはじめ便利な住環境が整備されたまち
4. 安全に歩ける、歩いて楽しいまち
5. まちなみに統一感のあるまち
6. 人が集まれる場所(オープンカフェやイベントスペースなど)のある交流のあるまち
7. 緑のあるうらおいや安らぎを感じられるまち
8. いろいろな企業のオフィスがある働きやすいまち
9. 刈谷市の個性を生かした歴史や文化を感じられるまち
10. その他() |
|---|

問6 刈谷駅周辺で、今後特に充実したほうがよい施設や機能は何だと思いますか。

(〇は3つまで)

- | | |
|---|--|
| 1. スーパーやコンビニなどの買い物施設
2. 百貨店やデパートなどの大型店舗
3. 専門店(ファッション、スイーツ等)
4. レストランやカフェなどの飲食店
5. オフィスや事務所
6. マンションなどの住宅
7. 大学、専門学校などの教育施設
8. ホールや美術館などの文化・芸術施設
9. カラオケや映画館などの娯楽施設
10. 図書館などの学習施設 | 11. ホテルなどの宿泊施設
12. デイサービスセンターなどの老人福祉施設
13. 病院やクリニックなどの医療施設
14. 保育園や託児所などの子育て支援施設
15. 公園や広場などのオープンスペース
16. 植栽などの緑
17. 災害時の避難スペース
18. より使いやすい駅前広場や駐輪場
19. 特にない |
| その他 | |

あなたご自身について

問A 性別 (1つに○)

1. 男性 2. 女性

問B 年齢 (1つに○)

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80歳以上

問C 職業 (1つに○)

1. 自営業 2. 会社員・公務員等 3. パート・アルバイト 4. 主婦・主夫
5. 学生 6. 無職 7. その他 ()

問D 住まい (1つに○)

1. 刈谷市内 → () 町 ※番地は不要
2. 刈谷市外 (愛知県内) → () 市・町・村
3. 愛知県外 → () 都・道・府・県

問E 問Dで「1. 刈谷市内」と答えた方にお伺いします。

刈谷市内に住んで、通算何年になりますか。(1つに○)

1. 半年未満 2. 半年以上1年未満 3. 1年以上5年未満
4. 5年以上10年未満 5. 10年以上20年未満 6. 20年以上

問F 家族構成 (1つに○)

1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親子二世帯 (二世帯)
4. 親子孫三世帯 (三世帯) 5. 兄弟・姉妹
6. その他 ()

刈谷駅周辺のまちづくりについて、ご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力誠にありがとうございました。
本調査票は、返信用封筒に入れて**2月1日(土)**までにポストにご投函下さい。(切手不要)

刈谷駅周辺のまちづくりに関するアンケート調査票

以下の設問にお答えください。

I 刈谷駅周辺のまちの現状について

問1 刈谷駅周辺のまちの満足度を教えてください。(①～⑯について、それぞれ1つに○)

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
① 居住地としての住みやすさ	6	5	4	3	2	1
② 買い物の便利さ	6	5	4	3	2	1
③ 飲食店の利用	6	5	4	3	2	1
④ 文化・芸術施設の利用	6	5	4	3	2	1
⑤ 医療、子育て、福祉施設の利用のしやすさ	6	5	4	3	2	1
⑥ 鉄道やバスなどの使いやすさ	6	5	4	3	2	1
⑦ 自転車の利用のしやすさ	6	5	4	3	2	1
⑧ 歩道の歩きやすさ	6	5	4	3	2	1
⑨ 公園や広場の利用	6	5	4	3	2	1
⑩ 緑や水などの自然の身近さや豊かさ	6	5	4	3	2	1
⑪ まち並み・景観の美しさ	6	5	4	3	2	1
⑫ イベントや祭りの開催	6	5	4	3	2	1
⑬ 自然災害に対する備え	6	5	4	3	2	1
⑭ 治安の良さ	6	5	4	3	2	1
⑮ 駅前広場の利用	6	5	4	3	2	1
⑯ 総合的な評価	6	5	4	3	2	1

問2 刈谷駅周辺に住みたい、もしくは今後も住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

Ⅱ 刈谷駅周辺の今後のまちづくりについて

問3 刈谷市では、刈谷駅周辺において「活気とにぎわいのあるまち」を目指して、まちづくりに取り組んでいます。

現在の刈谷駅周辺は、活気とにぎわいがあると思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

問4 今後、刈谷駅周辺がどのようなまちになるとよいと思いますか。(〇は3つまで)

- | |
|---|
| 1. にぎわいのある商店や飲食店のあるまち |
| 2. 銀行や病院などの生活利便施設が充実したまち |
| 3. マンションをはじめ便利な住環境が整備されたまち |
| 4. 安全に歩ける、歩いて楽しいまち |
| 5. まちなみに統一感のあるまち |
| 6. 人が集まれる場所(オープンカフェやイベントスペースなど)のある交流のあるまち |
| 7. 緑のあるうらおいや安らぎを感じられるまち |
| 8. いろいろな企業のオフィスがある働きやすいまち |
| 9. 刈谷市の個性を生かした歴史や文化を感じられるまち |
| 10. その他() |

問5 刈谷駅周辺で、今後特に充実したほうがよい施設や機能は何だと思いますか。

(〇は3つまで)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. スーパーやコンビニなどの買い物施設 | 11. ホテルなどの宿泊施設 |
| 2. 百貨店やデパートなどの大型店舗 | 12. ティサービスセンターなどの老人福祉施設 |
| 3. 専門店(ファッション、スイーツ等) | 13. 病院やクリニックなどの医療施設 |
| 4. レストランやカフェなどの飲食店 | 14. 保育園や託児所などの子育て支援施設 |
| 5. オフィスや事務所 | 15. 公園や広場などのオープンスペース |
| 6. マンションなどの住宅 | 16. 植栽などの緑 |
| 7. 大学、専門学校などの教育施設 | 17. 災害時の避難スペース |
| 8. ホールや美術館などの文化・芸術施設 | 18. より使いやすい駅前広場や駐輪場 |
| 9. カラオケや映画館などの娯楽施設 | 19. 特にない |
| 10. 図書館などの学習施設 | |

その他

Ⅲ 刈谷駅周辺で所有している土地・建物について

問6 現在、刈谷駅周辺でお持ちの土地・建物の所有者名義はどれにあたりますか。土地・建物が複数箇所にある場合は、主たるもの1つについてお答えください。（1つに○）

1. 単独個人 2. 法人 3. 複数個人 4. その他（ ）

問7 問6でお答えいただいた土地・建物の利用状況を教えてください。（○はいくつでも）

1. 自宅 2. 自営事業所・店舗 3. 貸家
4. 貸事務所・店舗 5. 貸駐車場 6. 貸地
7. 倉庫や物置 8. 空き地・空き家
9. その他（ ）

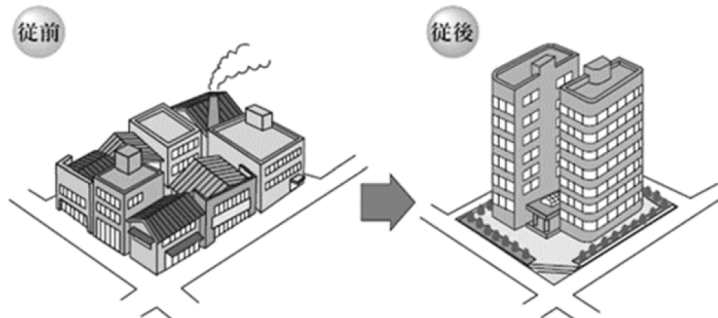
問8 問6でお答えいただいた土地・建物の今後の活用についてのお考えを教えてください。（1つに○）

1. 現状以上に有効利用をはかりたい（自己利用）
2. 現状以上に有効利用をはかりたい（賃貸）
3. 現状のままの利用を考えている
4. 特に考えていない
5. その他（ ）

問9 現在お持ちの土地・建物について共同化を検討してみたいというお考えはありますか。（1つに○）

1. 興味がある 2. 興味がない 3. わからない

<共同化のイメージ>



問10 共同化などのまちづくりを考える場（勉強会等）があれば、参加したいと思いますか。（1つに○）

1. 参加したい 2. 都合が合えば参加したい 3. 参加したくない 4. わからない

IV 回答者ご自身について

■ 個人の方はこちらにお答えください。(それぞれ1つに○)

性 別	1. 男性	2. 女性		
年 齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代
	5. 50代	6. 60代	7. 70代	8. 80歳以上
職 業	1. 自営業	2. 会社員・公務員等	3. パート・アルバイト	
	4. 主婦・主夫	5. 学生	6. 無職	
	7. その他 ()			
住 ま い	1. 刈谷市内	→ () 町	※番地は不要	
	2. 刈谷市外(愛知県内)	→ () 市・町・村		
	3. 愛知県外	→ () 都・道・府・県		
刈谷市内 で の 居住年数	1. 半年未満	2. 半年以上1年未満		
	3. 1年以上5年未満	4. 5年以上10年未満		
	5. 10年以上20年未満	6. 20年以上		
家 族 構 成	1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ		
	3. 親子二世帯(二世帯)	4. 親子孫三世帯(三世帯)		
	5. 兄弟・姉妹	6. その他 ()		

■ 法人の方はこちらにお答えください。(それぞれ1つに○)

本 社 所 在 地	1. 刈谷市内	→ () 町	※番地は不要	
	2. 刈谷市外(愛知県内)	→ () 市・町・村		
	3. 愛知県外	→ () 都・道・府・県		
業 種	1. 建設業	2. 製造業	3. 電気・ガス・水道業	
	4. 運輸・通信業	5. 卸売・小売業	6. 金融・保険業	
	7. 不動産業	8. サービス業	9. その他 ()	
従 業 員 数	1. 5人以下	2. 6~50人	3. 51~100人	
	4. 101~300人	5. 301~1,000人	6. 1,001人以上	

刈谷駅周辺のまちづくりについて、ご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力誠にありがとうございました。

本調査票は、返信用封筒に入れて2月1日(土)までにポストにご投函下さい。(切手不要)

刈谷駅周辺のまちづくりに関する アンケート調査 ～ご協力をお願いします～

日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市の刈谷駅周辺においては、平成30年に策定した中心市街地まちづくり基本計画に基づき「人を引き寄せる、回遊とにぎわいのあるまちづくり」を目指し、取組を進めております。刈谷駅北口では刈谷駅北地区での市街地再開発事業や刈谷駅前線の改良工事などを現在進めております。今後も様々な取組を進め、目指すべきまちづくりの更なる促進に向けた検討を行うため、刈谷駅周辺にお住まいの方に、まちづくりに関するアンケート調査へのご協力をお願いしております。

ご回答いただいた内容は、まちづくりの検討のために取り扱いさせていただくものであり、当調査の目的以外のことで使用したり、回答者の個人情報が外部に漏れることは一切ございません。

令和2年1月 刈谷市長

ご回答にあたってのお願い

- 記入の方法は、該当する番号を1つ選んで○で囲んでください。数が指定されている場合は、その数だけ選んで、番号を○で囲んでください。
- お答えに該当するものがない場合は、「その他」に具体的に記入してください。
- 記入後は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、**2月1日(土)までに、ポストに投函**してください。
- 調査に関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

刈谷市役所 都市政策部 市街地整備課 石川、宮下

TEL(0566)62-1025(直通) FAX(0566)23-9331

Email shigaichi@city.kariya.lg.jp

I 刈谷駅周辺のまちの現状について

問1 刈谷駅や刈谷駅周辺を利用する目的を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 通勤(刈谷駅から歩いて職場に向かう) | 6. 買い物や飲食 |
| 2. 通勤(刈谷駅から鉄道やバスに乗って職場に向かう) | 7. 娯楽・レジャー |
| 3. 業務(営業や打合せ) | 8. イベント |
| 4. 通学 | 9. 駅南北間の通過 |
| 5. 待ち合わせ・送迎 | 10. その他() |

問2 刈谷駅や刈谷駅周辺を利用する頻度はどの程度ですか。(1つに〇)

- | | | |
|----------------|----------|----------|
| 1. ほぼ毎日(週4日以上) | 2. 週2~3日 | 3. 週1日 |
| 4. 月1日 | 5. 年数回 | 6. 年数回未満 |

問3 刈谷駅周辺のまちの満足度を教えてください。(①~⑯について、それぞれ1つに〇)

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
① 居住地としての住みやすさ	6	5	4	3	2	1
② 買い物の便利さ	6	5	4	3	2	1
③ 飲食店の利用	6	5	4	3	2	1
④ 文化・芸術施設の利用	6	5	4	3	2	1
⑤ 医療、子育て、福祉施設の利用のしやすさ	6	5	4	3	2	1
⑥ 鉄道やバスなどの使いやすさ	6	5	4	3	2	1
⑦ 自転車の利用のしやすさ	6	5	4	3	2	1
⑧ 歩道の歩きやすさ	6	5	4	3	2	1
⑨ 公園や広場の利用	6	5	4	3	2	1
⑩ 緑や水などの自然の身近さや豊かさ	6	5	4	3	2	1
⑪ まち並み・景観の美しさ	6	5	4	3	2	1
⑫ イベントや祭りの開催	6	5	4	3	2	1
⑬ 自然災害に対する備え	6	5	4	3	2	1
⑭ 治安の良さ	6	5	4	3	2	1
⑮ 駅前広場の利用	6	5	4	3	2	1
⑯ 総合的な評価	6	5	4	3	2	1

II 刈谷駅周辺の今後のまちづくりについて

問4 刈谷市では、刈谷駅周辺において「活気とにぎわいのあるまち」を目指して、まちづくりに取り組んでいます。

現在の刈谷駅周辺は、活気とにぎわいがあると思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

問5 今後、刈谷駅周辺がどのようなまちになるとよいと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---|--|
| 1. にぎわいのある商店や飲食店のあるまち | |
| 2. 銀行や病院などの生活利便施設が充実したまち | |
| 3. マンションをはじめ便利な住環境が整備されたまち | |
| 4. 安全に歩ける、歩いて楽しいまち | |
| 5. まちなみに統一感のあるまち | |
| 6. 人が集まれる場所(オープンカフェやイベントスペースなど)のある交流のあるまち | |
| 7. 緑のあるうらおいや安らぎを感じられるまち | |
| 8. いろいろな企業のオフィスがある働きやすいまち | |
| 9. 刈谷市の個性を生かした歴史や文化を感じられるまち | |
| 10. その他 () | |

問6 刈谷駅周辺で、今後特に充実したほうがよい施設や機能は何だと思いますか。

(〇は3つまで)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. スーパーやコンビニなどの買い物施設 | 11. ホテルなどの宿泊施設 |
| 2. 百貨店やデパートなどの大型店舗 | 12. デイサービスセンターなどの老人福祉施設 |
| 3. 専門店(ファッション、スイーツ等) | 13. 病院やクリニックなどの医療施設 |
| 4. レストランやカフェなどの飲食店 | 14. 保育園や託児所などの子育て支援施設 |
| 5. オフィスや事務所 | 15. 公園や広場などのオープンスペース |
| 6. マンションなどの住宅 | 16. 植栽などの緑 |
| 7. 大学、専門学校などの教育施設 | 17. 災害時の避難スペース |
| 8. ホールや美術館などの文化・芸術施設 | 18. より使いやすい駅前広場や駐輪場 |
| 9. カラオケや映画館などの娯楽施設 | 19. 特にない |
| 10. 図書館などの学習施設 | |
| その他 | |

あなたご自身について

問 A 性別 (1つに○)

1. 男性 2. 女性

問 B 年齢 (1つに○)

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80歳以上

問 C 職業 (1つに○)

1. 自営業 2. 会社員・公務員等 3. パート・アルバイト 4. 主婦・主夫
5. 学生 6. 無職 7. その他 ()

問 D 住まい (1つに○)

1. 刈谷市内 → () 町 ※番地は不要
2. 刈谷市外 (愛知県内) → () 市・町・村
3. 愛知県外 → () 都・道・府・県

問 E 問 D で「1. 刈谷市内」と答えた方にお伺いします。

刈谷市内に住んで、通算何年になりますか。(1つに○)

1. 半年未満 2. 半年以上1年未満 3. 1年以上5年未満
4. 5年以上10年未満 5. 10年以上20年未満 6. 20年以上

問 F 家族構成 (1つに○)

1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親子二世帯 (二世帯)
4. 親子孫三世帯 (三世帯) 5. 兄弟・姉妹
6. その他 ()

刈谷駅周辺のまちづくりについて、ご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力誠にありがとうございました。

本調査票は、返信用封筒に入れて2月1日(土)までにポストにご投函下さい。(切手不要)

5-2. 施設需要調査票

調査票①

■刈谷駅周辺地区への施設需要等に関する調査（社会福祉法人）

該当する番号に○印、かっこ内にご記入をお願いします。

問1 貴法人としての、事業エリアについて、現在の方針と今後の可能性をお聞かせください。
（複数回答可）

【現在の立地形態】			
1. 駅前	2. 駅前以外の中心市街地	3. 郊外	4. その他（ ）

【今後の可能性】			
1. 駅前	2. 駅前以外の中心市街地	3. 郊外	4. その他（ ）

問2 刈谷駅周辺地区（別図）について、貴法人の事業所立地先としての評価をお聞かせください。
あわせてその理由もお聞かせください。

1 高く評価できる	2 まあまあ評価できる	3 あまり評価できない
4 評価できない	5 わからない	

(理由)		

問3 問2で「1 高く評価できる」または「2. まあまあ評価できる」と回答された方にお聞き
します。刈谷駅周辺地区で開設が考えられる事業形態についてお聞かせください。（複数回答可）

記入例
（特別養護老人ホーム）等、具体的な事業名称、規模等

調査票②

■刈谷駅周辺地区への施設需要等に関する調査（商業コンサルタント/不動産仲介事業者）

該当する番号に○印、かっこ内にご記入をお願いします。

問1 刈谷駅周辺地区（別図）における、テナント（店舗または事務所）立地先としての評価をお聞かせください。また、あわせてその理由もお聞かせください。

1 高く評価できる	2 まあまあ評価できる	3 あまり評価できない
4 評価できない	5 わからない	
(理由)		

問2 今後、刈谷駅周辺地区で再開発事業等が進められた場合に貴社で非住宅系の施設を誘致する上で成立可能性がある業態は何が考えられますか。その場合の規模、賃料水準についてもお聞かせください。

（成立可能性があると考えられる業態について複数回答可）

1	事務所	規模（	）坪	賃料（	）千円/坪
2	物販店	規模（	）坪	賃料（	）千円/坪
3	飲食店	規模（	）坪	賃料（	）千円/坪
4	サービス	規模（	）坪	賃料（	）千円/坪
5	教育	規模（	）坪	賃料（	）千円/坪
6	その他（				
		規模（	）坪	賃料（	）千円/坪

※賃料には、共益費・消費税は含まない金額をご記入ください。

調査票③

■刈谷駅周辺地区への施設需要等に関する調査（住宅供給事業者）

刈谷市では、刈谷駅周辺地区（別図）を対象として、将来的なまちづくりの可能性を検討する調査を実施しております。つきましては、各種分野の事業者の方々から将来の施設需要等へのご意見を賜りたくお願い申し上げます。

以下の設問で該当する番号に○印またはかっこ内にご記入をお願いします。

問1 貴社としての、マンション供給先エリアについて、現在の方針と今後の可能性をお聞かせください。（複数回答可）

<p>【現在の立地形態】</p> <p>1. 駅前 2. 駅前以外の中心市街地 3. 郊外 4. その他（ ）</p>
<p>【今後の可能性】</p> <p>1. 駅前 2. 駅前以外の中心市街地 3. 郊外 4. その他（ ）</p>

問2 刈谷駅周辺地区（別図）について、貴社のマンション供給先としての評価をお聞かせください。あわせてその理由もお聞かせください。

<p>1 高く評価できる 2 まあまあ評価できる 3 あまり評価できない</p> <p>4 評価できない 5 わからない</p>
<p>（理由）</p> <p>（ ）</p>

問3 貴社が刈谷駅周辺地区でマンション供給を計画した場合、供給対象、供給可能戸数、価格水準をお聞かせください。

【供給対象】	()
【供給戸数】	() 戸
【価格水準】	平均価格帯 () 千円/戸
	平均坪単価 () 千円/坪 (専有面積あたり)

問4 新型コロナウイルス感染拡大による業績へ影響をお聞かせください。

1 業績に影響が及んだ	2 今後長期化の場合及ぶ可能性高い	3 影響はなかった
4 どちらともいえない	5 その他 ()	

問5 新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言解除後の事業展開についてお聞かせください。

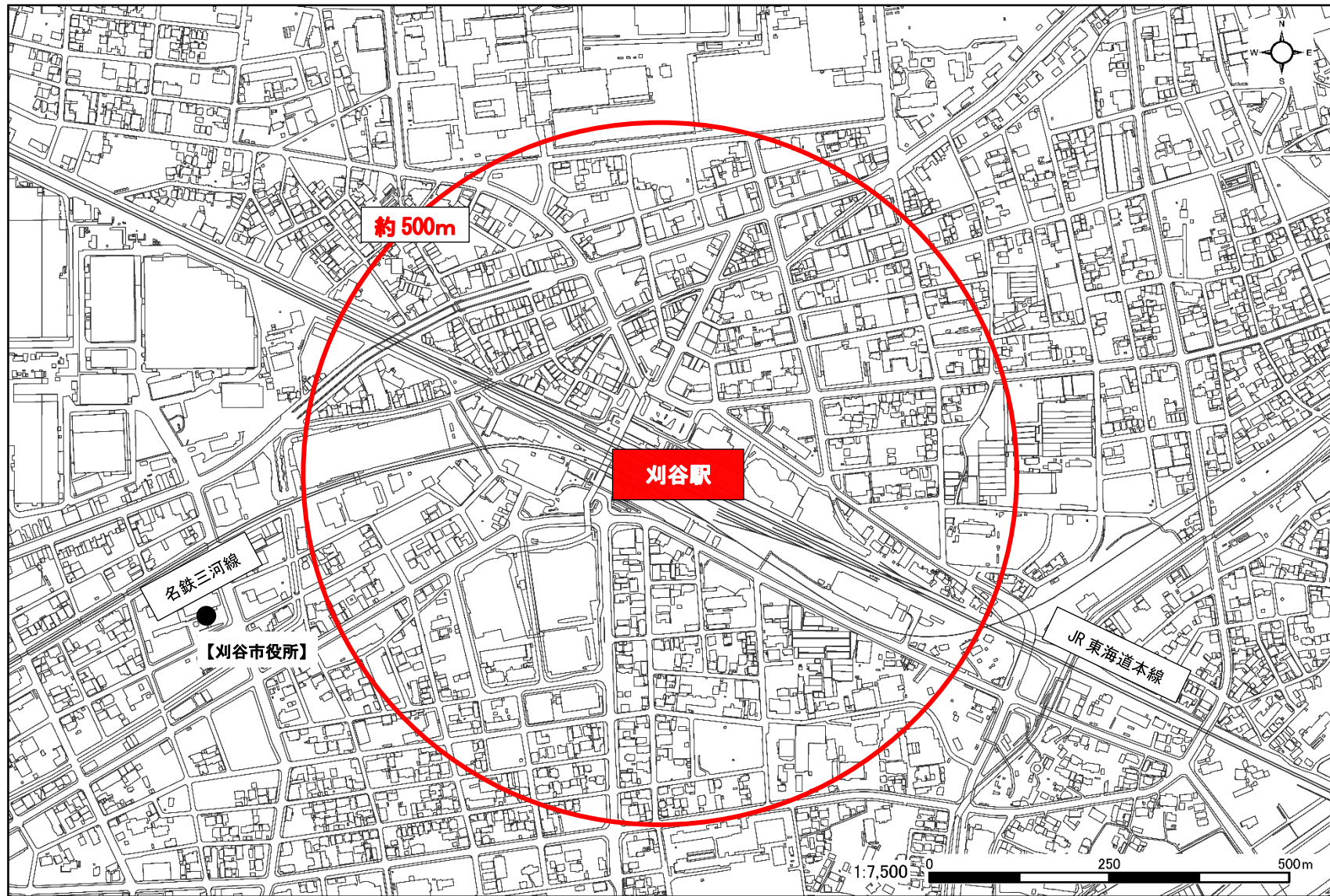
1 まだ当面見合わせ	2 感染推移状況を見て検討する	3 早期に展開再開したい
4 既に再開している	5 どちらともいえない	6 その他 ()

問6 刈谷駅周辺地区の現況、今後の活性化及び魅力向上に向けて感じる事、ご意見、ご要望等がございましたらご記入ください。

[貴社名]	[部署・役職]	[お名前]
[所在地]	[電話]	[FAX]

ご協力ありがとうございました。

●刈谷駅周辺地区（調査対象エリア）



刈谷駅周辺地区市街地総合再生基本計画【資料編】

発行 令和 3年 3月

発行者 刈谷市／ 編集 都市政策部市街地整備課

〒448-8501 刈谷市東陽町1丁目1番地

TEL : 0566-62-1025

FAX : 0566-23-9331